

理學博士宮部金吾関  
農學士川上瀧彌著



# 北海道森林植物圖說

東京 裳華房發行

### 自 序

余札幌農學校ヲ卒業ユルヤ、北海道廳ノ囑託ヲ承ケテ北海道森林樹種ノ調査ニ從フ、而シテ余ハ熊本農業學校ニ赴クノ約アリシヲ以テ、赴任前十ヶ月ヲ以テ其完成ヲ期セリ。此調査タル重要樹種ヲ撰定シテ最モ簡單ナル識別法ヲ作り、實物ト對照シテ樹種ヲ檢定スルニ足ルヘキ圖說ヲ記述スルニ在リ。而シテ有限ノ短日月ヲ以テ此業ニ當ル淺學短才ナル余ノ能ク堪ユル所ニアラス、幸ニ懇篤ナル師友ノ助力ニ依リ、豫期ニ遅クルル一ヶ月ニシテ漸ク稿ヲ了ヘタリキ。本書固ヨリ匆卒ノ起稿ニ係ルヲ以テ、記事或ハ完全セサル所アリ、識者ノ是正ヲ待テ他日ノ完成ヲ期セントス。唯タ此一小著ニシテ斯學ノ爲メニ幾分カ益スル者アラハ望外ノ幸ナルノミ。

熊本縣立熊本農業學校ニ於テ

明治三十五年二月十一日

川 上 瀧 彌 識

## 例 言

本書ハ著者曩キニ北海道廳ノ囑託ヲ承ケテ調査セル、北海道森林樹種調査報告ヲ増訂セルモノナリ。

著者ノ廳命ニ依リテ調査ニ從事セルハ、僅々一箇年ノ短日月ニシテ、其材料蒐集ノ爲メ巡回シタルハ日高、渡島、後志及ヒ石狩ノ四箇國ニ過キサレモ、著者年來北見、根室、千島、釧路、膽振、渡島、石狩及ヒ後志諸國ニ於テ自ラ探討採集セル材料ト、北海道廳林務課所藏ノ標品ニ據リ、又札幌農學校及ヒ御料局札幌支廳ノ所藏品ヲ參照シ著述上大ナル便益ヲ得タリ。

著者ガ喬木トシテ撰定シタルモノノ内、亞喬木種タルふしのきノ如キヲ容レザミ、えぞさんざしの如キヲ省キタルハ、聊カ其當ヲ得サル嫌ナキニアラスト雖モ、大體ニ於テ北海道ノ喬木樹種ヲ集録セリ。唯タヤなぎ屬既知ノ十三種中喬木樹種中ニ收ムヘキモノながばやなぎ、きぬやなぎ等アリト雖モ、同屬ノ調査未タ盡ササル所アルヲ以テ暫ク之ヲ省畧セリ。

樹種ノ記載ハ專ラ實物ニ據リタリト雖モ、調査期間ニ完全ナル材料ヲ得ル能ハサルモノアリ、從テ先輩ノ記事殊ニ椛山清利氏ノ北海道樹木志料、村越銃之輔氏ノ北海道喬木考、河合鋪太郎氏ノ木材識別法等ニ據レルモノ、抄カラス、樹木圖ハ盡ク著者カ北海道産ノ實物ニ就キテ寫生シタルモノニシテ、花部或ハ大日本森林樹木圖譜及ヒ北海道廳林務課編、北海道樹木圖ニ據リタルモノアリ。

植物學名ハ理學博士宮部金吾、理學博士松村任三兩氏ニ據リ、「アイヌ」名ハ宮部、神保兩博士ノ著書並ニ著者ノ膽振、日高、釧路ノ「アイヌ」ニ就キ親シク聞キシモノヲ錄シ、和名方言ハ北海道樹木志料、本草圖譜、草木圖說、日本產物志、北海道志、植物名彙、白井氏植物學教科書等ニ據レルモノ々々其出所ト稱呼ノ地方ヲ詳記セス、漢名ハ或ハ正當ヲ缺クモノナキヲ保セスト雖モ、暫ク植物學者襲用ノモノヲ採録セリ。

樹種識別法ハ木材、冬芽、樹葉及ヒ子實等ニ據リテ識別スル方法ヲ記述セントセシモ、材料未タ完カラズ從テ劃然タル識別法ヲ記スル能ハサル者アル

ヲ以テ、最モ人目ニ觸レ易キ樹葉ヲ以テ簡單ニ其樹種ヲ識別スル方法ヲ撰ミ、北海道産ノ各種ニ就キテ之ヲ記セリ、冬芽識別法ハ白澤保美氏、木材識別法ハ河合鋪太郎氏、既ニ之ヲ記述セルモノアリ、著者ハ之ニ據リテ北海道産ノ各種ヲ識別シタルモ、材料未タ完カラサルモノアリ、故ニ茲ニ載セス、唯タ冬芽識別法ハ既ニ得タル材料ヲ以テドクトル、シニワルツ氏、パーシバル氏及白澤氏等ニ據リタルモノヲ記述セリ。

本書中ニ用ヒタル假名ハ植物名ニ左單線、地名ニ右重線、人名ニ右單線ヲ附セリ、其用例左ノ如シ。

かつら

マトシナイ

ドクトル、マイル

本書勉メテ簡易ヲ主トセルモ、學術語ヲ用ユルノ已ムヲ得サルモノアリ、然レトモ用語最モ普通ナルモノヲ撰ミタルヲ以テ、特ニ用語ノ解説ヲ加フヘキモノナシト雖モ、樹葉、木材、冬芽ニ關スル用語ヲ明カニセンカ爲メニ第十六圖ニ之ヲ畧解セリ、材料不充充分ニシテ花部ヲ畫ク能ハサリシ、若干種ヲ説明センカ爲メニ模式圖ヲシニワルツ氏ノ森林植物學ヨリ轉寫セルモノ數

種ヲ第六十六圖中ニ收ム。  
 本書ノ著述ニ就テ常ニ懇篤ナル指教ヲ與ヘラレタル恩師理學博士宮部金吾氏ニ謹テ謝意ヲ表シ、理學博士松村任三、林學博士本多靜六、牧野富太郎、田中壤理學士矢部吉禎、林學士佐々木和策、林學士新島善直、農學士山田亥太郎、農學士半澤洵諸氏ノ助力ヲ得タルコト多キヲ謝シ、又林學士川田元太郎、島村繼夫及ヒ北海道廳林務課員諸氏ノ厚意ニ對シテハ、著者ノ深ク謝スル所ナリトス。

明治三十四年六月

北海道廳殖民部囑託  
 川 上 瀧 彌

# 北海道森林植物圖說

## 目 次

第壹	總說	頁數
(1)	地勢	一
(2)	森林植物帶	二
(3)	樹種	二
(4)	分布	七
(5)	利用樹種	八
(6)	林況	九
第貳	樹種識別法	二
(一)	樹葉識別法	二
(二)	冬芽識別法	三
第參	圖說	
(甲)	潤葉樹種	
雲葉科	一、かつら	元
木蘭科		

二、ほほのき	三
三、こぶし	三
田麻科	
四、しなのき	六
五、あはばほだいらじゆ	四
芸香科	
六、きはだ	四
苦木科	
七、にがき	四
冬青科	
八、あをばだ	四
七葉樹科	
九、とちのき	五
槭樹科	
十、いたやかへて	五
十一、くろびいたや	五
十二、めいげつかへて	五
十三、やまもみぢ	五

十四、あがらばな	五
十五、からこぎかへて	五
十六、みつばかへて	六
漆樹科	
十七、ふしのき	七
荳科	
十八、いぬえんじゆ	七
薔薇科	
十九、やまぎくら	七
二十、みやまぎくら	八
二十一、きうりぎくら	八
二十二、うはみづぎくら	八
二十三、えぞのうはみづぎくら	八
二十四、あづきなし	八
二十五、ななかまど	九
五加科	
二十六、はりぎり	九
二十七、こしあぶら	九

山茶黄科	二十八	みづき	九
齊椒果科	二十九	はくらんぼく	九
木犀科	三十	はしどい	一〇
	三十一	やちだも	一〇
	三十二	あとだも	一〇
榆科	三十三	にれ	一〇
	三十四	とひやう	一一
桑科	三十五	やまくは	一一
胡桃科	三十六	をにぐるみ	一二
	三十七	さはぐるみ	一二
樟木科	三十八	まらんば	一三

三十九	さいはだかんば	一六	
四十	だけかんば	一〇	
四十一	はんのき	一一	
四十二	やまはんのき	一二	
四十三	みやまはんのき	一七	
四十四	さしは	一八	
四十五	あかしで	一四	
四十六	あさだ	一五	
殼斗科	四十七	かしは	一八
	四十八	おほなら	一五
	四十九	みづなら	一四
	五十	こなら	一五
	五十一	くり	一五
山毛櫨科	五十二	ぶなのき	一六
楊柳科	五十三	はつこやなぎ	一五

五十四、おぼばやなぎ	一七
五十五、どろのき	一八
五十六、やまならし	一九

(乙) 針葉樹種

松柏科

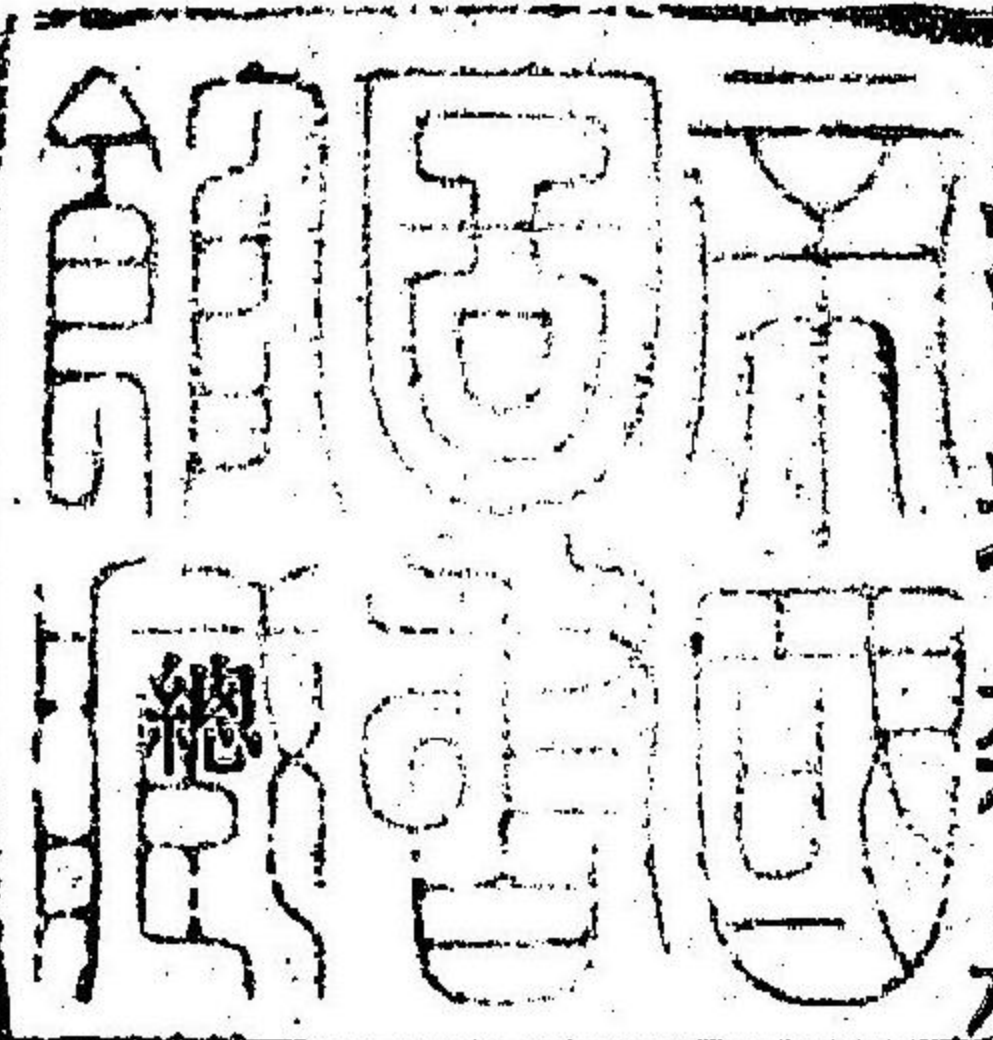
五十七、あすなる	二五
五十八、いちむ	二六
五十九、ひめこまつ	二八
六十、ごえふまつ	二九
六十一、はひまつ	三〇
六十二、えぞまつ	三一
六十三、あかえぞまつ	三二
六十四、とどまつ	三三
六十五、しこたんまつ	三四
六十六、花部補遺并要部説明	三六

北海道山野普通樹種表

和名及アイヌ名索引

學名索引

北海道森林植物圖說



總 說

理學博士 宮 部 金 吾 閣  
農 學 士 川 上 瀧 彌 著

北海道ハ其全面積六千九百十九方里ヲ有シ明治二年開拓使設置以來專ラ意ヲ開拓ニ注キ今日尙  
拓殖時代ニアルヲ以テ未ダ農林兩地ノ確定ヲ見ス從テ森林面積ハ年々歳々ニ異動シツツアルモ、  
試ニ現在ニ於クル森林地積ヲ擧グレバ大約左ノ如シ。

- (一)官林面積 五百五十四萬七千二百二十九町步
- (二)御料林面積 六十三萬町步
- (三)公私有林面積 一萬六千五百六十一町步

總計六百十九萬三千六百九十餘町步ニシテ之ヲ北海道全面積ニ對比スレハ五十八「ベルセント」ニ  
日本森林全面積ニ比スレハ二十七「ベルセント」ニ相當セリ。

地勢 地勢ヲ大別スレバ石狩ヨリ膽振ノ勇拂郡ニ至ルノ原野ヲ界トシ自ラ東西ノ兩部ニ分ル。  
東部ハ幅廣ク北緯四十三度ヨリ四十四度東經百四十二度ヨリ百四十三度ノ間最モ廣濶ナリ。山系  
ハ此廣濶ナル地方ノ凡ソ中部ヨリ三方ニ分レ、一ハ夕張山脈ヨリ東走シテ千島ニ至ル千島山系ニ



森 林 植 物 圖 説

シテ、一ハスタツブカウシベ山ノ邊ヨリ北西ニ趨リテ北見ノ宗谷岬ニ至ル樺太山系ニシテ、山ハ南走シテ日高ノ襟裳岬ニ至ル日高山系トス。又西部ハ幅狭ク海岸線屈曲多シ而シテ膽振國長萬部ヨリ後志國朱太川トノ間ヲ界トシ自ラ南北ニ兩分ス。

**森林植物帯** 北海道森林ノ大半ハ古來斧斤入ラスシテ人為ノ障害ヲ被ムルコト稀ナリシヲ以テ、植物分布ノ状態及ヒ林相ハ自ラ一定ノ分界ヲ有シ、之ヲ本土ノ植物帶調査ニ比スレハ容易ナルカ如シト雖モ、森林植物帶ヲ論セル學者二三アルニ過キスシテ、而モ其所論一定セス確然タル界限ヲ明示スル能ハサルハ頗ル遺憾トスル所ナリ。

ドクトル、マイル氏ハ北海道ノ植物帶ハ第三帶(落葉闊葉樹ノ溫帶林)ニ起リ、南ハ渡島ノ南端北緯四十二度)ヨリ北ハ擇捉島(北緯四十六度)ニ達スルモノトセリ、田中壤氏ハ第三帶(山毛櫸帶)第四帶(白檜帶)第五帶(偃松帶)ニ跨ルモノトシテ、第三帶ハ本道内部及國後島ノ南部平地之ニ屬シ、第四帶ハ國後島ノ南部北緯四十四度前ヨリ擇捉島四十五度餘ニ至ルノ平地、又北見國宗谷郡ノ北半部及利尻島北部之ニ屬シ、第五帶ハ擇捉島北緯四十五度半ヨリ以北之ニ屬スルモノトセリ。本多林學博士ハ第三帶(溫帶林)又(柳帶)ハ本道過半ノ西南部即チ同溫線六度以上十三度以下ノ地ヲ領スル者トシ、第四帶(寒帶林)又(白檜帶)ハ本道ノ北東部同溫線六度以下ノ地ヲ領スルモノトセリ。而シテ諸氏ノ論スル所第三帶第四帶ノ分界ニ於テ相一致セス、余ハ大體ニ於テ田中氏ニ贊シ、第四帶ノ北界ヲ擇捉島ト得撫島トノ間ニ置キ、其南界ヲ釧路北見ノ沿岸ニ達セシメント欲スルモノナリ、而シテ北見ノ利尻島ノ如キハ全然之ヲ第四帶中ニ置クノ可ナルヲ信スルモノトス。

**樹種** 北海道ニ産スル喬木及ヒ亞喬木ノ種類ハ左ノ如シ。

森 林 植 物 圖 説

和名	方名	アイヌ名	學名	科名
一 かつら	かづら	らん	<i>Cerciphyllum japonicum.</i>	棠葉科
二 ほほのき	ほほ	おし	<i>Magnolia hypoleuca.</i>	木蘭科
三 こぶし	ひきざくら	なぶけ	<i>M. Kobus.</i>	田麻科
四 しなのき	しな	にべし	<i>Tilia cordata, var. japonica.</i>	菩提樹科
五 おぼろぎ	あなしな	やいにし	<i>T. Maximowiczii.</i>	同
六 きはだ	しころ	しけれ	<i>Phellodendron amurense.</i>	芸香科
七 にがき	にがき	しゆん	<i>Pternsma quassioides.</i>	黃棟樹科
八 あなはだ	こまぶな		<i>Ilex macrocarpa.</i>	冬青科
九 とちのき	とち	とち	<i>Aesculus turbinata.</i>	七葉樹科
十 いたやか	いたや	と	<i>Acer pictum.</i>	槭樹科
十一 くろびいたや	くろびいたや	にた	<i>A. Miyabei.</i>	同
十二 めいけつかへ	おぼろぎ	れた	<i>A. japonicum.</i>	同
十三 やまのみち	もみち	いは	<i>A. palmatum.</i>	同
十四 おがらばな	ほら	いは	<i>A. spicatum.</i>	同

森 林 植 物 圖 說

四十	はしとい	どすなら	ぶんがう	<i>Syringa amurensis</i> , var. <i>japonica</i> .	木犀科
三十一	やちだも	やちだも	びんに	<i>Fraxinus mandshurica</i> .	同
三十二	あなだも	あなだも	いわに	<i>F. longispis</i> .	同
三十三	にれ	あかだも	ちききに	<i>Ulmus campestris</i> .	榆科
三十四	かひやう	かひやう	あつに	<i>U. montana</i> , var. <i>laciniata</i> .	同
三十五	やまくは	くは	てしきに	<i>Morus alba</i> , var. <i>stylosa</i> .	桑科
三十六	かにくるみ	くるみ	ねしこ	<i>Juglans Sieboldiana</i> .	胡桃科
三十七	まはぐるみ	や		<i>Pterocarya rhoifolia</i> .	同
三十八	しりかんば	がんび	きたつと	<i>Betula alba</i> , var. <i>vulgaris</i> .	樺木科
三十九	さいはだかんば	まかば	かりんばたつと	<i>B. Maximowicziana</i> .	同
四十	だけかんば	どすがんび	かむいたつと	<i>B. Ermani</i> .	同
四十一	はんのき	やちば	にたどけれ	<i>Alnus japonica</i> .	同
四十二	やまはんのき	はんのき	けれ	<i>A. incana</i> .	同
四十三	みやまはんのき	だけば	かむいけれ	<i>A. viridis</i> , var. <i>sibirica</i> .	同
四十四	さばしつて	くちぐる	ばせに	<i>Carpinus cordata</i> .	同

總 說

森 林 植 物 圖 說

十五	からんぎかへ	やちいたや	おたごくに	<i>A. tataricum</i> , var. <i>Ginnuh.</i>	同
十六	みつばかへ		いはごくに	<i>A. cissifolium</i> .	同
十七	ふしのき			<i>Rhus semialata</i> , var. <i>Osbeckii</i>	漆樹科
十八	いぬえんじゆ	えんじゆ	ちくごくに	<i>Quercus amurensis</i> , var. <i>floribunda</i> .	葎科
十九	やまぢくち	まぐち	かりんばに	<i>Prunus pseudo-cerasus</i> .	薔薇科
二十	みやまぢくち	しぢくち		<i>P. Maximowiczii</i> .	同
二十一	しうりぢくち	しうり	しうり	<i>P. Sibir.</i>	同
二十二	うはみぢくち			<i>P. Grayana</i> .	同
二十三	えぞうはみぢくち	かばぢくち	まきんに	<i>P. Padus</i> .	同
二十四	あぶきなし	かたすぎ	ちかぢくち	<i>Pirus Miyabei</i> .	同
二十五	ななかまど	ななかまど	いはまきに	<i>P. amurensis</i> , var. <i>japonica</i> .	同
二十六	はりぎり	せんごき	あいにしに	<i>Acerthopanax reinfolium</i> .	五加科
二十七	こしあぶち	あぶち	ことうしに	<i>A. sciadophylloides</i> .	同
二十八	みづき	みづき	うとかに	<i>Cornus macrophylla</i> .	山茶黄科
二十九	はくちんほく	はびる	へるに	<i>Syrinx Obassia</i> .	齊墩果科

總 說

四十五	あかして	そ	は	に	<i>C. latiflora.</i>	同
四十六	あさだ	あ	さ	だ	<i>Ostrya japonica.</i>	同
四十七	かしは	か	し	は	<i>Quercus dentata.</i>	殼斗科
四十八	おほなら	ま	な	ら	<i>Q. crispula.</i>	同
四十九	みつなら	な	ら		<i>Q. grosseserrata.</i>	同
五十	こなら	い	し	な	<i>Q. glaucohem.</i>	同
五十一	くり	く	り		<i>Castanea vulgaris, var. japonica.</i>	同
五十二	ぶなのき	ぶ	な	の	<i>Fagus sylvatica, var. asiatica.</i>	山毛榉科
五十三	はりのちなき	は	り	の	<i>Salix Caprea.</i>	楊柳科
五十四	どろのき	ど	ろ	の	<i>S. Urbaniana.</i>	同
五十五	やまならし	は	こ	や	<i>Populus suaveolens.</i>	同
五十六	あすなる	あ	す	な	<i>P. tremula, var. villosa.</i>	同
五十七	いぢめ	い	ぢ	め	<i>Thuopsis dolabrata.</i>	松柏科
五十八	ひめこまつ	ひ	め	こ	<i>Taxus cuspidata.</i>	同
五十九	しこたんまつ	し	こ	た	<i>Pinus parviflora.</i>	同

總 說

六十	こえふまつ	こ	え	ふ	<i>P. pentaphylla.</i>	同
六十一	はひまつ	は	ひ	ま	<i>P. pumila.</i>	同
六十二	えぞまつ	え	ぞ	ま	<i>Picea ajanensis.</i>	同
六十三	あかえぞまつ	あ	か	え	<i>P. Glehnii.</i>	同
六十四	とどまつ	と	ど	ま	<i>Abies sachalinensis.</i>	同
六十五	しこたんまつ	し	こ	た	<i>Larix dahurica, var. japonica.</i>	同

分布 前ニ掲クル所ノ樹種ハ、北海道ノ各地ニ分布シテ森林ヲ組成スルモノナリト雖モ、各種ノ樹木ハ到ル處一様ニ繁生スルモノニアラスシテ、渡島地方ニ在リテハ數種ヲ除クノ外、殆ント皆之ヲ産スルモ、後志、日高、石狩ニ至レハ其幾種ヲ減シ、更ニ進ンテ擇捉島ニ達スレハ其半數ヲモ生セサルニ至ル。だけかんば、みやまはんのきノ如キハ、本道ノ北端ニ於テハ平地ニ生スレモ、南部ニ於テハ平地ニ之ヲ生セス、殊ニはひまつノ如キハ、平地ニ生スルモノ千島ニ於テ之ヲ見ルノミ。

北海道内部ニ生スル樹種ニシテ擇捉島ニモ存在スルモノとどまつ、えぞまつ、いちね、しらかんば、ななかまど、きはだ、いたやかへて、しうり、ざくら、やまざくら、みやまざくら、はりざり、みづなら、ながば、なぎ、はこやなぎ、けやまはんのき等ニ過キス。

さはぐるみハ渡島ニ限り、ぶなのきハ渡島、後志、膽振ニ限り、とちのきハ石狩以南部ニ、あかしてハ十勝以南、こならハ日高、石狩以南ニ産シ、しこたんまつハ千島ノ擇捉、色丹二島ニ限り、こえふまつハ日高、渡島、ひめこまつハ後志以南、くろびいたやハ日高、膽振、十勝、石狩ノ中央山脈ニ限ルモノノ如キハ、

總 說

森林植物圖説

分布ノ區域狹隘ナル樹種トナス。北海道ノ地タル陸羽ト僅カニ一帯帯水ヲ隔テテ相對スルカ故ニ其生スル所ノ樹種及林相ハ稍相似タルモ其相異ナルハ潤葉林ノ上部ニ於テ陸羽ノ地ニ見ルベカラサルとどまつ。えぞまつノ混生林ヲ見一千尺乃至二千尺ノ高地ニ達スレハ純然タル寒帶林ヲ見三四千尺ニ至レハ已ニはひまつヲ生スルコト是ナリ其他潤葉樹種大ニ其數ヲ減シ陸羽ノ地ニ於テハ其種類百三四十種ヲ算スルモ本道ニ在リテハ殆ト其半數ニ過キス是レ蓋シ本土ニ於テ海岸地方ニ於テハ暖地ニ生スル樹種幾分ヲ存スルト本道ノ氣候寒冷ニシテ一ハ津輕海峽ニ遮斷セラレテ樹種北進ノ道ヲ失ヒタルニ據ルヘシト云フ。

北海道ニ生スル樹種ハ概テ皆本土ノ陸羽地方ニ生スル者ナルモとどまつ。えぞまつ。あかえぞまつ。しこたんまつノ如キハ津輕海峽以南ニ産セルモノトス而シテ本道特有ノ樹種トシテハ唯ターノくろびいたやアルニ過キス。

**利用樹種** 北海道ニ於テ利用セラルヘキ樹種ハ大凡五十種ナルモ現今最も多ク利用セラルルモノハ針葉樹ニ在リテハとどまつ。えぞまつ。あかえぞまつニシテ潤葉樹ニ在リテハぶなのきはりぎり。やちだも。はこやなぎ。どろ。かつら。きはだ。おほなら。をにぐるみ。いぬえんじゆ等ニシテ他ハ多ク薪炭材トシテ使用セラル。

本道森林樹種中下ニ記スルモノハ營林上最も重要ナル者ニシテ明治二十六年十一月十六日北海道廳告示第七十五號ヲ以テ目通直經三寸以下ノモノノ拂下停止ヲ規定セラル蓋シ稚木ヲ保護シテ森林ヲ形成セシムルノ必要ニ出テシモノトス。

森林植物圖説

とどまつ。えぞまつ。しこたんまつ。ひめこまつ。あらかまぎ。あすなる。いぬえんじゆ。かつら。をにぐるみ。はりぎり。きはだ。くは。やちだも。ぶなのきは。いたやかへで。にれ。

**林況** 林況ハ針葉樹林。潤葉樹林。針潤混生林ノ三種ニ大別スヘク其分布ノ狀態頗ル錯雜セリ。針葉樹林ハ西南部ニ少クシテ東北部ニ進ムニ從ヒ漸次ニ増加ス是レ古來伐採ノ結果與フルトコロアルベシト雖モ樹種自然ノ分布ニ依レルモノナルベシ針葉樹林ノ廣大ナルモノ及ヒ混生林ナルモ針葉樹多クシテ有名ナルモノハ膽振國樽前山麓。御料林。石狩國札幌郡定山溪御料林。同國雨龍川沿岸御料林。日高國様似郡天鹽國天鹽川沿岸北見國利尻島。宗谷郡猿拂川附近斜里郡斜里山麓。根室。釧路國界山脈根室國音根塘及北見國界山脈就中屈斜呂湖畔ノ御料林。釧路國厚岸郡ノ濱中及ヲポロベツ川ヨリ釧路郡ニ跨ル山中阿寒郡阿寒湖ノ近傍及千島ノ國後島ナリトス之ニ次キ面積大ニシテ林相良美ノ名アルモノハ猿拂。天鹽。雨龍ノ三川及ヒ厚岸。阿寒兩郡ナリトス東部ニ於テ此林ノ最モ少ナキハ十勝ナリトス。

以上針葉樹林ハとどまつヲ最多トシ。えぞまつ。あかえぞまつ之に次キ三種共純林若クハ混生林ヲナス。いちろハ釧路。北見ノ斜里山脈ニ。あすなるハ渡島國檜山郡及上磯郡ニ。こえふまつハ日高ニ。ひめこまつハ渡島及後志ニ。しこたんまつハ千島。擇捉島ニ。純林ノ形ヲナシテ存在シ。何レモ材質堅硬ニシテ家屋。船舶。匣箱。器具。其他ノ裝飾材トシテ貴重ノ樹種タルモ分布狹ク用途廣カラス。

潤葉樹林ハ本道森林面積ノ大半ヲ占領シ到處ニ繁生スルモ同一樹種ヲ以テ成立スル所ノ森林。即チ單純林極メテ稀ナリ。其稍純林ノ形ヲナスモノハ陽樹ニ屬スル種類ニシテ次ノ如シ。

おほなら。はんのきは。やまはんのきは。かしは。しらかんば。かつら。ぶなのきは。こやなぎ。どろ。いたやか

へて、  
 針葉混生林ハ陰陽兩樹ノ針葉樹ト闊葉樹ヲ不規則ニ混生セル森林ヲ云フモノニシテ、此森林ニ在  
 リテハ闊葉樹ノ下ニ針葉樹ノ幼樹、或ハ點生シ或ハ群生シ、天然ノ更新ニ依リテ本林ヲ形成スルヲ  
 見ル、而シテ其混生ノ状態ハ千種萬別ニシテ全道森林面積ノ大部分ヲ占領ス。  
 としまつ、えぞまつ、あすなろ、いちね、何レモ陰樹ニ屬スルヲ以テ闊葉樹ノ下ニ能ク生育シテ混生  
 林ヲ形成シ、自然ノ淘汰ニ依リテ未來ノ純林ヲ形成セントスルノ狀アリ。

樹種識別法

第壹 樹葉識別法 (數字ハ圖說ノ番號ヲ示ス)

- (一) 葉針狀若クハ鱗狀ナルモノ……………針葉樹
- (二) 葉扁平ニシテ潤キモノ……………闊葉樹

(一) 針葉樹

一 針葉樹

- (甲) 針葉常綠ナルモノ
  - (イ) 針葉單一ニシテ螺旋狀ニ着生スルモノ
    - イ、針葉四稜ナルモノ(葉枕ヲ有ス)……………えぞまつ(六二)
    - ……………あかえぞまつ(六三)
    - ……………細尖ナルノ……………
    - ……………口、針葉扁平ナルモノ……………
    - ……………下面綠色ナルモノ……………いちね(五八)
    - ……………下面白色ノ長線ヲ有スルモノ(葉枕ヲ缺ク)ノ……………としまつ(六四)
  - (ロ) 針葉短條上五葉束生スルモノ……………

(葉ノミニテハ明確ニ區別シ得サルモノ).....

ひめこま(五九)  
ごまふま(六〇)  
はひま(六一)

(乙) 針葉年内ニ脱落スルモノ

針葉短條上ニ束生シテ莖笠状ヲナスモノ.....

志とたんま(六五)

二、鱗状葉

葉輪生シ屋瓦状ニ着生スルモノ.....

あすなら(五七)

(二) 潤葉樹

- 一、葉單一ナルモノ..... 單葉
- 二、葉數多相合集スルモノ..... 複葉

(第一) 單葉

(一) 葉長形ニシテ中肋ノ長サハ幅ノ三倍以上ノモノ

(甲) 葉ノ幅概テ一寸以上ノモノ(葉邊銳ク鋸齒ヲ有ス)

(乙) 葉ノ幅概テ一寸以下ノモノ(葉邊鈍鋸齒ヲ有ス)

(二) 葉橢圓形、心臟形、三角形等ニシテ中肋ノ長サハ幅ヨリモ長キモノ

(甲) 葉邊全縁ナルモノ

イ、葉柄短キモノ

(乙) 葉柄長キモノ  
葉邊波状ヲナスモノ

下面葉脈ニ毛ヲ有スルモノ

(丙) 葉邊鋸齒状ヲナスモノ

イ、葉面ノ兩半部大サ同一ナラサルモノ

ロ、心臟形ニシテ幅廣キモノ

ハ、廣卵形

ニ、心臟形、三角形、菱形

ホ、倒卵形

ヘ、橢圓形

重鋸齒明白ナルモノ

重鋸齒稍不明

單鋸齒

(三) 葉尖裂状ニ分裂スルモノ

羽状脈葉

掌状脈葉

(第二) 複葉

(四) 掌状葉

互生葉  
對生葉  
(五)羽狀葉

全邊葉  
鋸齒葉

(第一)單葉

(一)葉長形ニシテ中脈ノ長サハ幅ノ三倍以上ノモノ

(甲) 葉ノ幅概テ一寸以上ノモノ(葉邊尖細鈍鋸齒ヲ有ス)……………くり(五二)  
(乙) 葉ノ幅概テ一寸以下ノモノ(葉邊鈍鋸齒ヲ有ス下面絹絲狀ノ毛ヲ有スルモノ)……………きぬやなぎ

葉面滑澤ナルモノ……………ながばやなぎ

(二)葉橢圓形、心臟形、三角形、菱形等ニシテ中脈ノ長サハ幅ヨリモ長キモノ

(甲) 葉邊全縁ナルモノ

イ 葉柄短キモノ

イ 互生葉

一 倒卵形ニシテ下面微毛ヲ有シ長大ニシテ長一尺内外ノモノ……………ほこのき (二)

二 倒卵形ニシテ下面脈基ニ微毛アリ前者ヨリ小ナルモノ……………こぶし (三)

ロ 對生葉

廣卵形ニシテ下面毛茸密布スルモノ……………はしど(三〇)

ろ 葉柄長キモノ

廣卵形ニシテ細毛アリ下面粉白色ヲナスモノ……………みづき(二八)

(乙) 葉邊波狀ヲナスモノ

下面葉脈ニ毛ヲ有スルモノ……………ぶなのき(五二)

(丙) 葉邊鋸齒狀ヲナスモノ

一 葉面左右相稱ナラス即チ兩半部大サ同一ナラサルモノ

い、心臟形ヲナシテ下面葉脈基ニ褐色ノ毛茸アルモノ……………まなのき (四)

ろ 橢圓形ニシテ主脈ヨリ分岐スル葉脈ハ銳角狀ニ發生スルモノ……………にれ(三三)

下面軟柔毛密布スルモノ……………おひよう(三四)

二 心臟形ニシテ幅廣キモノ

ろ 葉柄長キモノ

イ、葉脈中肋ヨリ分岐スルモノ……………おほばほたいじゆ (五)

多毛ニシテ大形ノモノ……………まなのき (四)

滑澤ニシテ鋸齒銳尖ノモノ……………まなのき (四)

ロ、葉脈葉基ヨリ射出スルモノ……………まなのき (四)

樹種識別法

一六

- 滑澤ニシテ鋸齒雲頭狀ヲナスモノ……………かつら (二)
- ろ、葉柄短キモノ……………
- 鋸齒粗ニシテ粗剛毛ヲ有スルモノ(裂片葉ヲナスコアリ)……………やまくは(三五)
- い、多毛ノモノ……………
- 三、廣卵形……………
- い、葉基心臟形ヲナシ、重鋸齒、兩面多毛……………さいはだかんば(三九)
- ろ、葉基稍圓ク、蠶食狀齒ヲ有シ、下面白毛密布スルモノ……………はくらんぼく(二九)
- ハ、長サハ幅ト同大ニシテ葉基稍銳ク、重鋸齒、葉邊裂片狀ヲナスモノ……………やまはんのき(四二)
- ろ、平滑ノモノ……………
- い、重鋸齒……………
- 葉基圓ク或ハ心臟形ノモノ……………
- 鋸齒乳頭狀ヲナシ、下面輝色アルモノ……………みやまはんのき(四三)
- 鋸狀ニシテ葉柄ニ密腺ヲ有スルモノ……………やまざくら(一九)
- ロ、單鋸齒……………
- 鋸齒雲頭狀ヲナシ、葉基心臟形ヲナスモノ……………どらのき(五五)
- 四、心臟形、三角形或ハ菱形ノモノ……………
- シ、葉脈ニ毛アルモノ……………

樹種識別法

一七

- い、重鋸齒ニシテ牙狀ヲナシ、葉脈正シク銳角狀ニ發出スルモノ……………だけかんば(四〇)
- ロ、單鋸齒ニシテ銳カラス、葉脈不規則ニ網狀ヲナスモノ……………やまならし(五六)
- ろ、平滑ナルモノ……………
- い、重鋸齒ニシテ牙狀ナルモノ……………まらんば(三八)
- ロ、單鋸齒ニシテ銳カラス、尖端内向スルモノ……………やまならし(五六)
- 五、倒卵形……………
- い、葉柄長キモノ……………
- い、鋸齒細小ナルモノ……………まどろはみづざくら(二三)
- ロ、重鋸齒脈顯著ニシテ銳角狀ニ發出スルモノ……………あづきなし(二四)
- ハ、鋸齒大ニシテ疎、下面毛アルモノ……………こなら(五〇)
- ろ、葉柄短キモノ……………
- い、鋸齒大ニシテ疎、葉脈ニ細毛アルモノ……………おほなら(四八)
- ロ、前者ヨリ小ニシテ鋸齒、又小銳ナルモノ……………みづなら(四九)
- 六、橢圓形……………
- い、重鋸齒明白ナルモノ……………
- い、葉柄、若クハ葉片ニ密腺ヲ有スルモノ、葉柄ニ密腺ヲ有シ滑澤ナルモノ……………やまざくら(一九)



葉中ノ下端ニ密腺ヲ有シ葉脈微毛アリ前者ヨリ形小ナルモノ……………みやまびくら(二〇)

ロ、密腺ヲ有セサルモノ……………

葉基心臟形下面細毛多ク形廣大ナルモノ……………さはして(四四)

葉基圓形ニシテ滑澤細小形ナルモノ……………あかして(四五)

葉基圓形ニシテ葉脈ニ微毛アリ鋸齒鋭カラサルモノ……………あづきなし(二四)

葉基圓ニシテ下面多毛鋸齒鋭キモノ……………あさだ(四六)

ル、重鋸齒稍不明ナルモノ……………

イ、長橢圓形基部微心形鋸齒細尖ナルモノ……………まうりざくら(二一)

ロ、橢圓形基部圓形上方少殺シ鋸齒鋭キモノ……………うはみづざくら(二二)

ハ、倒卵形基部稍圓ク鋸齒細カキモノ……………えぞうはみづざくら(二三)

ハ、單鋸齒ノモノ……………

イ、葉柄比較的長キモノ……………

葉基漸尖葉稍長ク其面粗剛ナル粒狀物密布シ鋸齒疎ニシテ鋭カラサルモノ……………はんのき(四一)

葉基稍鈍鋸齒大ニシテ鋭ク下面白毛密布スルモノ……………こなら(五〇)

ロ、葉柄短キモノ……………

葉基圓形葉稍廣卵形平滑鋭齒アリ葉短條上ニ着生スルモノ……………あをばだ(八)

(三) 葉尖裂狀ニ分裂スルモノ  
(甲) 羽狀脈葉

一、互生葉

イ、鋸齒細鋭ナルモノ……………

上方三尖裂ニ淺裂スルモノ……………おひよう(三四)

三以上ニ淺裂スルモノ……………やまはんのき

三以上ニ深裂スルモノ……………やまくは(三五)

ル、鋸齒大ニシテ波狀ヲナスモノ(下面短剛毛密布シ形大ナルモノ)……………かしは(四七)

二、對生葉

卵形橢圓形不規則ニ缺裂シ重鋸齒往々三裂狀ヲナス……………からこぎかへて(一五)

(乙) 掌狀脈葉

一、互生葉

鋸齒ヲ有シ葉大ニシテ七乃至九尖裂……………はりぎり(二六)

二、對生葉

い、鋸齒ヲ有スルモノ葉小ニシテ多クハ五乃至七尖裂下面多毛鋭鋸齒……………

説 圖 物 植 林 森

- 葉基心臟形……………おがらばな(一四)
- 平滑ナルモノ……………やまのみぢ(一三)
- 裂片多數嫩時葉柄ニ細毛密生スルモノ……………めいげつかへて(一二)
- ろ、鋸齒ナキモノ(強波狀ヲナス)……………くろびいたや(一一)
- 裂片ニハ小複裂片アリテ毛ヲ有スルモノ……………いたやかへて(一〇)
- 平滑若クハ脈基ニ微毛アルモノ……………
- (第二) 複葉
- (四) 掌狀葉
- (甲) 互生葉……………こしあぶら(二七)
- 小葉倒長卵形ニシテ平滑ナルモノ……………
- (乙) 對生葉……………
- 五乃至七、小葉ノ小葉倒卵狀楔形、若クハ長橢圓形下面多毛ナルモノ……………とちのき(九)
- 三小葉……………みつばかへて(二六)
- (五) 羽狀葉
- (甲) 全邊葉……………いぬえんじゆ(一八)
- 互生葉小葉橢圓形……………
- (乙) 鋸齒葉……………

説 圖 物 植 林 森

- 一、互生葉
- イ、葉柄ニ翅片アルモノ……………ふしのき(一七)
- 鋸齒乳頭齒狀ヲナシ葉基楔形……………
- ろ、葉柄ニ翅片ナキモノ……………
- イ、毛茸ナキモノ……………
- 小葉柄ヲ有スルモノ……………
- 小葉橢圓形ニシテ單鋸齒銳カラサルモノ……………にがき(七)
- 小葉柄殆ト無キモノ……………
- 小葉長橢圓ニシテ重鋸齒銳キモノ……………なまかまど(二五)
- ロ、毛茸アルモノ……………
- 小葉五乃至七對橢圓形ニシテ重鋸齒……………をにぐるみ(三六)
- 小葉九對長橢圓形、鋸齒細小葉ノ幅前者ヨリ狭キモノ……………さはぐるみ(三七)
- 二、對生葉
- イ、鋸齒銳キモノ……………
- 小葉三對以上ニシテ下面褐色ノ毛アルモノ……………やちだも(三一)
- 小葉ニシテ對平滑ナルモノ……………あをだも(三二)
- ろ、微小ノ鋸齒雲頭狀ニシテ小葉二乃至六對下面白色脈上毛アルモノ……………さはだ(六)

第二 冬芽識別法

- 第一 芽枝條上ニ對生スルモノ
- 第二 芽枝條上ニ二縱列ニ互生スルモノ
- 第三 芽枝條上ニ螺旋狀ニ互生スルモノ

(第一) 對生芽

一、芽鱗ノ著シキモ少數ナルモノ

(甲) 芽ハ全ク無毛ナルカ或ハ僅カニ之ヲ有スルモノ

イ、芽鱗煤黑色頂芽ハ側芽ヨリ大ニシテ枝肥大ナルモノ……………やちだも(三二)

ロ、側芽ハ壓迫セラレテ枝ニ向フ方ニ扁平トナル芽鱗灰白粉狀ノ煤

黑色細小……………あそだも(三二)

(乙) 芽ハ毛茸ヲ有スルモノ

イ、葉痕狭小ナルモノ……………かつら(一)

ロ、葉痕大ニシテ圓形又ハ半月形ノモノ……………めしげつかへて(二)

二、多クノ芽鱗著シク緻密ニ排列スルモノ

(甲) 芽及ヒ葉痕大ニシテ葉痕半月形枝黒褐色四角形ヲナスモノ……………はしど(三〇)

(乙) 芽少シク大ニシテ葉痕稍大芽ハ固有ノ鱗片ヨリ包圍セラルルモノ……………からこぎかへて(一五)

(丙) 芽幼枝ノ先端ニアルモノハ大下部ノモノハ小ニシテ葉痕稍大ナルモノ……………

- 第一 芽枝條上ニ對生スルモノ
- 第二 芽枝條上ニ二縱列ニ互生スルモノ
- 第三 芽枝條上ニ螺旋狀ニ互生スルモノ

(第一) 對生芽

一、芽球狀卵形ナルモノ

(甲) 芽鱗少數ナルモノ

イ、芽ハ外部ハ一ノ大ナル鱗片若シハ小鱗片ニテ圍マルルモノ……………おほばぼだいじゆ(五)

ロ、芽大ニシテ枝淡黄色……………まなのき(四)

(乙) 芽鱗多數ノモノ……………くり(五一)

二、芽稍軟毛アリ芽小、黒褐色……………

(甲) 鱗片螺旋狀ニ排列スルモノ……………

(乙) 鱗片螺旋狀ニ排列スルモノ……………

二、多クノ芽鱗著シク緻密ニ排列スルモノ

(甲) 芽及ヒ葉痕大ニシテ葉痕半月形枝黒褐色四角形ヲナスモノ……………はしど(三〇)

(乙) 芽少シク大ニシテ葉痕稍大芽ハ固有ノ鱗片ヨリ包圍セラルルモノ……………からこぎかへて(一五)

(丙) 芽幼枝ノ先端ニアルモノハ大下部ノモノハ小ニシテ葉痕稍大ナルモノ……………

三、頂芽、側芽ハ鱗片ヨリ全ク包圍セラレ恰カモ一ノ芽鱗ノ如ク見ユルモノ……………さたやかへて(一〇)

(甲) 芽ハ毛茸ヲ有セスシテ光輝アルモノ……………やまもみぢ(二三)

(乙) 芽ハ毛茸ヲ有スルモノ……………

イ、枝肥大ニシテ葉痕大ナルモノ……………さばだ(六)

ロ、枝細小ニシテ葉痕小ナルモノ……………みつばかへて(一六)

四、頂芽甚タ大ニシテ枝モ著シク大ナリ頂芽極大、膠質物ヲ分泌シ側芽極小、葉痕大ニシテ枝黒灰色……………とちのき(九)

(第二) 互生葉

一、芽球狀卵形ナルモノ

(甲) 芽鱗少數ナルモノ

イ、芽ハ外部ハ一ノ大ナル鱗片若シハ小鱗片ニテ圍マルルモノ……………おほばぼだいじゆ(五)

ロ、芽大ニシテ枝淡黄色……………まなのき(四)

(乙) 芽鱗多數ノモノ……………くり(五一)

二、芽稍軟毛アリ芽小、黒褐色……………

(甲) 鱗片螺旋狀ニ排列スルモノ……………

(乙) 鱗片螺旋狀ニ排列スルモノ……………

樹種識別法

- イ 芽線形ヲナシ長サハ幅ノ三倍以上アリ枝條細小ニシテ平滑……………ぶなのき(五二)
- ロ 芽尖レル圓筒形ヲナスモノ……………あさだ(四六)
- ハ 芽圓錐形……………あをはだ(八)
- (乙) 鱗片互生ニ排列スルモノ
- イ 鱗片二線上ニ排列スルモノ
- 一 芽ハ全ク毛ヲ有セス幼枝多少有毛老枝ハ樹皮上禿ノ裂目アリ……………にれ(三三)
- 二 芽枝條ハ前者ニ同キモ大サハ二三倍葉痕大枝灰白色……………おひよう(三四)
- ロ 鱗片ハ四方ヨリ互生ニ排列シ芽ハ枝ニ密着スルモノ
- 一 芽褐色ニシテ長サ一分乃至二分……………あかして(四五)
- 二 芽灰綠色ニシテ長サ三分幼枝白毛疎生……………さはして(四四)
- 三 芽ハ互ニ壓迫セル小葉ヨリ成レルモノ(裸生)……………にがき(七)
- (第三) 螺旋狀互生芽
- 一 芽有柄ニシテ大ナル鱗片全芽ヲ固ク包被スルモノ
- (甲) 芽圓頭ニシテ柄長キモノ……………やまはんのき(四二)
- (乙) 芽稍長形ナルモノ……………はんのき(四一)
- (丙) 芽頭尖銳ニシテ枝端微毛アルモノ……………みやまはんのき(四三)
- 二 芽ハ不完全ナル小葉片ヨリ構成セラルルモノ(枝著シク太ク髓房二分スルモノ)……………をにぐるみ(三六)
- イ 葉痕甚大側芽小圓黑色平滑頂芽稍大ニシテ毛アルモノ……………

- ロ 葉痕甚大ナラス側芽小圓……………さはぐるみ(三七)
- 三 芽ハ其鱗片ノ數又ハ一所ニ抱合セル小葉片ノ明カナルモノ……………ふしのき(一七)
- 一 二年生ノ枝ハ著シク太ク芽ハ毛茸ヲ有スルモノ……………はくらんぼく(二九)
- 二 一年生ノ枝ハ少シク太ク芽ハ毛茸ヲ有スルモノ……………
- 四 芽ハ一乃至二ノ鱗片ヲ有スルモノ
- (甲) 芽葉痕ヨリ生スルモノ
- イ 芽ハ平滑ニシテ芽短ク肥大黃色或ハ紅色枝卵黃色……………はつこやなぎ(五三)
- ロ 幼枝ハ赤褐色ニシテ光澤アルモノ……………こぶし(三三)
- (乙) 枝ハ著キ色ナク芽ハ長ク伸長スルモノ
- イ 芽ニ毛茸ナク圓筒形……………ほこのき(二)
- ロ 芽ハ毛茸ニテ被ハレ枝ニ壓着シ老枝平滑ニシテ光澤アルモノ……………さぬやなぎ
- (丙) 枝綠色或ハ褐色ニシテ芽楔形ヲナシ葉痕圓カラス枝太キモノ……………いぬえんじゆ(一八)
- 五 芽ハ多鱗片ヲ有シ枝著シク細長若クハ帚狀ナルモノ(枝ハ赤色ニシテ光輝ヲ有シ芽長橢圓形粒狀物密布スルモノ)……………志らんば(二八)
- 六 芽ハ多鱗片ニテ圍繞セラレ一年生ノ枝ハ著シク肥大ナルモノ
- (甲) 枝ハ刺ヲ有スルモノ……………はりぎり(二六)
- (乙) 枝ハ刺ヲ有セサルモノ……………なとかまど
- イ 芽ハ長大ニシテ黒紫色ナルモノ……………

樹種識別法

森 林 植 物 圖 說

七、芽ハ綠黄色ヲ帶フルモノ……………こしあぶら(二七)  
芽ハ多鱗片ヨリ圍マレ長枝ノ先端ニ生スル芽ハ單一ニシテ短枝ニ生スル芽ハ  
單一若クハ集合スルモノ

(甲) 枝ハ刺ヲ有セサルモノ

イ、芽短枝上ニ在リ長形ナルモノ

一、芽鱗片ハ綠色ニシテ一部分褐色ナルモノ(芽大ニシテ長ク伸長シ)

枝灰白色……………どろのき(五五)

二、芽樹脂様ニ光澤アル褐色ナルモノ……………やまならし(五六)

ロ、芽枝上ニ直生シ枝黄褐色ナルモノ……………さいはだかんば(三九)

ハ、芽赤色、淡褐色、暗褐色、又ハ灰褐色等ニシテ毛茸ヲ有シ或ハ之ヲ缺クモノ

(乙) 小針狀ノ尖端ヲ有スル枝アルモノ

イ、芽毛茸ヲ有セサルモノ……………うはみづく(二二)

ロ、芽大尖形鱗片暗褐色ナルモノ……………えぞうはみづく(二三)

ハ、芽鱗片少數節部肥大ナルモノ……………あづきなし(二四)

ニ、芽鱗多數ナルモノ……………やまざくら(一九)

ホ、芽少シク毛茸ヲ有スルモノ……………みやまざくら(二〇)

八、芽ハ多鱗片ニテ圍マレ長枝ノ先端ニ聚生スルモノ

(甲) 滑澤ナルモノ

森 林 植 物 圖 說

イ、枝大芽大ナルモノ……………こなら(五〇)  
ロ、枝細小芽小ナルモノ……………おほなら(四八)  
(乙) 毛ヲ有スルモノ(舊葉殘存)……………かしは(四七)

潤  
葉  
樹  
種

著生先造稻戸波新 士博學農 士博學哲 士博學文  
**道士武文獨 道士武文英**

錢六稅郵錢五十五價正册壹全版再正訂 錢四稅郵錢五十四價正册壹全版五補附

農學博士 川上彌瀧 著  
 農學博士 藤島雄太 著  
 農學博士 獨武太郎 著

**FLOWERS**

# なほ

類種の畫挿

石色然天●枚一刷色三フイタトーア色然天  
 タトーア●枚四畫匠意機機版木●枚四摺版  
 個三廿畫圖●枚一圖式花摺版石●枚一ア  
 (冊一全本美判菊裝洋製スーロク色上最)  
 ●錢拾稅郵●錢五拾貳圓壹金價正●

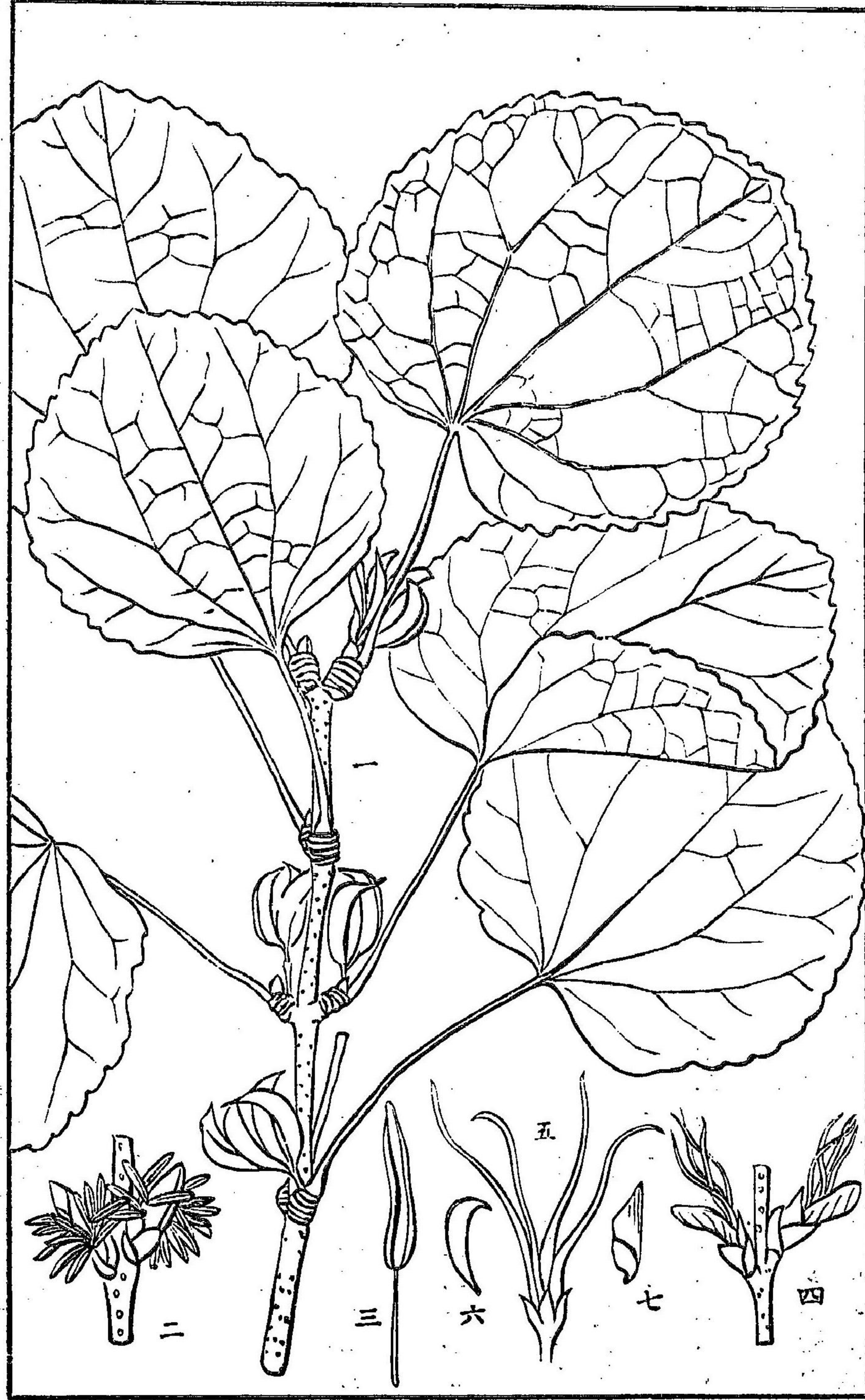
意趣の書本

花は自然の精華にして、造化の靈機これに萃る。而かも詩人は、唯其風姿韻致の美を歌ふを知りて、其構造組織の巧を究むるを知らず、科學者只其構造組織の巧を究むるを知りて、其風姿韻致の美を歌ふとを知らず、嗚呼孰れか造化の靈機は、斯二者を合せ之を一一とするに在るとを知らん、著者身を科學界に委ね、旁ら文學を嗜み、久しく此缺陷を補ふに意あり、拮据數年漸く本書を成せり、敢て花の美と巧とを説き盡くし、造化の靈機を穿了すと謂はざるも、庶文學と科學との調和、こ由りて啓かるゝわらんか、圖書の巧、印刷製本の美、書中の文字相輝映するに至つては、必ずしも茲に繼述せず、一月五月初版發行、二月十六日再版を以て其言の必ずしも浮誇ならざるを徴知せられよ。

本書第一版 第二版 天然色寫真版の製本出來

發行元 東京市日本橋區大傳馬鹽町 裳華房

第壹圖 かつら



潤葉樹種

三九



第一 雲葉科 かつら (第壹圖)

名稱	和名	かつら	あかき	かもかつら	まらかつら
	名	かうのき	とかづら	たまかつら	

アイヌ名 らんご

學名 *Cerciphyllum japonicum*, S. et Z.

形状 幹直立シ高十丈餘、圍丈餘ニ達ス、樹皮灰色ヲ帶ヒ淺キ裂目アリ、大枝ハ直生シ小枝ハ細弱ニシテ微シク垂下ヌ、新枝條ノ色ハ微紅ヲ帶フ。

葉對生稀ニ互生シ、小短枝上ニ生ス、心臟形ニシテ、鈍頭葉基、心臟形、雲頭狀ノ鈍齒ヲ有シ、齒端ニ小腺アリ、葉ノ長サ一吋五分乃至二吋、幅二吋許リ、平滑、葉柄稍長シ。

早春葉ニ先チ紅色ノ細花ヲ開ク、雌雄異株ナリ、雄花尙ホ四片交互ニ相對生シ、膜質ニ脈アリ、下ノ二片各一齒牙ヲ有シ、上ノ二片全邊ニシテ稍大ナリ、開花ニ先チテ脱落ス、多雄藥、其長サ一ナラス、花絲狀、莖ハ脚部ニ着生ス、雌花四片ノ苞アリ、子房四各一胞アリ、花柱ハ線形ニシテ子房ヨリモ長シ。

蒴果形彎曲ス、長サ四五分、柱脚宿存、熟シテ前面全縫線ニ沿ヒテ開裂ス、種子二列ニ着生ス、其數二十餘、子ニ翼アリ、長斜形、長サ一分許。

質材 邊材帶淡複色、心材ハ帶灰褐色、導管ハ多數ニシテ密集シ、廓大鏡ニテモ明視シ難シ、年輪ハ暗色ニシテ密ナル秋材ニテ知ラル、肌理細直、堅硬ナラサルモ緻密ニシテ粘力アリ、裂割シ易シ、之ヲ

鈍削スレハ光澤ヲ生ス、其材ニ淡褐色ナルモノト白色ナルモノトアリ、前者ヲひかつらト稱ス。

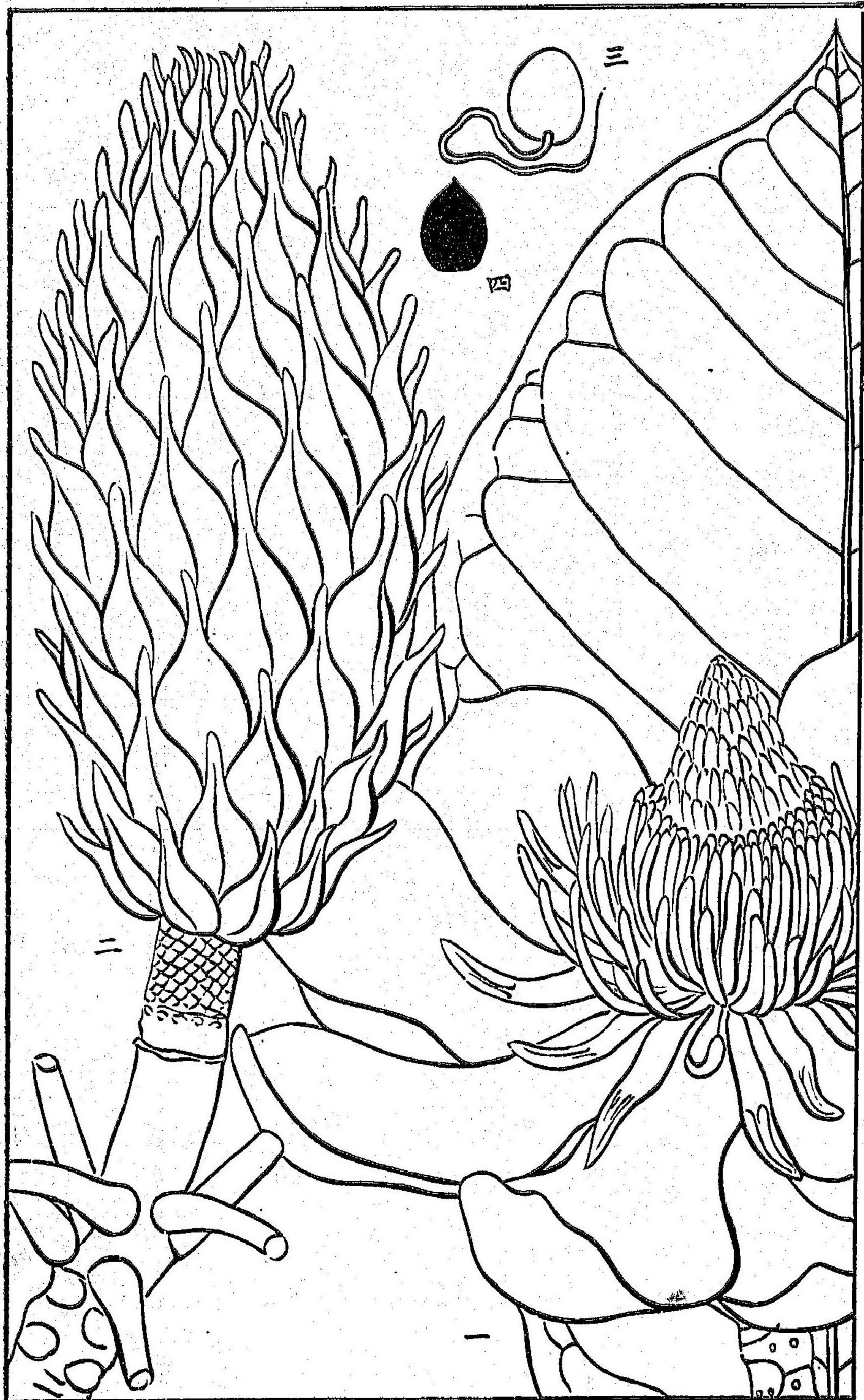
効用 材質柔軟ニシテ模作ヲ施シ易キヲ以テ刻板ニ作り、又裁板ニ適セリ、家屋、橋梁、造船、圖板、器具、履齒、箱類、煙草盆、釜蓋、鉛筆材等ニ作ル。

產地 溪間陰林及ヒ沿川沃土ニ産スルモノ能ク喬大ヲナス、本道到ル處ニ多少之ヲ産スルモ南部ニ尠シ、膽振國有珠郡長流川上流ニ單純林アリ。

圖解 (一)石狩國雨龍郡タトシナイ産かつら (二)雄花 (三)雄藥 (四)雌花 (五)雌藥 (六)蒴果 (七)種子

第貳圖 ほしのき

潤葉樹種



三

第二 木蘭科 ほしのき (第二圖)

名稱 和名 ほしのき ほかがしは

アイヌ名 ぶしに

漢名 浮爛羅勤 厚朴

學名 *Magnolia hypoleuca*, S. et Z.

形状 幹高四五丈幹端直圍四五尺ニ至ル、外皮茶褐色ニシテ厚密枝肥大ニシテ疎ナリ、外皮蒼白色ヲナス。

葉ハ甚大ニシテ數葉互生枝梢ニ攢簇ス倒卵形ニシテ長サ一尺四五寸ニ及フモノアリ、上面滑澤、下面粉白色、軟毛アリ、全縁ニシテ波動狀ヲナス、新葉帶紅色甚タ美ナリ。

七月枝頭一大花ヲ開ク、大サ三四寸許リ、芬香高シ、花苞一片紫褐色、筒形ヲナシ開花ノ際脱落ス、萼三片、長橢圓形瓣狀ニシテ淡紫色ヲ帶フ、花瓣六、匙形黃白色ニシテ厚シ、雄藥多數、葯長ク深紅色ニシテ脚色稍淡ク、葯黃白色、雌藥數十個、各長壘形ニシテ紫色ヲ帶ヒ其脚少シク微黃ヲ帶フ、柱頭宿存性、紫色ニシテ直上シ、内面鋸齒狀ヲナス。

子實甚大ニシテ長サ四五寸許リ、其形長毬果狀ヲナシ、漸尖頭ノ子房數多果軸ノ周圍ニ簇生シ、覆瓦様ニ排生ス、熟スレハ、子房分裂シ深紅色ノ種子房内ヨリ白色螺旋紋脈管ヲ以テ垂下ス、一房毎ニ二個ノ種子ヲ含ム、外皮赤色内被黑色ニシテ堅硬ナリ。

材質 邊材狹ク淡黃色ニシテ、心材灰綠色淡色ノ細微ナル針様狀ヲナス、導管ハ多數ニシテ髓線

潤葉樹種

三

第參圖 こぶし



潤葉樹種

三

潤葉樹種

三

ハ鮮細ノ條紋ヲナス材柔軟ニシテ年輪細密ナリ。  
 効用 彫刻旋盤及物鞘刻板機具木履船具匣類印刷製絲器材殊ニ絲梓ニ賞用シ又鉛筆用材ニ用  
 ニ其木灰ハ堅硬微細ノ質ヲ有スルヲ以テ漆器及ヒ鏡石ノ仕上ク琢磨料トシテ賞用ス。  
 產地 山林隨地ニ之ヲ産スルモ肥沃ノ深林中ニ在ルモノハ能ク需大ヲナス。  
 圖解 石狩國札幌産ほのき(一)花葉(二)果實(三)種子

木黃 第三圖 第三圖

名稱	和名	こぼらし	ひきちくら	こぼし	こぼしはじかみ
	学名	やまあらまき	くどし	くふちのみ	こぶしもくれん
	アイヌ名	しきちくら			
	淡名	をぶけに			
	辛夷	をまうくしに			

學名 Magnolia Kobus, DC.

**形状** 幹長四五丈圍四五尺ニ及フ、外皮暗黒色白斑多ク、遠見スレハ灰白色ヲナス、枝擴張繁密ス、青灰色脆クシテ折レ易シ、幼枝暗青色ヲ帯ヒ芬香アリ、葉ハ有柄長サ四五寸幅三寸許リ、倒卵形尖頭ニシテ基部楔形ヲナス、全邊ニシテ面深綠色滑澤ナリ、背淡褐色脈ニ微毛アリ、脈基ニ毛茸ヲ有ス、四五月頃葉ニ光チテ花ヲ開ク、芬香アリ、蕾ハ綠褐色ノ毛茸アル苞ヲ以テ包マル、萼片花瓣ヨリ小ナルヲ數倍瓣ノ長サ二寸匙形ニシテ瓣脚紫紫色ノ暈アリ、多雄藥、蒴頭ル長ク殆ト花絲ニ四倍ス、其色黄色、花絲黄白色ニシテ扁大ナリ、多雌藥各環形ニシテ淡綠色柱頭圓形、或ハ微凸頭ヲナシ淡黄色、鋸齒アリ、

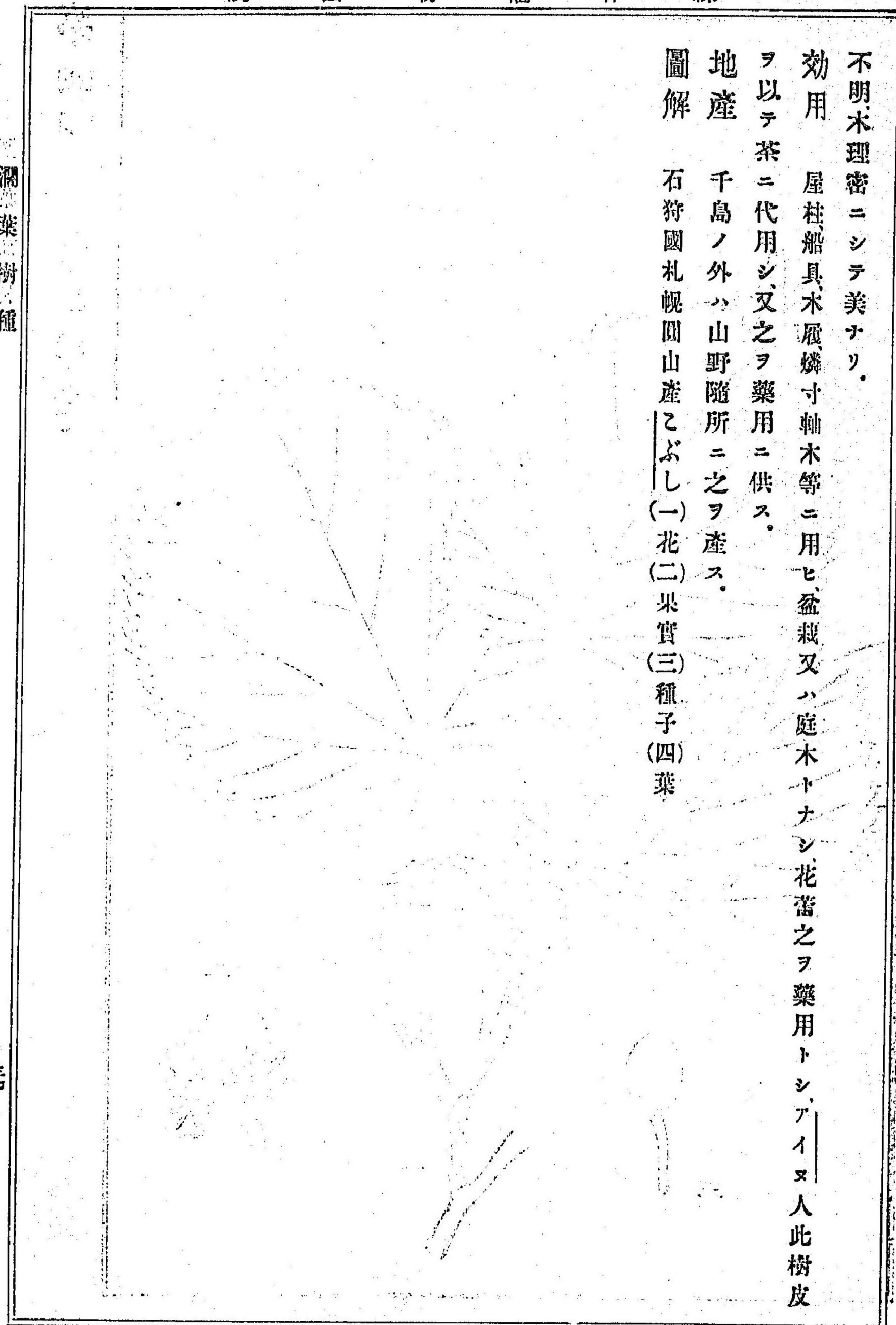
**果實** 長橢圓形ニシテ長サ二三寸熟スレハ彎曲シ、毎胞縱裂シテ種子出ツ、其數二個、外皮赤色ナリ。

**材質** ほとのきニ類シ、心材淡綠色、年輪ハ暗色ニシテ密ナル秋材ニ於テ之ヲ認メ得ヘシ、射出髓

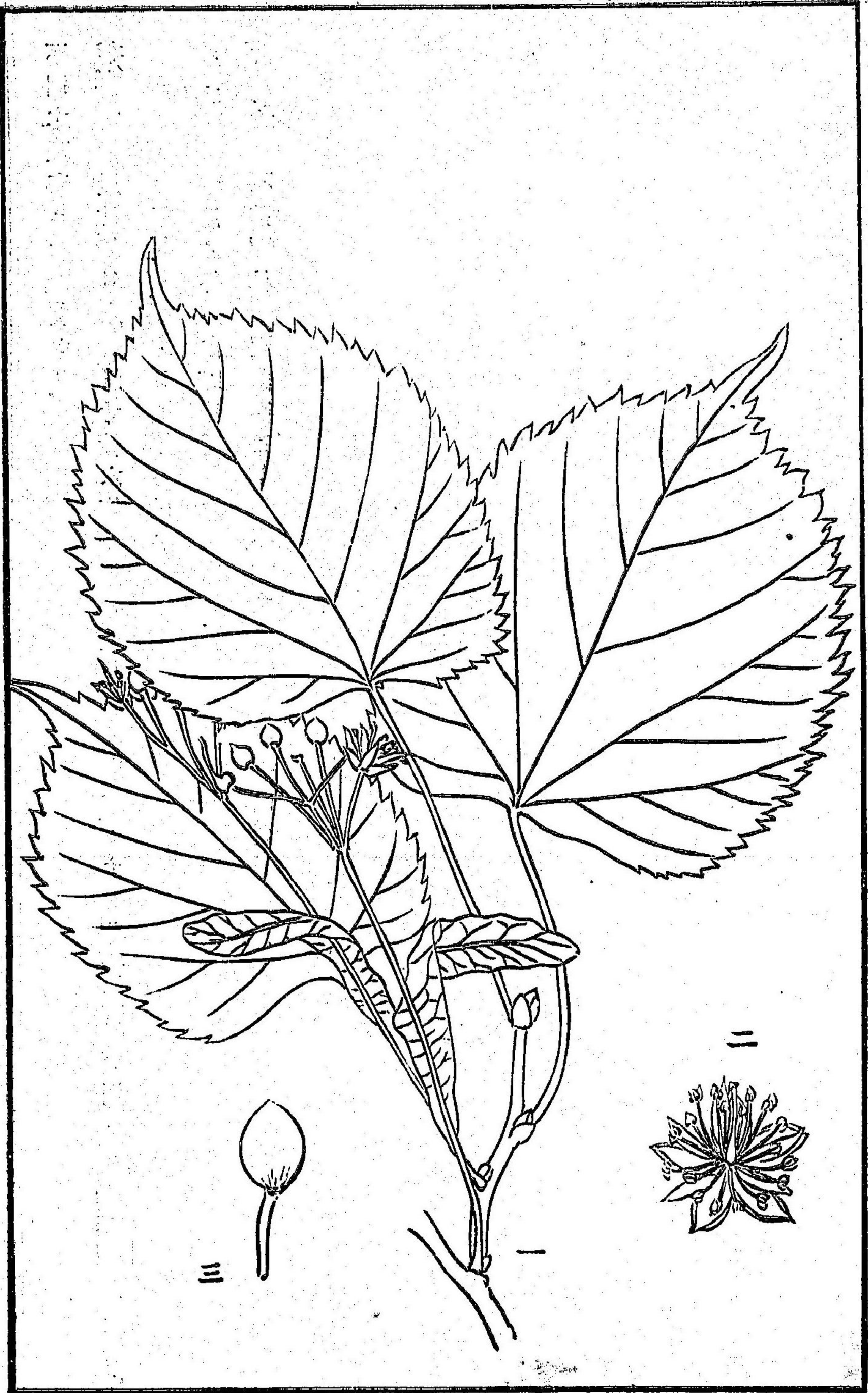
不明木理密ニシテ美ナリ、  
**効用** 屋柱船具、木履燐寸軸木等ニ用ヒ、益裁又ハ庭木トナシ、花蕾之ヲ藥用トシ、アイヌ人此樹皮ヲ以テ茶ニ代用シ、又之ヲ藥用ニ供ス、

**地産** 千島ノ外ハ山野隨所ニ之ヲ産ス、

**圖解** 石狩國札幌間山産(一)花(二)果實(三)種子(四)葉



第四圖 しなのき



第四 菩提樹科 しなのき (第四圖)

名稱 和名 しなかわのき しなかわむぎ まだのき まなわ わたのき  
 アイヌ名 にべしに くけれけふに

學名 *Tilia cordata*, Mill. var. *japonica*, Miq.

形狀 幹高六七丈圍五六尺、外皮褐色、内皮淡褐色ニシテ各層剝落ス、枝條擴張葉繁密ナリ、枝黒褐色ヲ呈ス。

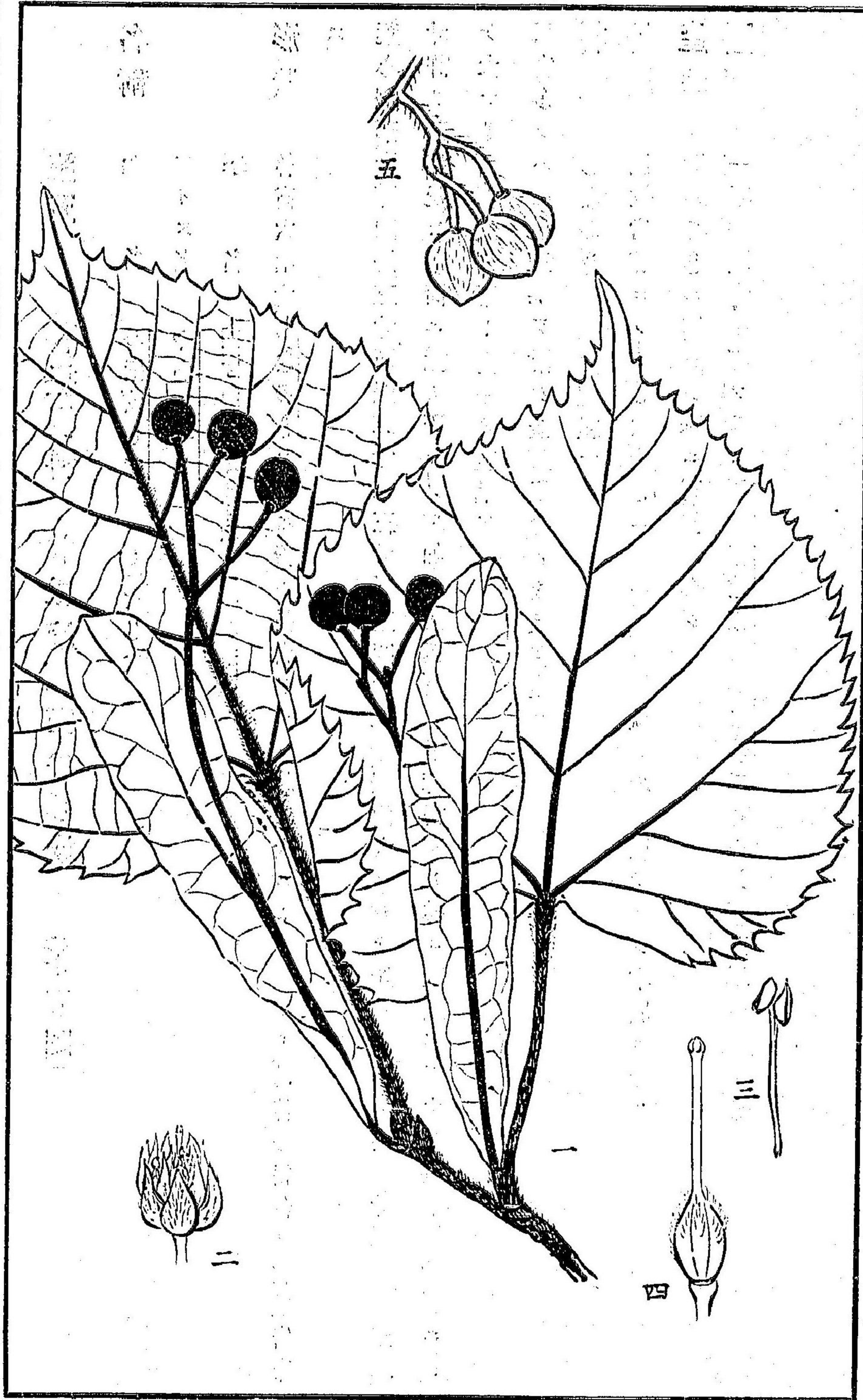
葉互生、心臟形、左右不等形、長二寸乃至三寸、幅二寸乃至二寸五分、深綠色、下面灰白、脈基ニ褐色ノ毛茸アリ、尖頭基部深ク凹入シ、或ハ稍截形ヲナスモノアリ、鋸齒大ニシテ鋭シ。

葉脈ニ花梗ヲ生ス、梗ニハ半ハ附着セル苞葉アリ、枝針形鈍頭淡褐色ニシテ其脈明カナリ、聚繖花狀ノ花横簇シ五六ノ花ヲ着ク、萼瓣共ニ五片互生ス、瓣白色ニシテ微黄ヲ帯ヒ線形ヲナス、雄蕊廿五乃至三十、蒴橢圓形、雌蕊柱頭分裂シ花後伸長ス、果實核果圓形ニシテ熟シ灰青色、核堅シ、普通一梗二子ヲ着ク。

材質 淡黄褐色ヲ帯ヒ、射出髓ハ一樣ニ細微ニシテ光澤ナク、板目上廓大鏡ニテ細微ナル針様物トシテ見ルヲ得ヘク、導管多數ニシテ一樣ニ分布サレ、木理粗ニシテ柔軟割割シ易シ。

効用 内皮ノ纖維ハ柔靱ニシテ能ク水濕ニ耐エルヲ以テ布ニ織リ、又諸物ヲ縛束スルニ用ユ、蓆表ノ經線繩、粗布、篋、脚絆、漉酒袋、蚊帳、馬具及ヒ製紙ノ原料トナス、織物ハ「まだぬの」ト稱ス、材ハ箱類器具、板及ヒ薪材ニ供ス、此屬ノ花ハ藥用トシ、又花蜜ハ蜂ノ嗜好スルモノニシテ佳良ノ蜜ヲ生スルヲ

潤葉樹種



第五圖 おほばばだいじゆ

二

潤葉樹種

以テ米國東部ニ於テ養蜂家之ヲ路傍ニ植ユル者アリト云フ。  
 產地 深林沃土陰濕地ヲ好ム石狩渡島天鹽北見ニ多シ。  
 圖解 (一)石狩國空知郡ヲラマ産シ(二)花(三)果實

三〇

第五 菩提樹科 *ねほほぼだいじゆ* (第五圖)

名稱 和名 *ねほほしな* あをしな

アイヌ名 *やいにべし*

學名 *Thia Maximowiczii, Shirasawa.*

形狀 幹高六七丈、しなのきヨリモ能ク長大ヲナス、枝肥大ニシテ疎ナリ、幼條淡褐色ノ軟毛密布ス。

葉心臟形、廣楕圓長三寸乃至五寸、幅三寸乃至四寸五分、鋸齒大ニシテ鋭シ、葉柄ノ長一寸五分乃至二寸許リ、葉柄及ヒ葉面ニ揉ミ碎キタル如キ淡褐色ノ毛茸密布シ、殊ニ脈上多毛ナリ、苞葉披針形ニシテ大ナリ、其柄短ク葉ト同一ノ軟毛アリ。

果實多クハ一梗三果ヲ附ク、淡灰褐色ノ柔毛密生ス。

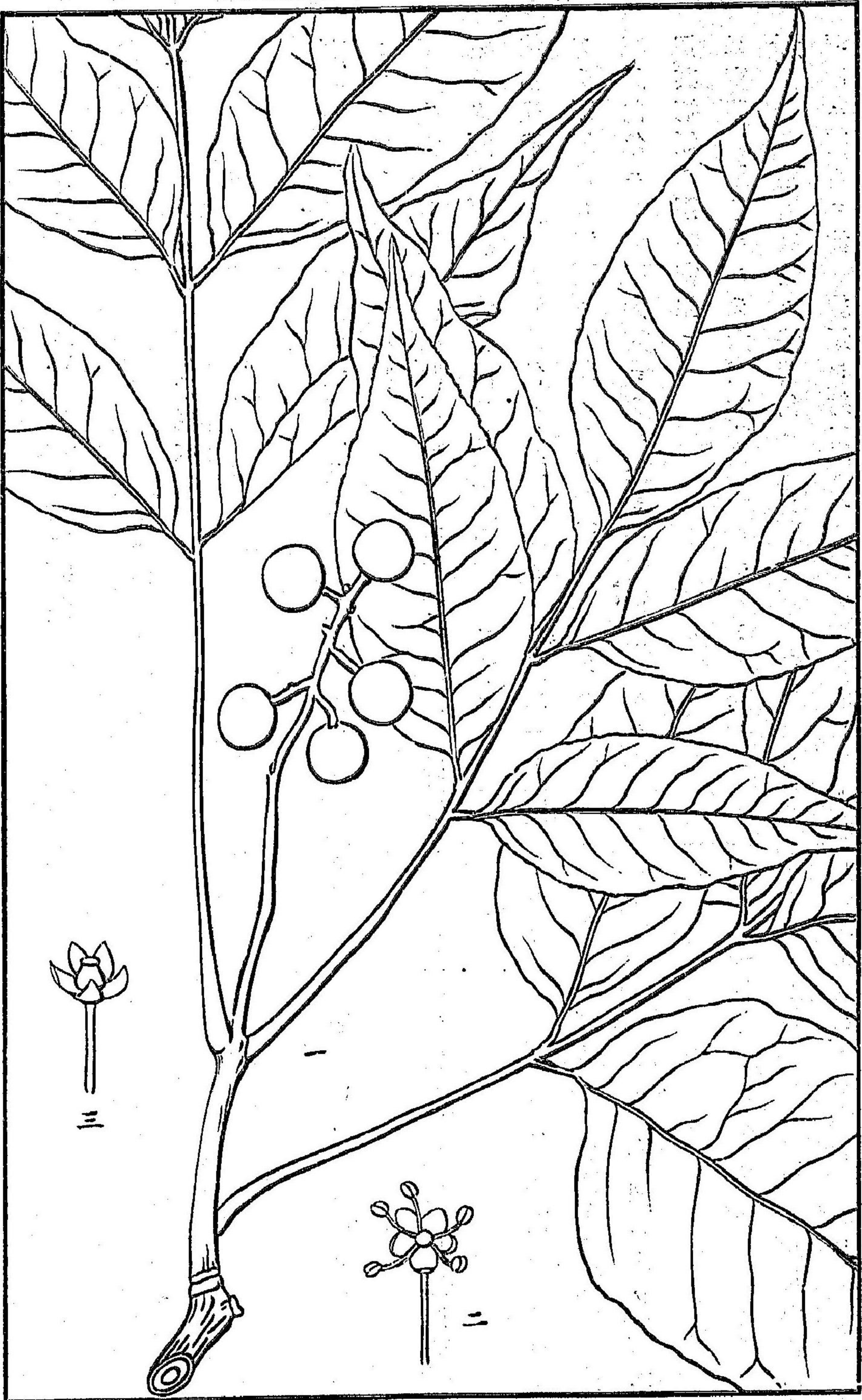
材質 *しなのき*ニ似テ輕粗ナリ

効用 纖維劣等ニシテ、*しなのき*ニ及ハス、材輕軟ナルヲ以テ多ク木履ニ作ル。

產地 *しなのき*ニ同シク殊ニ石狩ニ多シ。

圖解 (一)石狩國空知郡フラヌ産 *ねほほだいじゆ* (二)花 (三)雄藥 (四)雌藥 (五)果實

第六圖 *ききはだ*



森 植 物 圖 說

第六 芸香科 きばだ (第六圖)

名稱 和名 きばだ 名ころ

アイヌ名 しけれべに

漢名 藥木

學名 *Phellodendron amurense, Rupr.*

形狀 樹幹直立五六丈圍七八尺ニ及ブ、内皮黄色、外皮厚ク木栓質ニシテ淡褐色、外貌灰白色ヲナシ深キ裂目ヲ有シ枝擴張ス。

葉對生奇數羽狀一柄三四對柄ノ長五六寸、葉橢圓形、尖頭、基部銳形、鋸緣粗雲頭狀ヲナス、長三四寸、葉柄甚ク短ク、面綠色、背帶白色、新葉脈上微毛ヲ有ス。

枝梢聚繖花ヲ生シ黄綠色ノ細花ヲ着ク、雌雄異株ナリ、萼甚ク少ニシテ五裂、各片卵形、先端邊緣ニ細齒アリ、頂端及ヒ背面ニ毛茸アリ、花瓣五時トシテハ細長ニシテ尖リ、長サ等シカラス、淡黄褐色、五雄藥

花絲白色ニシテ肥大瓣ヨリモ長シ、藥淡黄色ニシテ内向シ、花瓣間疎ニシテ雄藥其間ニ出ツ、雌藥五個、其柄短ク剛毛密生ス。

果實漿果、黑色ニシテ大豆大苦味ナルモノト甘味ナルモノトアリ、一梗十個内外ヲ着ク。

材質 邊材甚狭ク淡黄色ニシテ、心材黄褐色ヲ帶ヒ光澤アリ、有孔層ハ明カニ限界アルモ導管ハ判明ニ開カス、波狀線短シ、射出體ハ細微ナルモ明ガナリ、材甚ク堅カラズシテ軟ク割レ易シ。

効用 建築良材ニシテ箱類器具旋盤用ニ使用ス、内皮ハ染料トシ又藥用ニ供ス、果ハ甘味ノモノ

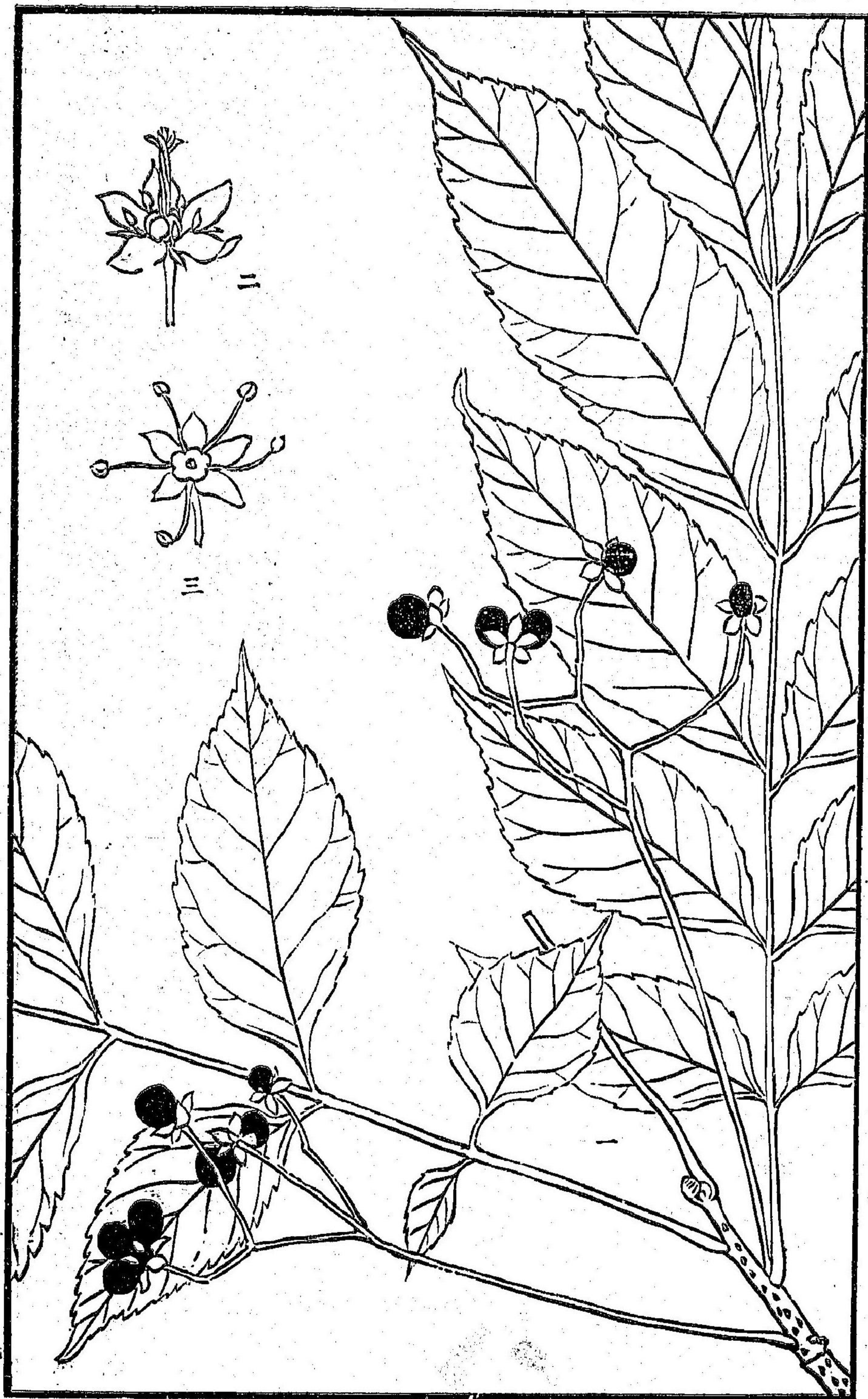
森 植 物 圖 說

ハ之ヲ生食シ、外皮ハ木栓質ナルヲ以テ厚キハ塞子トナスベシ、アイヌ皮ヲ剝取リテ屋ヲ覆ヒ又壁板ニ代ニ、西比利亞ノ漁人、外皮三四枚ヲ合セテ漁網ノ浮子ヲ作ル、アイヌ山河徒涉ノ際、足指ノ腐爛シタル際、其實若クハ内皮ヲ細截シテ之ヲ用ユレハ、即チ効アリトテ之ヲ賞用ス。

產地 深林沃土ヲ好ミテ生シ、渡島ヨリ擇捉島ニ到ルマテ所在、之ヲ産スルモ殊ニ石狩ニ多シ。  
圖解 (一) 石狩國空知郡ヲトエボツク産きばだ (二) 雄花 (三) 雌花



第七圖 ふがき



潤葉樹種

四

第七 黄棟樹科 にがき (第七圖)

名稱 和名 にがき

アイヌ名 しゆんに ゆくらひげに

漢名 黄棟樹

學名 *Pterisma gussoides, Bm.*

形状 幹長三四丈圍二三尺樹皮淡黒色灰斑ヲ帶フ枝條擴張柔靱ニシテ暢長シ褐色ニシテ白點多ク平滑ナリ。

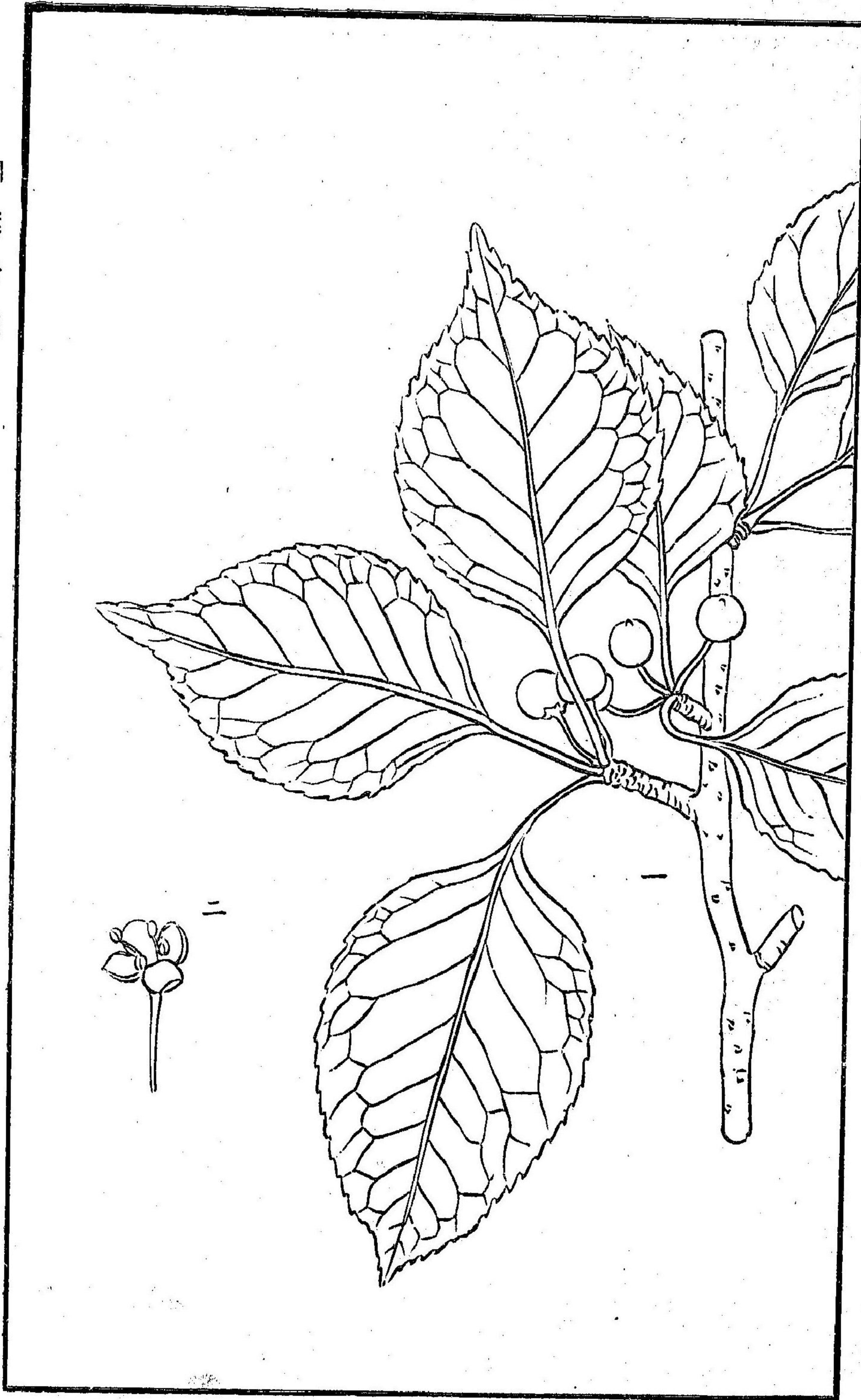
葉互生并數羽狀葉ニシテ長サ一尺小葉五六對卵狀披針廣卵圓形平滑尖頭圓基不等粗鋸齒アリ長二三寸幅一寸許リ柄甚タ短シ。

梢頭總狀花ヲ着ク青黄色ノ小花ヲ攢簇ス花綠色雌雄兩性アリ雄花萼瓣共ニ五片時トシテ四片アリ、瓣卵形雄藥花瓣間ヨリ出テ藥ト對生ス雌花亦同シク四五片ヨリ成リ雌藥細長ニシテ柔毛アリ、子房相着生シ厚盤上ニ在リ花柱頭四乃至五裂ス雌花ノ花瓣宿存性ニシテ花後増大ス。果實核果豆大ニシテ熟スレハ藍綠色内皮薄ク萼片紅色ナリ。

材質 邊材黄白色心材紅黄色其色不同ナルモ美シク光輝アリ有孔層ハ著シキ限界ヲ有シ年輪ノ幅ハ一ナラズ厚サ不同ナリ射出髓ハ淡黄色ニシテ光澤アリ堅硬ニシテ最モ粘力アリ裂割シ難ク材質内ニ含ム物質ノ爲メニ苦味アリ。

効用 箱類器具荷馬車農具ノ諸器ニ用ヒ又曲物ヲ作ル葉ノ味至テ苦キヲ以テ之ヲ藥用ニ供シ

第八圖 あきはだ



潤葉樹種

究

潤葉樹種

只

又農家之ヲ驅蟲劑ニ用ニアイヌ人此苦味質ヲ有毒ナリトシ頭癬瘍腫ニ用ヒ又虱ノ驅蟲藥トナス。  
 產地 深林陰濕地ニ生シ所在之ヲ産ス。  
 圖解 (一) 渡島國上磯郡一ノ渡産にがき (二) 雌花 (三) 雄花

第八 冬青科 あまはだ (第八圖)

名稱

和名

まらばのうめもどき

こさぶな

やまうめもどき

學名

こしやうぶな

かうぼうちや

くまねり

くまのり

*Ilex macrospora, Miq.*

形狀

幹長三四丈圍三尺餘ニ及フ、幹枝共外皮ハ平滑灰白色ニシテ微綠色ヲ帯ヒ散裂セス、枝末短縮シテ細皺ヲナス。

葉互生シ橢圓形、尖頭、基部漸尖、或ハ圓形鋸齒鋭シ數葉枝頭ニ横生ス、長二寸五六分幅、一寸七分平滑ニシテ淡綠色ナリ、晩秋黃白色ニ變ス。

六七月葉腋ニ四五瓣白色ノ數小花ヲ開ク、雌雄異株ナリ。

果實球形秋熟シテ紅色トナル、中ニ四五子アリ。

材質 白色ニシテ微シク藍色ヲ帯ヒ心材ナシ、射出髓ハ光輝アリ、導管ハ細微多數ニシテ數列ニ

射出ノ方向ニ排列セラル、質堅クシテ木理細密ニシテ粘力アリ、之ヲ鉋削スレバ繊細ナル髓線ノ極

メテ多キヲ見ル。

効用 小細工、寄セ木細工、鑿作用ニ供シ、又嫩葉ハ食用トナスベシト云フ。

產地 渡島、後志、石狩、膽振、日高ノ一部ニ限リテ産シ、而モ多ク之ヲ産セス。

圖解 (一)日高國様似産あまはだ (二)花

圖解

第九圖 とちのち



第九 七葉樹科 七葉樹 (第九圖)

名稱 和名 おほとち くりとち みやまとち ほんとち

アイヌ名 どんぐりとち さくとち 弘法大師くはずのくり

漢名 七葉樹

學名 *Aesculus turbinata, Bl.*

形状

幹長八九丈、圍丈ニ達ス、枝四出肥大ニシテ疎ナリ、樹皮初メハ平滑ニシテ灰褐色ナルモ後

茶褐色ヲ呈ス、外貌灰色ヲ帶ヒ木栓質ノ裂目ヲ有スル扁平ナル皮ヲ生ス。

葉對生シ掌狀複葉ニシテ五乃至七、小葉ヲ着ク柄ノ長サ四五寸、小葉倒卵形、尖頭基部漸尖、鋸齒アリ、

最大ノモノ長一尺、幅三四寸、而深縁下面淺縁ニシテ褐色毛密布ス。

葉間長六七寸乃至一尺許リノ穗花ヲ生シ、小梗ノ多花ヲ着ク、白花五瓣、倒卵形、先端小凹狀ヲナス、紅

暈アリ、大サ三四分許リ、萼五裂、雄蕊七、花絲頗ル細長、一室ニシテ花絲ト丁字狀ニ着生ス、一雌蕊長

圓形ヲナシ茶褐色ノ柔毛密生ス、花柱短小ナリ。

果實堅果ニシテ外皮褐色、厚サ二分、頂部ニ突起アリ、肉黄白色、味苦シ、外殼背縫線ニ沿ヒテ裂開ス、中

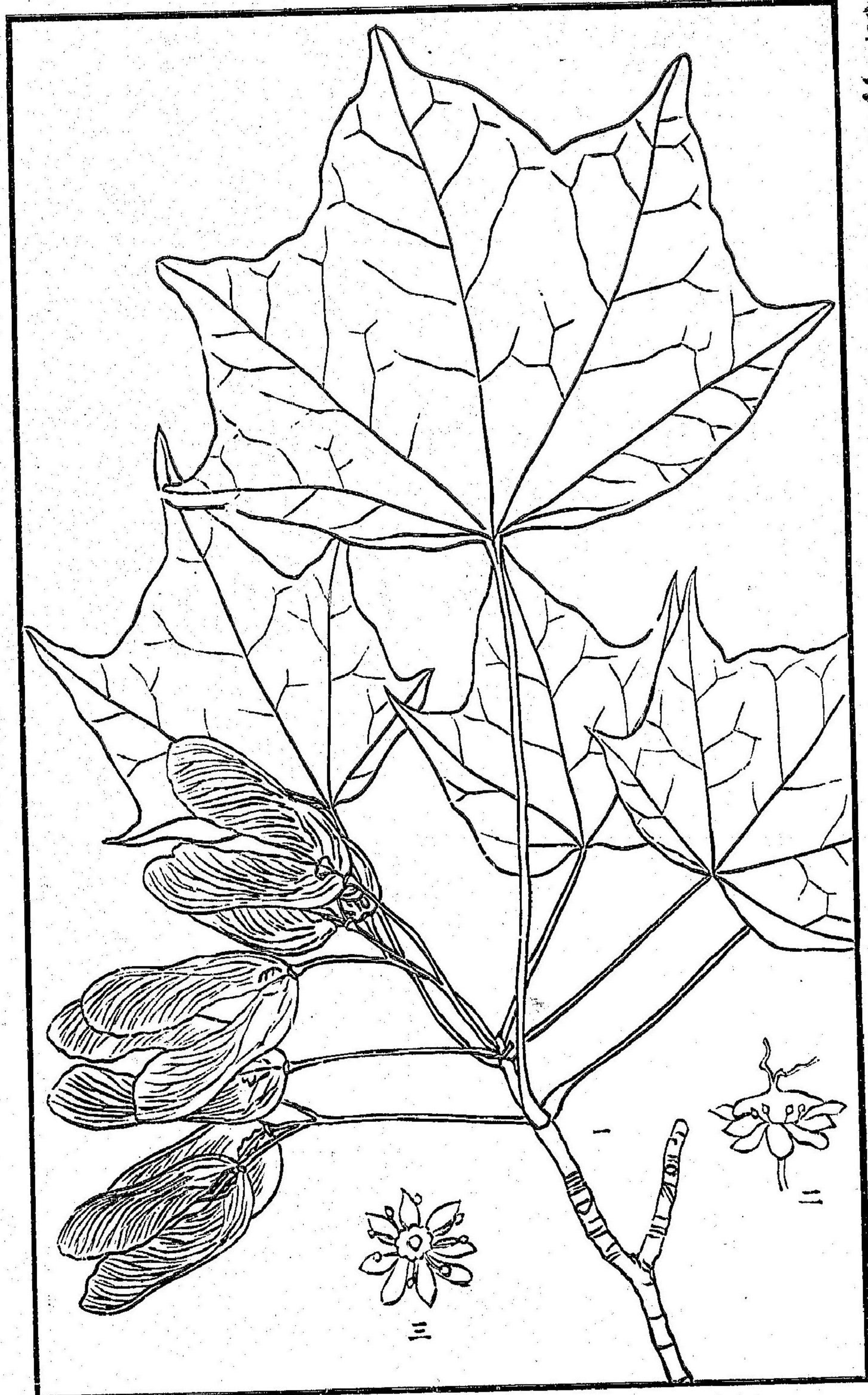
ニ大ナル一子アリ、形稍圓クシテ光澤アル深褐色ヲ呈ス。

材質

材色白クシテ微黄色ヲ帶ヒ一種ノ光輝ヲ有スルモノニシテ、射出髓ハ極目上ニ規則正シク並行ニ走り、板目上ニハ規則正シキ波狀線ヲナス、其質緻密粘強ニシテ之ヲ鉋削スルニ逆理起ラ

ス、硬度中性ナリ、木理花紋ヲ爲スモノ之ヲちぢれとちト稱シテ工匠ノ珍重スル處ナリ。  
効用 木材ハ之ヲ鑿列スルニ缺損シ易カラズ、其品質優等ニシテ操作上甚ダ便利ナルヲ以テ、工  
匠常ニ賞用スル所ニシテ、板橋梁門扉机案箱類小器具、丸木船、臼、船具、火鉢等ニ作ル、實ハ澱粉ヲ製シ  
山民常ニ之ヲ以テ餅ヲ造ル、とちもち是ナリ、又樹皮ハ藥用トシ、幾那ノ代用トスベシ、歐洲ニテハ此  
樹ヲ公園艸庭ニ植ヘ、又路傍樹トナス、實ハ碎キテ食物ニ混ジ、呼吸機病ニ罹レル馬ニ與ヘテ一時ノ  
療法トナシ、實ハ又打撲ニ藥用シ、其粉末ハ石鹼ニ代用シ、炙リテ飲料トシ、酸シテ酒精ヲ得ベシ、我國  
ノ山民時ニ其葉ヲ採リテ煙草ニ混ジテ喫煙料ニ供スルモノアリ。  
產地 深林沃土ニ産ス、渡島、後志ニ多ク、膽振、石狩、亦少シク之ヲ産ス。  
圖解 (一)膽振國室蘭産とちのき (二)花穂 (三)花 (四)果實

第拾圖 いたやかへて



五

第十 槭樹科 いたやかへて (第十圖)

名稱 和 名 ときはかへて いたや つかかへて つたもみぢ

アイヌ名 おほつたもみぢ きぶねもみぢ いたぎかへて いたぎ

學 名 *Acer pictum*, Th. しとべに

形状 幹長五六丈、圍六七尺ニ及フ、樹皮灰黄褐色ヲ帶ヒ、粗厚ニシテ裂目アリ、枝條繁密四出シ、淡褐色ニシテ肥大ナリ、葉掌狀五乃至七裂、平滑、或ハ下面脈上毛アリ、幅長サヲ超過シ、基部截形又ハ稍心臟形裂片狹頭、銳尖ナリ。

早春葉ニ先チテ葉腋ニ穗花ヲ垂下ス、淡黄色ノ小花横簇シ、五瓣五萼、雌花淡黄色ノ花瓣アリ、筒形ニシテ平滑、萼圓形、雌蕊二胞アリテ短ク、二裂シテ卷捲シ、瓣外ニ長ク出テス、子房二胞、每胞一子ヲ有ス。

双翅果ハ變種ニ依リテ種々ノ角度ヲナシテ相離開ス

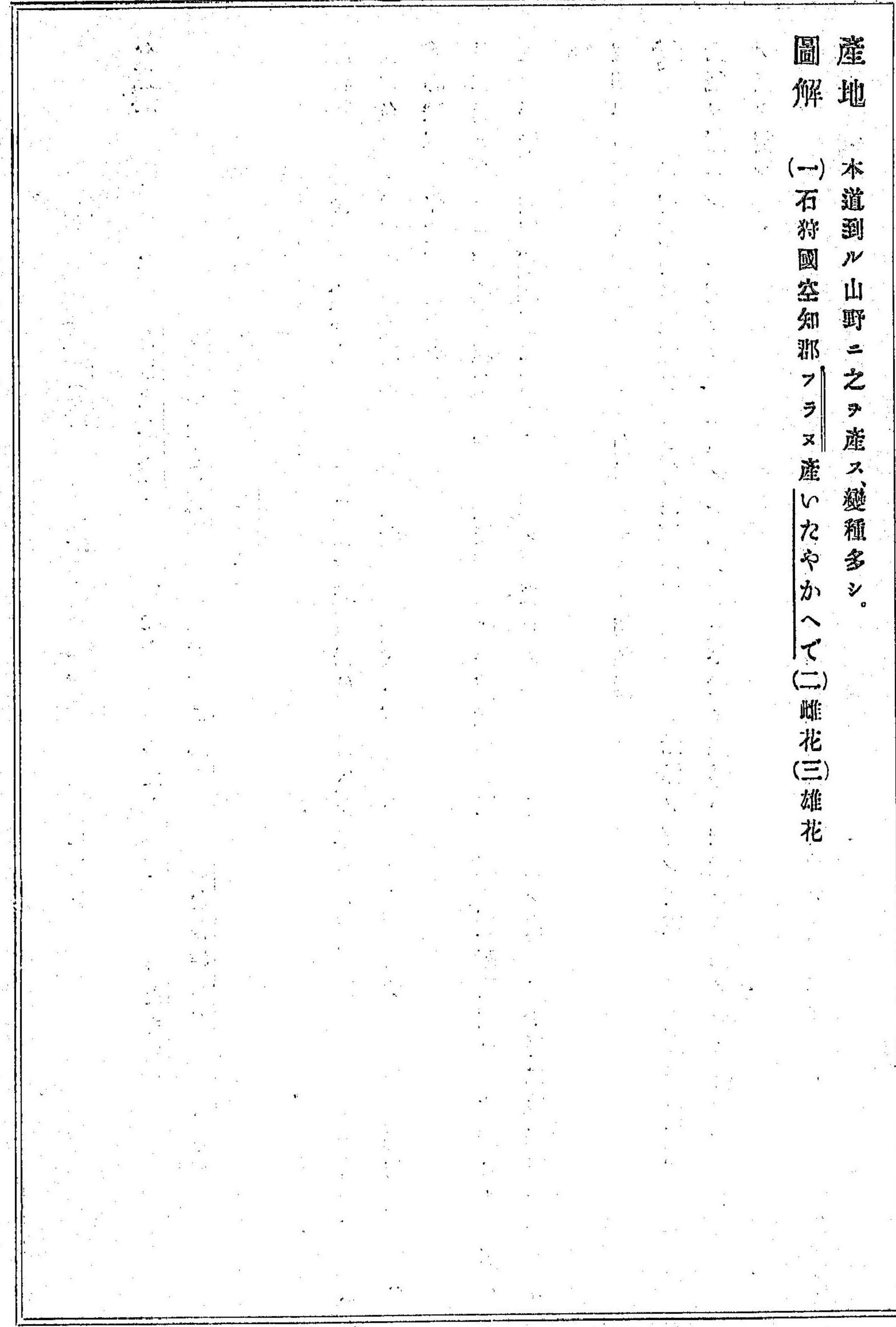
材質 材帯黄白色微紅ヲ帶ヒ、射出髓ハ明瞭ニシテ光澤ヲ有シ、真正ニ走ル、導管ハ細微ニシテ、廓大鏡ヲ用ユルルハ開キタル細微ノ小孔ヲ認ム、年輪ノ限界ハ細微ナル線ヲナス、肌理緻密、平滑ニシテ堅ク割レ易シ。

効用 屋柱、雪車、刀鞘、刀柄、杓子、農具柄、槌等ニ用ヒ、又薪炭ノ良材ナリ、早春樹液ヲ煎シテ佳良ノ砂糖ヲ製ス。

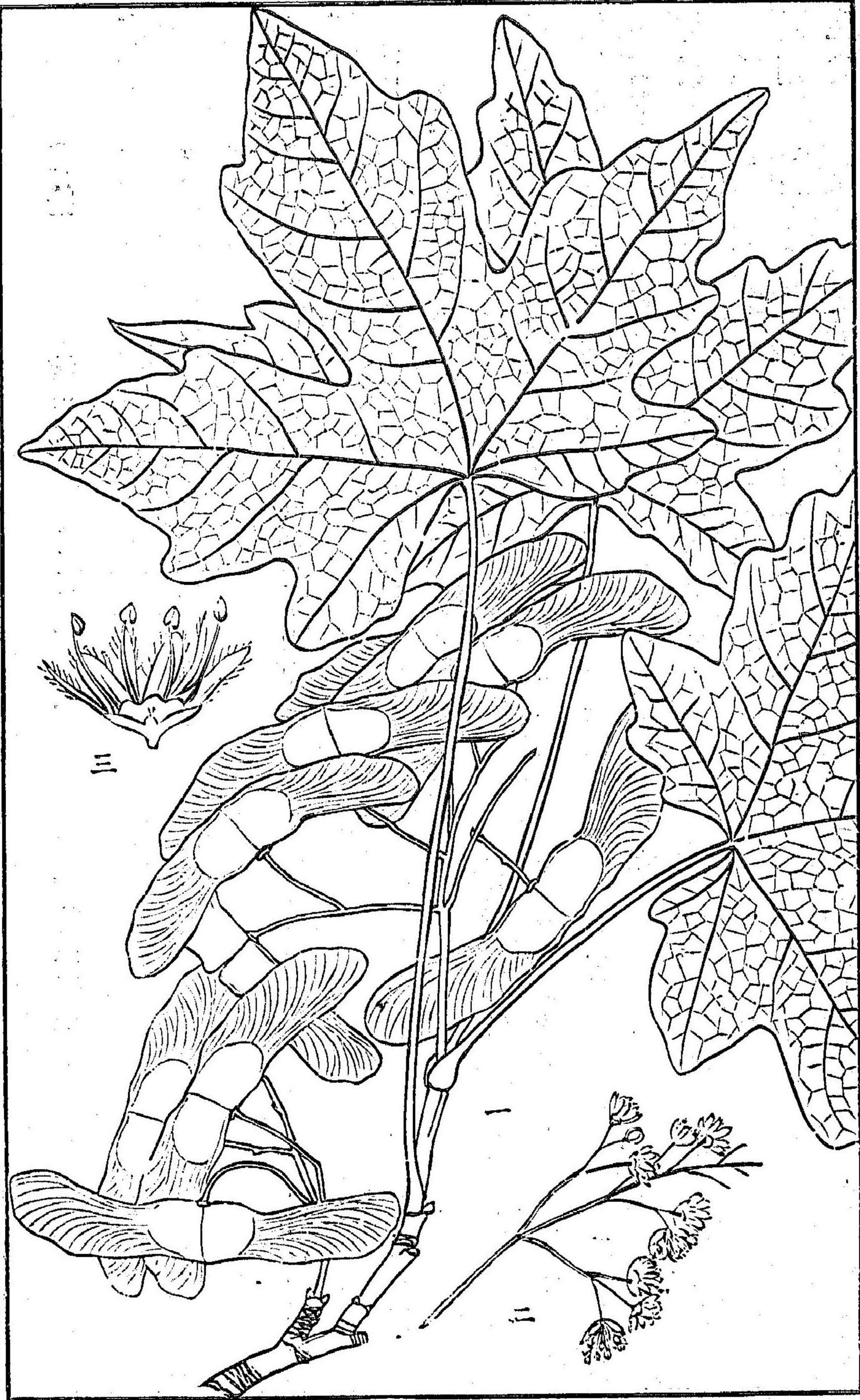
潤葉樹種

產地 本道到ル山野ニ之ヲ産ス、變種多シ。  
圖解 (一) 石狩國空知郡フラヌ産イタヤカヘテ (二) 雌花 (三) 雄花

五



第拾壹圖 くろびいたや



潤葉樹種

五

第拾壹

槭樹科

くろびいたや

(第拾壹圖)

名稱

和名

くろびいたや

アイマ名

やいらえんでとへに

學名

Acer Miyabei, Macz.

形狀

褐色ナリ。

幹長六七丈、圍六七尺ニ達ス、樹皮いたやニ似テ稍粗ニシテ赭色ヲ帶フ、樹枝灰白色、細條淡

葉掌狀ニ分裂シ其幅長サニ超過シ、三大尖ニ小尖アリ、大尖片ノ兩側ニ二個ノ小突起アリ、裂片漸尖ニシテ鈍頭中央以上ニ三缺刻アリ、全邊ニシテ葉脈ニ沿ヒテ毛茸アリ、基部截形、或ハ心臟形、面深綠色、下面帶白色、葉柄甚タ長ク葉片ノ二倍ニ達スル者アリ、繖房花叢短梗平滑ニシテ、花數少シ萼及ヒ花瓣ハいたやニ全シク淡黃色、花瓣鏡形、背面及ヒ周邊ニ細毛アリ、雄花ハ雄藥瓣ト相交錯シ、花絲々狀長ク瓣上ニ出ツ、子房微小ニシテ不完全、雌花ハ雄藥不完全ニシテ子房ヨリモ短ク、長白毛ヲ有ス、双翅熟シテ赤褐色、其翅殆ト水平ニ開張シ、毛茸密生ス、長サ一寸許、材質 材帶黃白色、射出髓細小ナルモ明白ナリ、導管ハ年輪内ニ散在シ、廓大鏡ヲ用ユルトハ之ヲ認メ得ベシ、性質いたやカへてト全シ。

効用

いたやト同一ノ用途ニ供スヘシ。

產地

ニ達ス。

日高、膽振、石狩、十勝等日高山脈ニ沿ヒタル地ニ限リ生ス、産區南ハ類似郡ヨリ北ハ空知郡

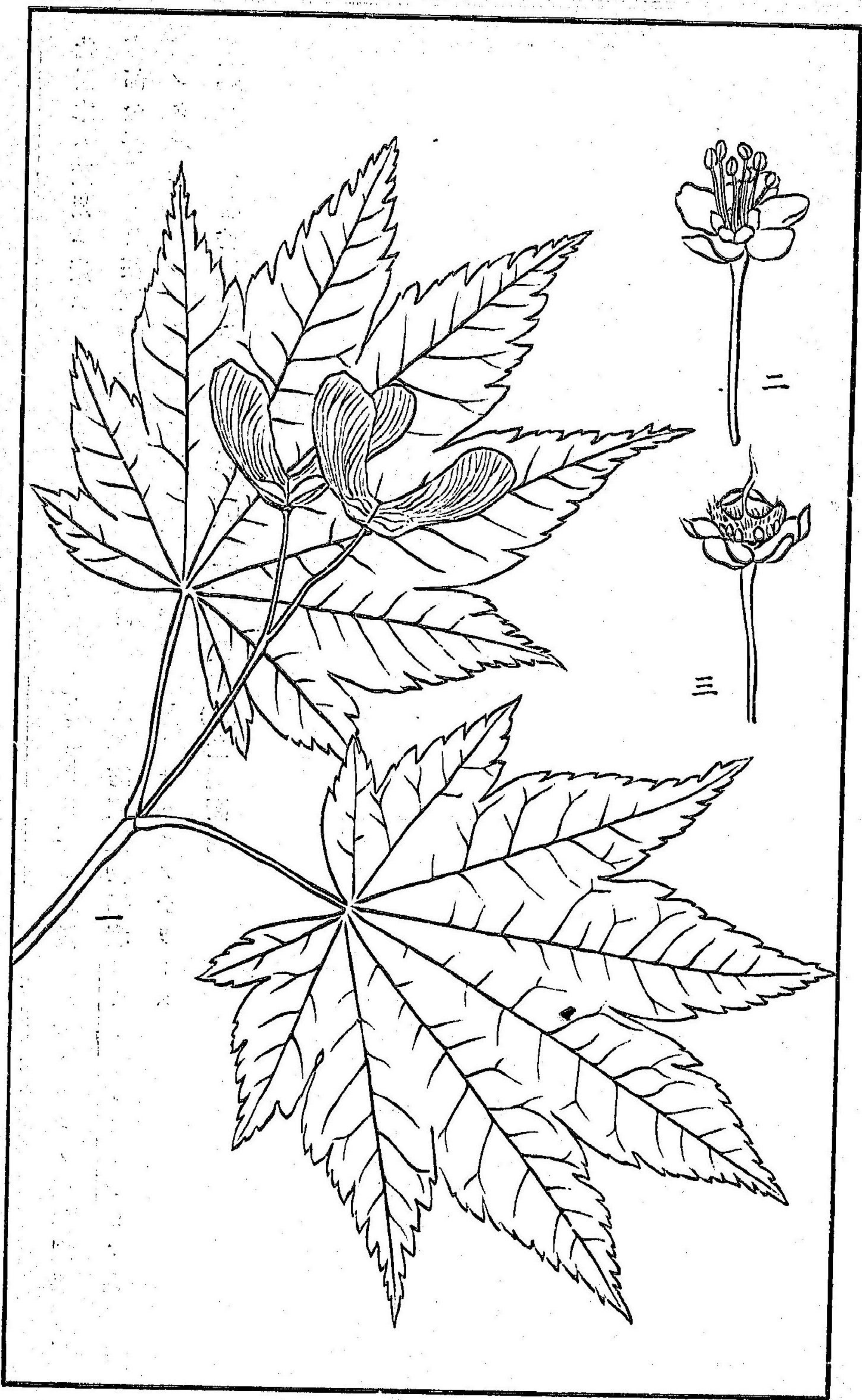
此樹木ハ歐州ニ産スル「アール、プラタノイデス」(Acer platanoides)ニ似タルモノニシテ、往年理學博士宮部金吾氏ノ日高國ニ於テ發見シ、一千八百八十八年露國植物學者マキシモヅフクツ氏ノ命名記述シタル珍種ニシテ、北海道ノ外ニ未タ其產地ヲ知ラサルモノナリトス。

圖解

(一)石狩國岩見澤産くろびいたや (二)雄花 (三)全縱斷面

潤葉樹種

第拾貳圖 めいげつかへて



六

第拾貳 槭樹科 めいげつかへて (第拾貳圖)

名稱 和名 めいげはないたや ほうちはかへて いたやめいげつ  
 アイヌ名 シはとくに れたつととへに

學名 Acer japonicum, Th.

形狀 高三四丈圍五六尺ニ及ヒ、外皮灰青色ヲ帶ヒ粗硬疎ニ裂目アリ、枝稍暢張シ、灰色、細條淡紅色ヲ帶フ。

葉掌狀、長幅相全シク、基脚心臟形ヲナシ、多裂九乃至十一裂、銳鋸齒アリ、長三四寸、幅四五寸ニ達スルモノアリ、葉柄嫩時細毛密生ス、秋季鮮紅色ニ變ス。

六月繖房花ヲ生ス、平滑ニシテ垂下シ、單性并ニ兩全花アリ、萼五片、披針形、大ニシテ暗紅色、或ハ黃色ノモノアリ、瓣五、子房ノ基脚ヲ圍メル盤ノ周縁ニ着生シ、萼ヨリモ淡色ナリ、雄藥ハ盤上ニ着生ス、花絲々狀、萼二室、長橢圓内向シ、丁字樣ニ着ク、子房無柄、二室隔映ヲ以テ分レ、各一個ノ胚珠ヲ有ス、花柱ハ中軸胎坐ニシテ柱頭ニ裂ス。

双翅果成熟スレハ平滑、又ハ少シク毛アリ、翅ハ稍直角ヲナシテ相離開シ、胞ハ稍一垂線ヲナシテ相離開ス、一翅ノ長サ七八分深紫色ナリ。

材質 白質堅韌微赤色ヲ帶ヒ、射出髓線稍光澤アリ、年輪界ハ粗キ波狀線ヲナスモ明カナラス、肌理緻密、鉋削スレハ滑澤アリ。

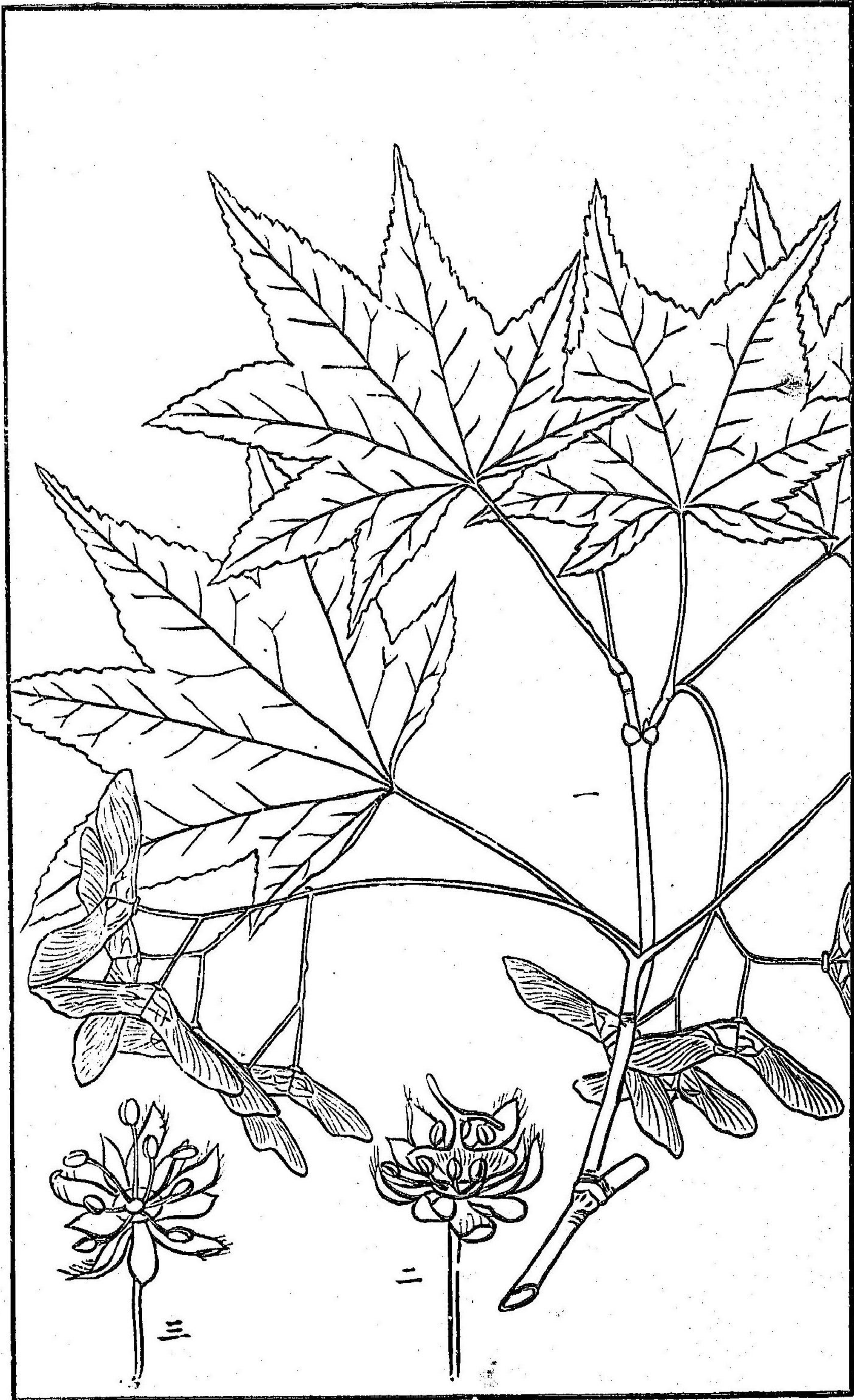
効用 屋柱、机案、箱、類船室、艦裝、銃柄、刀鞘、農具柄等ノ用ニ供シ、又薪炭良材ナリ。

潤葉樹種

六



第拾參圖 やまもみぢ



溷葉樹種

產地 山中到ル處ニ産ス溪側ノ地最モ能ク長大ヲナス。  
 圖解 (一)後志國利別産めいげつかへて(二)雄花(三)雌花

溷葉樹種

第拾四圖 おがらばふ



潤葉樹種

壹

潤葉樹種

壹

第拾參 槭樹科 やまもみぢ (第拾參圖)

名稱 和名 はないたや もみぢ かへて

アイヌ名 しはとべに れたつととべに

學名 Acer palmatum, Th.

形狀 幹長四五丈圍五六尺外皮灰青色枝條青色ニシテ平滑ナリ。

葉稍圓形通常七裂基脚截形或ハ心臟形尖頭鋸齒銳シ兩面平滑時ニ微毛ヲ有スルモノアリ長サ三四寸幅一二寸柄長サ三寸ニ達ス。

花叢平滑花小暗紅色雌雄兩全花ニ在テハ萼暗紅色微毛アリ瓣紅色萼モ紅色ナリ雌藥一柱アリ長ク瓣外ニ抽キ其頭二裂シテ左右ニ彎曲ス子房二室每室二子ヲ有ス。

双翅果ハ小ニシテ平滑翅ハ鈍角ヲナシテ相離開ス。

材質 材ハいたやかへてノ如シ白質射出髓細小ナルモ明カニ認メ得ヘク導管不明材堅韌ナリ。

効用 他ノかへて屬ト全シ。

產地 山地隨所ニ之ヲ産ス。

圖解 (一) 膽振國長萬郡産やまもみぢ (二) 雌花 (三) 雄花

潤葉樹種

第拾四

槭樹科 ねがらばな

(第拾四圖)

六

名稱

和名 ほろきかへ

アイヌ名 シハツペ

學名 Acer Spicatum, Lam. var. nipponense, Max.

形狀

幹長サ二三丈圍二三尺ニ及フ、樹皮淡褐色、枝灰色ヲ帶ヒ稍太シ、葉ハ卵狀圓形、五乃至七裂、鋭齒アリ、裂片鋭尖頭、基脚心臟形、上面平滑、又少シク毛アリ、下面毛茸密生シ白色ヲ帶フ、長サ三四寸、柄長三寸許。

花總狀花、花梗柄長ク毛アリ、花綠黄色。

双翅果銳角ヲナシテ和離開シ、紅色ニ變ス。

材質 他ノもみぢ屬ト全シク白色ニシテ堅硬ナリ。

効用 薪炭ノ良材ニシテ花實ノ美、觀ルベキモノアルヲ以テ庭園ニ栽植スルニ堪ユ。

產地 高山及ヒ千島ニ産ス。

圖解

第拾五圖 からしぎかへ



潤葉樹種

六

第拾五 槭樹科 からこぎかへて (第拾五圖)

名稱 和名 やちいたや かなこぎ はなかへて なこへいたや

アイヌ名 おたとへに

學名 Acer tataricum, L. var. Ginnula, Max.

形状 幹長二三丈、圍一二尺、樹皮堅ク裂目アリ、青灰色斑アリ、枝條密ニシテ長カラス。

葉ハ卵形又ハ橢圓形、不規則ニ缺刻シテ重鋸齒アリ、往々少シク三裂ヲナスモノアリ、鋭尖頭、基脚圓形、或ハ少シク心臟形ヲナス、上面平滑、下面葉脈ニ沿ヒテ少シク毛アリ、長サ二三寸幅一二寸。

花黃白色。

双翅果ノ翅ハ直立、又ハ鋭角ヲ爲シテ離開ス。

材質 質稍硬ク白色横理アリ。

効用 箱類ニ作り又鋸作用ニ供ス、木皮ニ粘液多シ抄紙用ニ供スヘシ。

產地 濕地ヲ好ミ生ス、石狩、膽振ニ多シ。

圖解 札幌産からこぎかへて

第拾六圖 みつばかへて



潤葉樹種

第拾六 槭樹科 みつばかへて (第拾六圖)

名稱 和名 みつばかへて

アイヌ名 しばやま

學名 *Acer cissifolium*, C. Koch.

形狀 高四五丈、圍三四尺、樹皮灰色ニシテ粗ナリ、枝細長、青色ニシテ平滑ナリ。

葉ハ三出複葉、柄長ク、嫩時兩面毛多シ、小葉倒卵形、又ハ長橢圓形、長尖頭、基部稍楔形、粗ナル凸頭ノ鋸齒アリ。

花叢ハ長クシテ穗狀ヲナシ、長四五寸、毛アリ、六月開花ス、花ハ小ニシテ雌雄異株、雄花五瓣、五萼アリ、萼綠色、深裂、瓣黃色、鏡形、萼片ヨリ長キ、二倍、雄雌藥瓣ト對生シ、花絲鑿形、長サ萼片ト相全シ、雄藥四或ハ五アリ、花絲ノ基部膨大シ、毛茸アリ。

双翅果ノ翅ハ稍銳角ヲナシテ相離開ス、胞倒卵形、平滑ナリ。

材質 他ノもみぢ屬ト同シク白色ニシテ堅硬ナリ。

効用 諸細工用ニ供シ、又薪炭ノ良材ナリ。

產地 山中溪間ニ多シ、日高、十勝ニ産ス。

圖解 日高國浦河産みつばかへて

第拾七圖 ふしのき



潤葉樹種

第拾七

漆樹科

ふしのき

(第拾七圖)

名稱 和名

ぬるて

ぬて

ぬりだ

ゆりて

めうるし

あかべそ

やまはぜ

のてのき

かつのき

さいはいのき

ぬるてもみぢ

漢名 鹽麩子

學名

*Rhus Semialata*, Murr. var. *Osbeckii*, DC.

形狀

幹長二丈餘、圍三尺ニ及フ、外皮淡褐灰色、枝稍太ク淡褐色ニシテ滑ナリ。

葉互生羽狀葉ニシテ、一柄四乃至九双長サ一尺許、小葉無柄、形卵狀長橢圓形、頂端尖銳、頂小葉ノ外ハ基脚不正、縁ニ乳頭鋸齒アリ、面綠色背淺青色、厚ク上面微毛下面短毛密布ス、柄ニ翅アリ、秋鮮紅色ニ變シテ美ナリ。

圓錐花叢、大ニシテ毛茸アリ、青白色ノ細花攢簇シテ枝末穂ヲナス、長サ一尺許リ毛茸アリ、五瓣花、瓣長橢圓形、五雄藥、花心一雌藥アリ、三柱ニ分ル、黃色ノ花盤アリ、雌藥下ヲ圍ム。

果實ハ紫色、若クハ白色ノ短毛密生ス、中ニ小扁子アリ、茶褐色ニシテ甚タ堅シ。

材質 邊材ハ狭クシテ白色、心材帶褐黃色、有孔層ハ廣クシテ著シク區別セラレス、周圍ノ不規則ナル導管ハ細微ニシテ明瞭ナリ、射出髓ハ光澤ナク不明ニシテ堅硬ナラス、材質疎軟、裂割シ難ク、断面平滑ナラス。

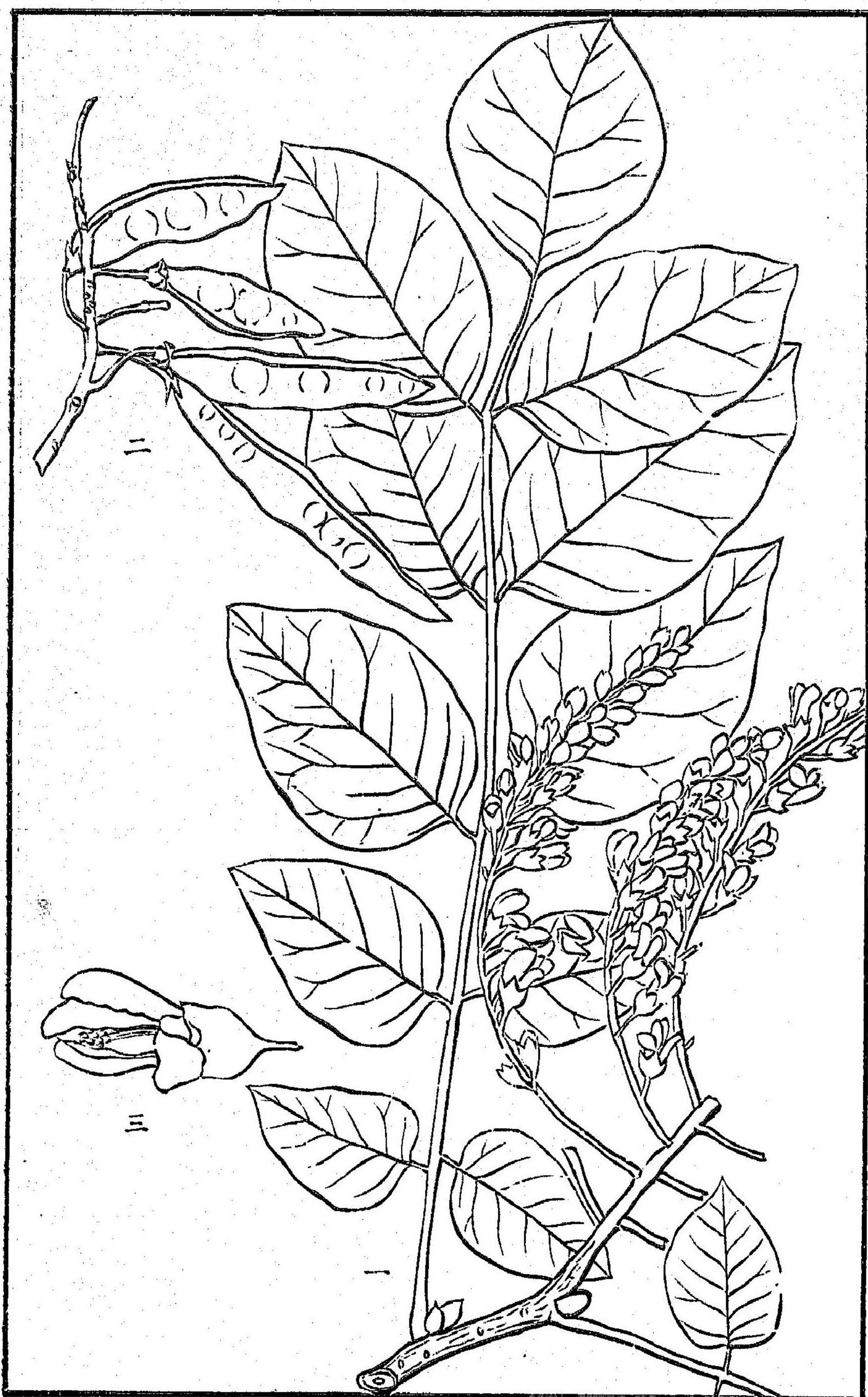
効用 此樹ヨリ生スル五倍子ヲ採リ化學用柔皮用及ヒ染料ニ供ス。

產地

高燥陽地ヲ好ミ生ス、石狩以南ノ地ニ最モ多シ。  
圖解 (一)後志國鏡面産ふしのき (二)花

潤葉樹種

第拾八圖 いぬばんじゆ



註

第拾八 豇科 いぬばんじゆ (第十八圖)

名稱 和名 えんじゆ

アイヌ名 ちくべに

漢名 穢槐

學名 *Cladrastis, amurensis, B. et H., var. floribunda, Mcc.*

形状 幹高四五丈圍六七尺ニ達ス、樹皮淡褐綠色ヲ帯ヒ裂目アリ、枝四出シ、細枝舒長シ能ク繁ル、葉ハ互生、奇數羽狀、長サ五寸乃至八九寸一柄九乃至十一對ノ小葉ヲ着ク、小葉橢圓形、全邊、尖頭、基部圓ク、面深綠色、背淺青、長二三寸幅一二寸、下面短柔毛密生ス、小葉柄長サ一二分柔毛アリ、

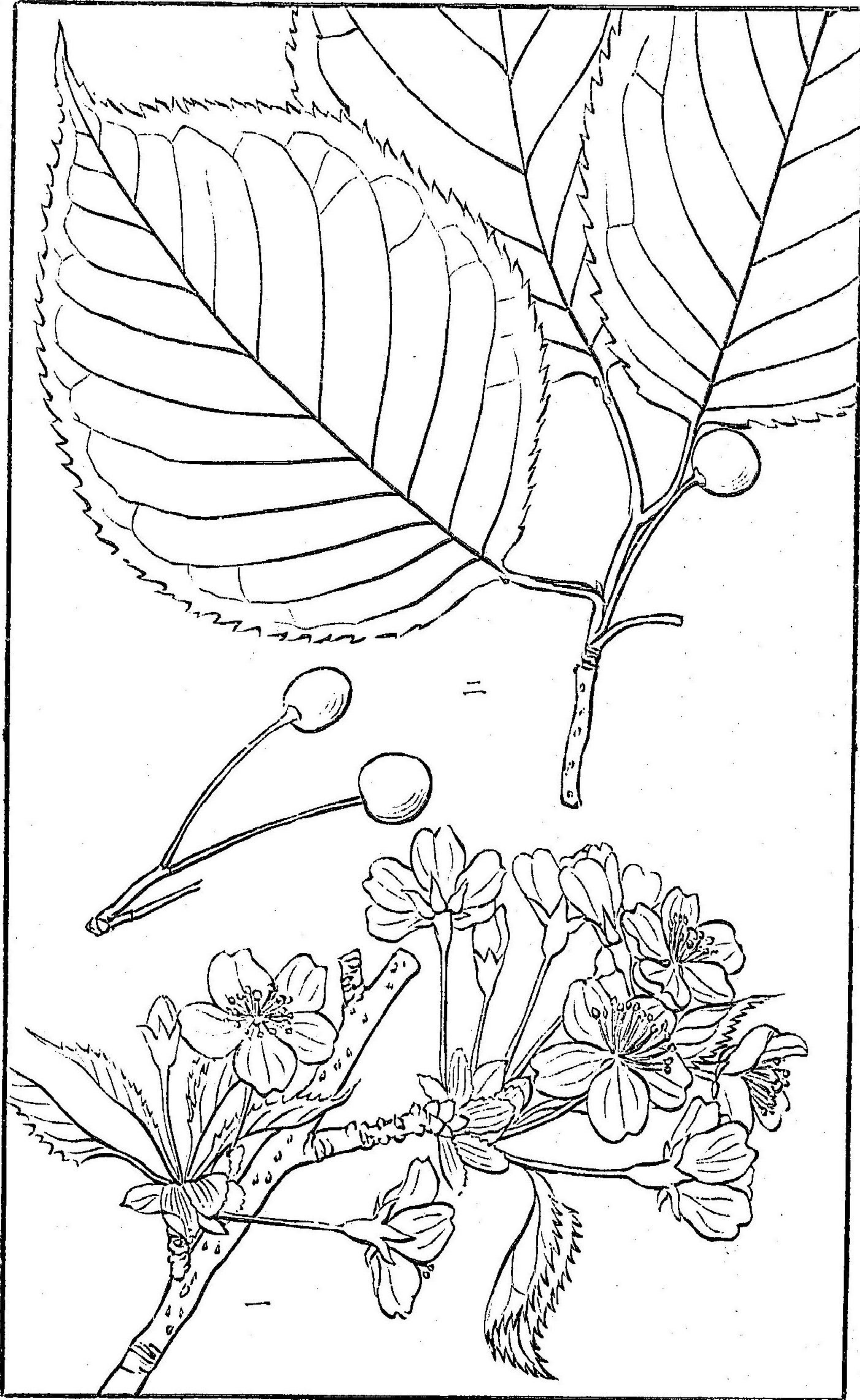
八月葉腋ニ花梗ヲ生シ小ニシテ白色ノ蛾形花ヲ撰簇ス、小梗ノ長サ萼ヨリモ短ク、萼多少不正形ニシテ五裂シ、上ノ二片上唇ヲナシ、二ノ側片ハ下ノ一片ト共ニ下唇ヲナス、花瓣五、萼ト交生シ、萼ノ基部ニ添ヒタル盤ニ着生シ、其形均等ナラス、雄藥十、基脚合生シ、末端分離シ、旗瓣ニ向テ反曲ス、花絲々狀ニシテ長キモ瓣端ヨリ出テス、紡二室、丁字様ニ着生ス、雌藥單一、黄色ノ短柔毛密生ス、花柱ノ長サ全長ノ三分ノ一許リ、胚珠ハ旗瓣ニ對セル縫線ニ添ヒ一列ニ附着ス、果實莢果扁平細長ニシテ少シク曲リ、長二寸許リ、莢中二乃至六豆ヲ收ム、熟シテ淡褐色ヲナシ堅硬ナリ、

材質 邊材甚タ狭ク、帶黃白色、心材帶黑褐色ナリ、有孔屑稍廣ク、導管ハ細多ナリ、波狀線ハ細カニシテ、材ハ堅硬粘力アリ折レ難ク、木理正密、材ノ斷面ハ著シク平滑ナリ、

潤葉樹種

五

第拾九圖 やまざくら



潤葉樹種

七

潤葉樹種

六

効用 屋柱トナシ馬鞍ヲ作り箱類蓋盆、斧柄等ノ諸器具ニ賞用ス本道産潤葉樹材中有用ノモノナリ、皮ハ染料ニ用ユヘシ、又路傍樹トナスニ適ス、アイヌ人樹皮ヲ細截シテ打撲ノ藥用トナス。

産地 山野所在ニ之ヲ産スルモ、蔭地濕土ニ生スルモノ能ク喬大ヲナス、石狩天鹽ニ巨樹多シ、千島ニ産セス。

圖解 (一)石狩國札幌産イヌエンジユ (二)莢果 (三)花



第拾九 薔薇科 やまざくら (第拾九圖)

名稱 和名 さくら 学名 *Prunus Pseudo-cerasus, Lindl.*

アイヌ名 かりんばに

漢名 山櫻桃

學名 *Prunus Pseudo-cerasus, Lindl.*

形状 幹高四五丈、圍四五尺ニ及フ、外皮暗紅褐色ニシテ之ヲ剝ケハ薄ク横裂シ、老木ノ皮ハ淡褐

灰色ヲ帶ヒ横鱗裂ス、枝條揚起擴張シ、其色紅褐色ニシテ光澤アリ、淡褐色ノ斑點多シ。

葉ハ互生シ廣卵形若クハ橢圓形、長サ三四寸幅二三寸、尖頭基部鈍圓、若クハ微心形ヲナシ、尖銳ノ重

鋸齒ヲ有ス、平滑ニシテ深綠色、葉柄長サ一寸許、其上部二個ノ密腺ヲ着ク、托葉アリ、早落性ナリ。

五月短枝上ニ無柄ノ小繖形花梗ヲ出シ、淡紅花ヲ簇開ス、一柄一苞アリ、花瓣五、萼管ノ周圍ニ着生ス、

萼五裂シ、尖頭赤紫色、花絲々狀長サ均一ナラス、葯二室丁字狀ニ着生ス、子房下生、橢圓形、花柱頗ル長

ク、柱頭々狀ヲナス。

果實核果、大サ二三分、熟シテ紫黑色、肉薄クシテ味甘酸、圓形ノ核アリ。

材質 邊材帶淡褐色、心材褐色ナリ、材中往々不規則ナル帶褐色ノ點ヲ生ス、射出髓ハ明カナルモ

光澤ナシ、導管ハ横斷面上一部分ハ肉眼ニテ孔トシテ見ルヲ得ヘシ、特ニ年輪ノ内境ニ於テ周圍ニ

走ル導管列アリ、廓大鏡ニ依リテノミ見ラル、木理緻密ニシテ脆カラズ、光澤アリ。

効用 屋柱及ヒ建具用材ニ供シ、印板、定規、杓子、盆、櫛、裁板、細工臺、器械齒車、卓子、小器具類ニ用ヒ、樹

皮ハ曲輪ヲ縱綴シ或ハ箕帚ノ類ヲ偏成ス、アイヌ人ハ船板ヲ綴リ、弓ヲ飾リ、刀鞘、箭筒ヲ包ム、花ハ鹽

藏シテ湯ニ投シテ服スヘク、果ハ生食シ又釀シテ酒ヲ作ルベク、樹ハ植テ庭園ニ花ヲ賞シ、苗ハ洋種

櫻桃ノ砧木トナスベシ。

產地 深林所在ニ之ヲ産シ、陽燥ノ地ニ適ス、本道諸國皆之ヲ産ス。

圖解 (一)石狩國札幌産やまざくら花 (二)實

潤葉樹種

第貳拾圖 みやまざくら



合

第貳拾 薔薇科 みやまざくら (第二十圖)

名稱 和名 しろざくら めざくら

學名 *Prunus Maximowiczii, Repp.*

形狀 幹高二三丈、圍二尺ニ達シ、外皮横理灰白色ヲナス、枝黒褐色ニシテ幹枝柔弱滑澤、樹皮淡紅色ナリ。

葉互生橢圓形若クハ卵形、上面淡綠色、下面淡色、若クハ赤褐色、重鋸齒、頂部長細ニ短縮シ、基部楔形若クハ圓形ニシテ、長二寸幅一寸五分許、葉柄長シ、托葉葉狀披針形、銳狀粗鋸齒アリ、長一寸或ハ葉柄ヨリ短シ、脱落性ナリ。

六月葉腋ニ總狀花ヲ出シ、長細ノ花梗ヲ有ス、長三四寸、大ニシテ著シキ葉狀ノ花苞ヲ生ス、鋸齒アリ、蜜腺ヲ有シ、葉狀ニシテ鋸齒ヲ有ス、萼片有毛、花瓣倒卵形、若クハ圓形、白色ナリ。

材質 やまざくらニ類シテ色少シク淡シ。

効用 小細工用ニ供シ、薪炭ニ可ナリ、又行道樹若クハ庭樹ニ適ス。

產地 深山ニ産ス、本道中部ニ多シ。

圖解 (一) 石狩國札幌産みやまざくら (二) 果實

第貳拾壹圖 みやまいぬさくら



第貳拾壹

薔薇科

みやまいぬさくら

(第廿壹圖)

名稱

和名

しうり

みやまいぬさくら

アイヌ名

しうり

學名

*Prunus Sibirica, Fr. Schm.*

形状

直立幹高五六丈、圍四五尺ニ及フ、樹皮暗褐色ニシテ裂目アリ、枝條淡褐色ヲ帶フ。

葉橢圓形、長サ五六寸、幅二三寸、尖頭、基部微心臟形、鋸齒細尖、面綠色、下面淡色、葉柄一二寸、柄ノ上部ニ二個ノ蜜腺ヲ有ス。

六月枝梢ニ穗花ヲ生ス、長サ五六寸、小白花無數ニ着生ス、一花大サ三分許リ、苞托葉共ニ形全シク、縁邊鋸齒狀ヲナス、小梗長サ三四分、花梗ノ基部ニ近キモノ長キコトアリ、葎倒圓錐形、平滑、裂片開出ス、瓣五、圓形ニシテ先端鋸齒アリ、多雄藥莖管ノ周圍ニ着生ス、花絲々狀葯二室、一雌藥子房卵形、花柱長キモ雄藥上ニ抽出セス、柱頭盤狀ヲナス。

果實核果、秋季ニ熟ス、先端少シシ尖リ、其色紫黒ナリ。

材質

茶褐色、正理、射出體判明ニシテ、其質緻密ナラサルモ堅硬ナリ。

効用

盆類、小細工、板木、漁舟具ニ用ヒ、又木道漁夫鮑ヲ衝ク錘及ヒ昆布ヲ採ル竿ハ多ク此木ヲ賞用ス。

產地

深林何地ニモ多少之ヲ産セサルナキモ中部以北ニ多シ。

圖解

札幌産しうりざくら

第貳拾貳圖 うはみづぎくら



第貳拾貳 薔薇科 うはみづぎくら (第廿二圖)

名稱 和 名 ほろごうぎくら ほろご ちちごぶな ほろぶとぎくら

まめぢくら こめぢくら きそぢくら めづら

こんごうぢくら いぬぢくら あかき

學 名 *Prunus Grayana, Mac.*

形状 幹高四五丈、圍三四尺、外皮暗褐色、剝離スベキ厚キ皮ヲ有ス。葉橢圓形、銳鋸齒花穂長サ三四寸、小花數十横簇シ、花大サ三分、五瓣白色ニシテ香氣アリ、多雄藥白毛毬狀ヲナス、一雌藥。

核果其先端少シシ尖リ熟シテ紫黑色ナリ。

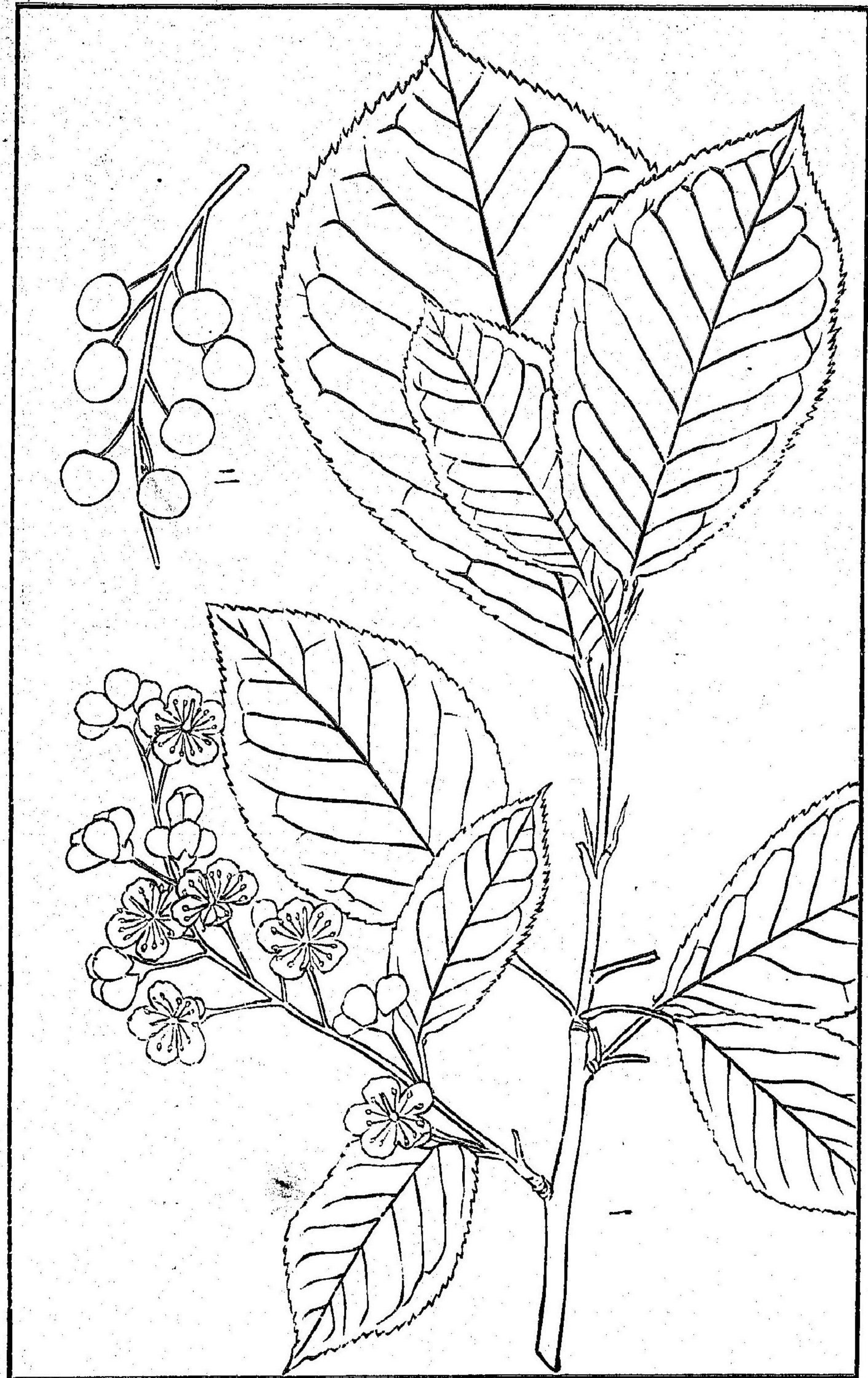
材質 やまぎくらニ類似シ、心材ハ帶赤褐色、導管ハ明カナリ。

効用 小家具板、小細工、盆類ニ作り果ハ鹽藏シテ酒料トシ、根ハ染料ニ供スヘシ。

產地 本道南部主ニ渡島、後志、膽振等ニ産ス。

圖解 (一) 渡島國森産うはみづぎくら (二) 實

第貳拾參圖 ねぞうはみづぎくら



第貳拾參 薔薇科 ねぞうはみづぎくら (第廿三圖)

名稱 和名 かばさくら 名 ねぞうはみづぎくら

アイヌ名 さくらん

學名 Prunus Padus, L.

形狀 幹高四五丈、圍二三尺、外皮黒褐色ニシテ裂目アリ、枝黒褐色ニシテ斑紋アリ。

葉倒卵圓橢圓形ニシテ、長サ二三寸幅一寸五分許リ、尖頭鈍基、鋸齒細微ナリ、平滑ニシテ鮮綠色、下面青白ナリ。

七月花穂ヲ出ス、しうりヨリ短ク、且ツ花ヲ着クルヲうはみづぎくらヨリモ疎ニシテ花大ナリ、五瓣ニシテ白色ナリ、萼倒圓錐形、鈍頭ノ鋸齒アリ、花瓣圓形ニシテ先端細齒アリ、多雄藥、子房橢圓形、密生セル長キ白毛中ニ在リ。

果實しうりニ似テ疎生シ、尖頭ナリ、熟シテ黒色長サ三分。

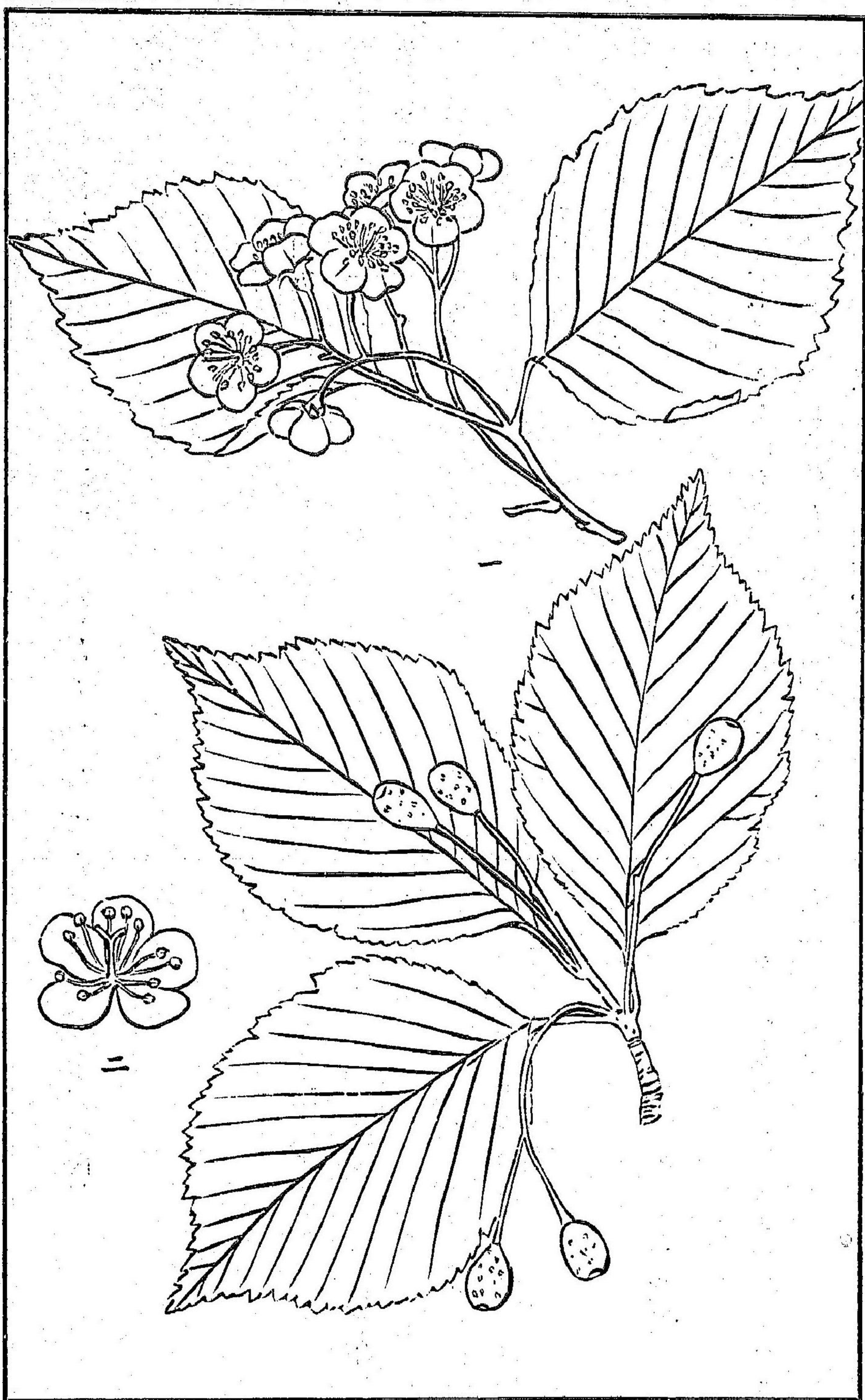
材質 白色ニシテ淡褐色ヲ帯ヒ堅硬ナリ、年輪判明シ、射出髓細微ナルモ明カナリ、導管細微ニシテ肉眼ニテハ認メ難シ。

効用 うはみづぎくらト全シク用ユヘシ、アイヌ人樹皮ヲ煎シテ腹痛ヲ治シ、又茶ノ代用トナス。

產地 本道中央部ノ平地水邊ニ沿ヒタル濕地ニ産ス、石狩國上川郡ニ多シ。

圖解 (一)十勝國浦幌産えぞうはみづぎくら (二)果實

第貳拾四圖 あづきなし



第貳拾四 薔薇科 あづきなし (第廿四圖)

名稱 和名 まらして はかりのめ かたすぎ やまなし

アイヌ名 ちかぶせたんに

學名 *Pinus Miyabei, Sarg.*

形状 幹長五六丈、圍六七尺、外皮黒褐色ニシテ厚ク疎ニ小裂アリ、枝條細密、暢張赤褐色ニシテ白色ノ皮目斑アリ。

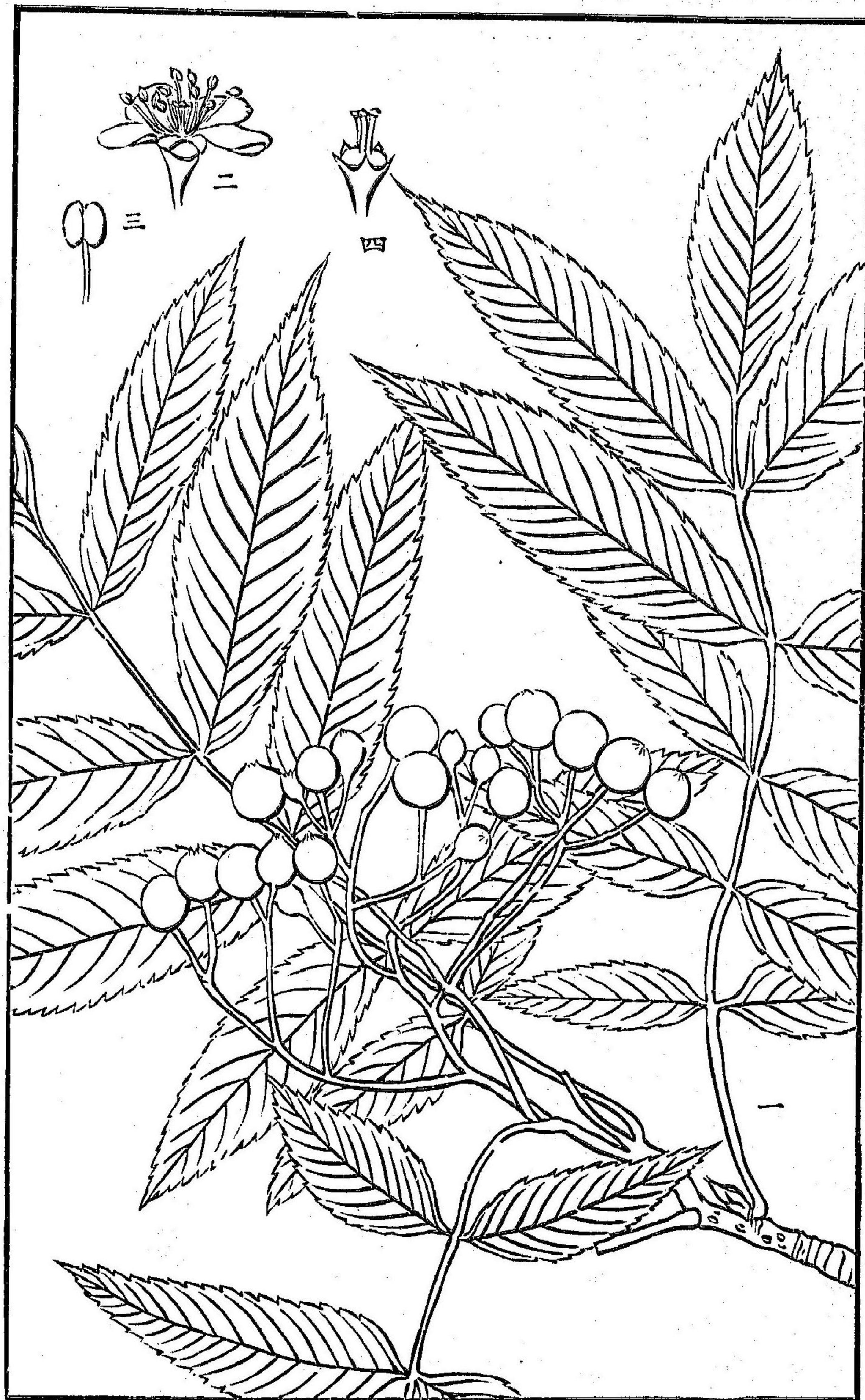
葉互生、狹長橢圓形ノ葉坐ヨリ數葉ヲ疎生ス、橢圓形、長サ二三寸幅一二寸、尖頭、基部圓クシテ時トシテ楔形ヲナス、重鋸齒内尙葉脈顯著ニシテ銳角ニ發出ス、而深綠色平滑ニシテ薄ク老熟スレハ革質トナル、下面淡青色裏面脈ニ沿ヒテ白色ノ細毛疎生ス。

六月葉腋ニ繖房花ヲ開ク、一花ノ大サ五分、萼片卵形、尖端厚キ白色ノ短剛毛ヲ有シ、花瓣ヨリ短シ、花瓣長橢圓形、白色、尖端圓ク基部多少長白毛ノ房ニテ被ヒタル短爪ニ短縮ス、雄蕊多數、瓣ノ基部ニ着生ス、花絲々狀、基部大ナリ、蒴二室、子房下生、萼管ニ着生ス、花柱二個又岐狀ヲナシ、柱頭小頭狀ヲナス。

果實球形、小豆大、長サ三分幅二分中ニ三胞アリ、頂端圓形ノ萼痕ヲ存ス、淡紅色、九月ニ熟ス。材質 白質ニ微紅色ヲ帶ヒ、淡紅褐色ノ横理アリ、堅硬ナリ、導管ハ肉眼ニテハ見易カラズ、年輪一般ニ擴布ス、射出髓腺細微ナリ、材頗ル硬シ。

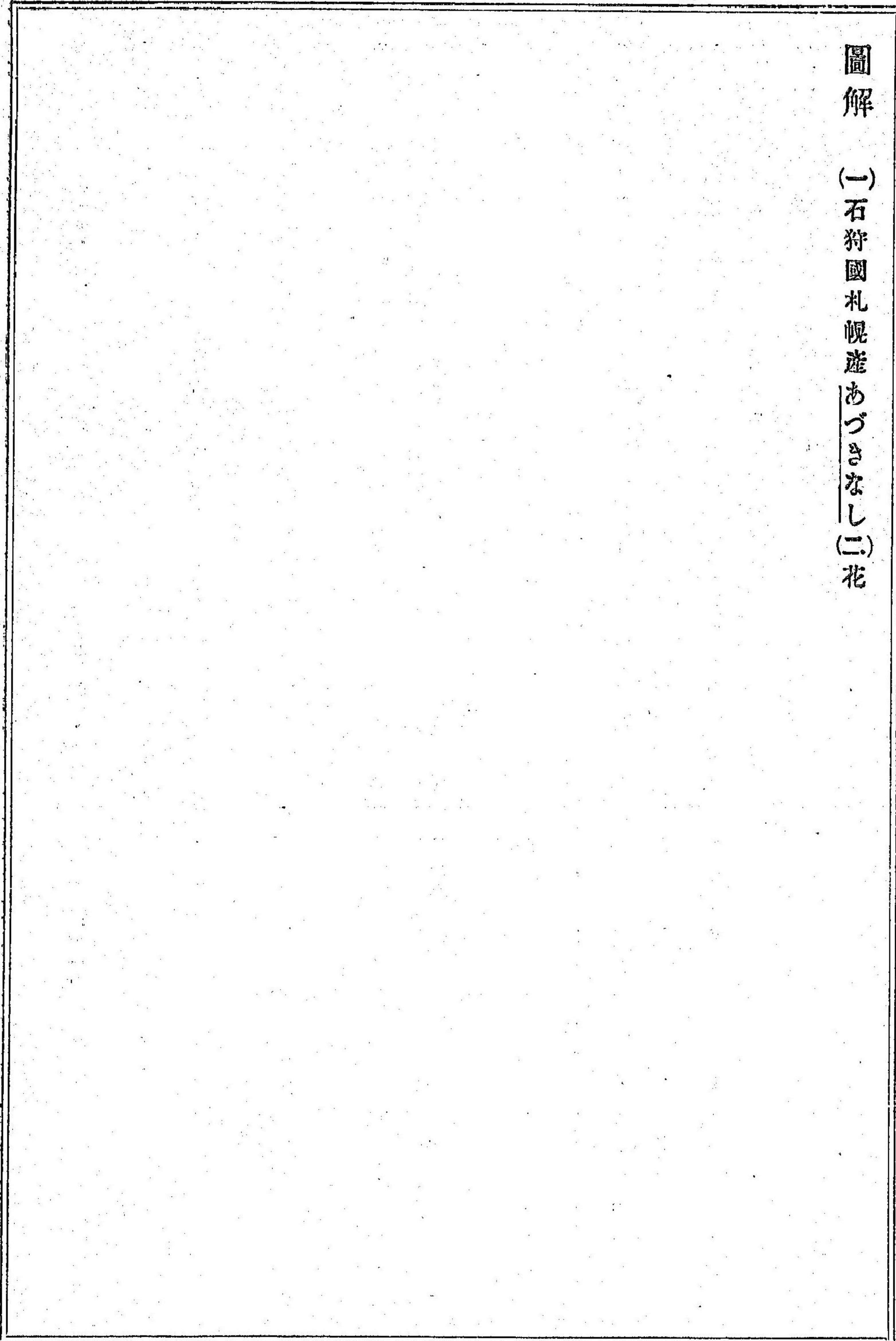
効用 薪炭用及ヒ小器具用ニ供ス。  
產地 山地隨地ニ産シ其北限ハ千島擇捉島ナリ。

第貳拾五圖 なまかまと



潤葉樹種

圖解 (一)石狩國札幌産あづきなし (二)花



潤葉樹種

第貳拾五

薔薇科

ななかまど

(第廿五圖)

名稱 和名 えびなしかまど

みやまなしかまど

ちやまさんせう

アイヌ名 しはきんに

漢名 花椒樹

學名 *Prunus aucuparia*, Gaertn. var. *japonica*, Max.

形狀

幹高三丈、圍二三尺ニ及フ、外皮褐色灰青色ヲ帶ヒ皮目斑多シ、枝ハ褐色ニシテ滑ナリ。

葉互生、奇數羽狀葉柄ノ長サ四五寸、五六双ノ小葉アリ、狹橢圓形、細銳重鋸齒、先端小突起ヲナス、基部

鈍面深綠色、背淡青色、平滑、長サ二三寸幅六七分、頂部ノモノ稍橢圓形ナリ。

七月葉腋ニ白花ノ繖房花ヲ開ク、萼五、尖裂、瓣五、多雄藥、花絲宿存性、子房萼管ト着生ス。

果實球形、頂部ニ萼ノ縁邊ヲ殘シ、果皮開裂セス。

材質 白色ニシテ淡紅色ヲ帶ヒ全輪ノ境界ハ稍暗色ヲ帶ヒタル、秋材ニテ認め得ヘシ、材ハ緻密

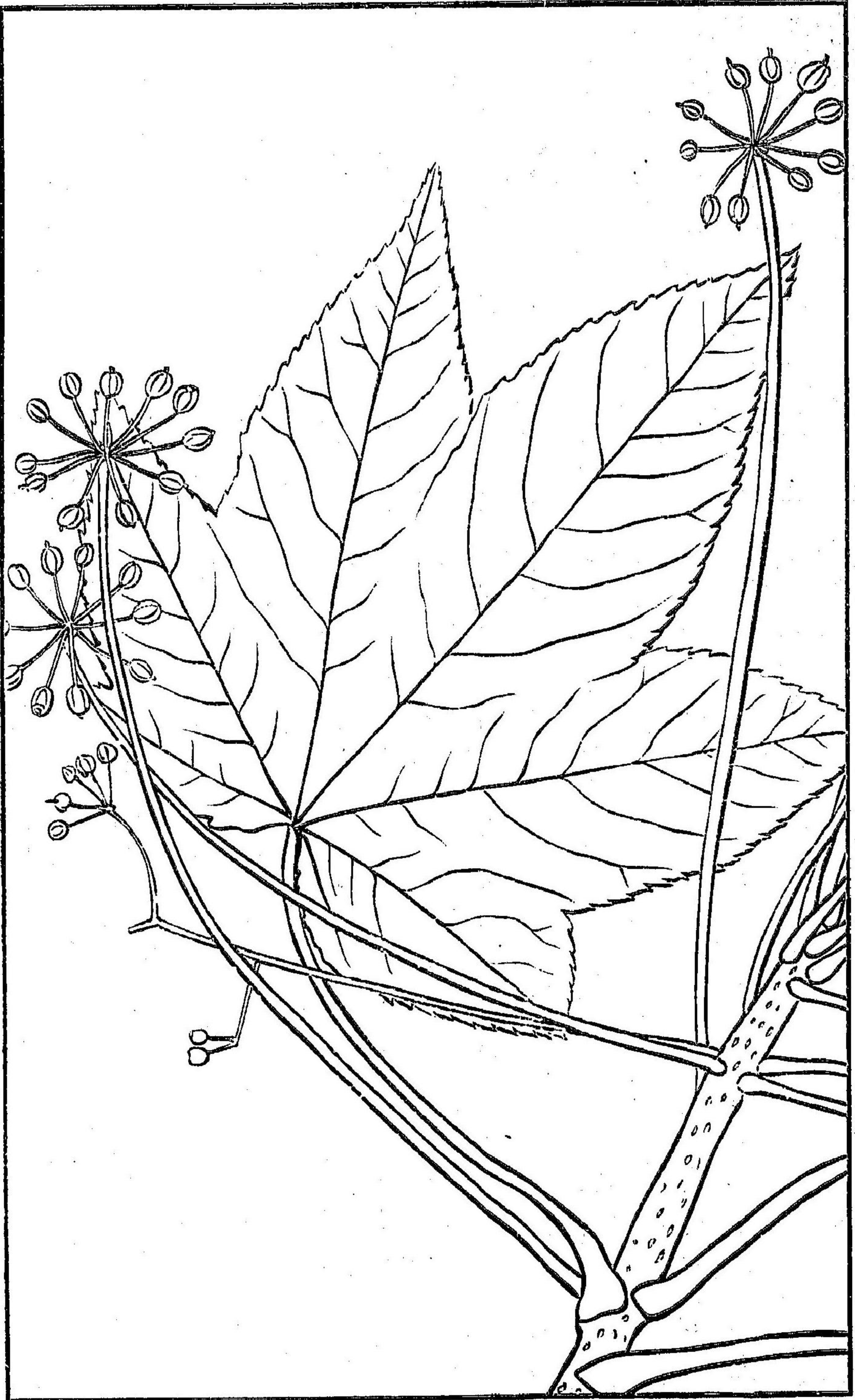
堅硬ナリ。

產地 山地到ル處ニ産ス。

効用 小細工槌等ニ用ヒ又薪炭料トス。

圖解 (一)天鹽産ななかまど (二)花 (三)雄藥 (四)雌藥

第貳拾六圖 はりぎり





第貳拾六 五加科 はりぎり (第廿六圖)

名稱 和名 はりぎり せんのき いぬざり やまざり せのき

あくだら いぬだら ほうだら

アイヌ名 あいうしに

漢名 刺楸樹

學名 *Acanthopanax richii* Maxim., S. et Z.

形狀 直立七八丈、圍丈餘ニ達ス、樹皮黒褐色、粗糙ナル裂目ヲナス、枝肥大ニシテ銳刺多シ、葉掌狀分裂、葉七乃至九尖、尖片鋸齒アリ、柄頗ル長ク一尺餘、着所肥大ス、長サ七八寸、尖頭基部心臟狀ヲナス、面深綠色、平滑、背淡青色、深褐色ノ柔毛生ス、銳鋸齒ヲ有ス。

八月枝梢二十乃至三十ノ花梗ヲ撰簇ス、花ハ細小ニシテ淡綠白色、萼管鐘狀、上端ニ小齒アリ、瓣五、筒形ニシテ開出ス、雄蕊五、花絲々狀、藥二室、橢圓形子房ハ橢圓形、花柱合生、稍長ク柱頭二裂ス。

果實圓形、熟シテ茶褐色ヲナス、種殼四稜アリ、硬脆ニシテ内ニ三稜ノ種子二個アリ。

材質 邊材ハ淡黃帶白色、心材ハ淡灰白色ニシテ光澤アリ、有孔層ニ在ル多數ノ導管ハ細カニシテ開口シ且ツ明白ニシテ液狀線ハ細カナリ、射出髓ハ細カニシテ其距離一様ナラス、材稍堅硬ニシテ重ク之ヲ鉋削スレハ桐ノ如キ光澤ヲ生ス。

効用 建築器具、河艇、船材、鎗柄、棒、盆、膳、木屐、小器具ニ用ヒ其嫩芽ハ食フヘシト云フ。

產地 深林沃土ニ住スルモノ能ク喬大ヲナス、本道到ル處之ヲ産ス。

圖解 札幌産はりぎり

第貳拾七圖 こしあぶら



第貳拾七 五加科 こしあぶら (第廿七圖)

名稱 和 名 あぶらこ

いぬぼら

こしやのき

アイヌ名 ことうしに

ごんぜつ

こせあぶら

をとごんぜつ

學 名 *Acanthopanax Scandophylloides, Fr. et Sav.*

こんてつ

いもき

いとじ

にんじんぼく

をんなごんぜつ

たかのつめ

形状

幹高三四丈、圍四五尺、樹皮暗色ナルモ地衣蘚苔ノ寄生ニ依リ灰綠色ヲ呈ス、枝條灰白色ニシテ長大ナリ、葉掌狀柄長サ五六寸、一柄五小葉ヲ着ケ正中ノ物最大、橢圓形尖頭、基部微尖、疎ニ鋭鋸齒アリ、面綠色、下面平滑、長サ三四寸幅一二寸、小葉尖長サ七八分、

八月枝梢十餘ノ花梗ヲ生ス、長サ四五寸細微花ヲ簇開ス、小柄ノ長サ五分、青黄色、每梗棘狀微細ノ苞ヲ有ス、萼管ノ頂端五裂開出ス、花瓣五、上生、鐘形、五雄蕊亦上生ニシテ、花絲絲狀、葯二胞内向ス、子房ハ下生。

果球形熟シテ黒褐色、二胞、頂端ニ萼痕ヲ存ス。

材質

邊材廣ク淡灰白色ニシテ光澤アリ、心材帶黄灰色ナリ、有孔層ハ横斷面上不明ニシテ導管ハ廣ク射出體ハ一様ニシテ細キモ明瞭ナリ、質輕軟密ナラス、鉋削スレハ光澤ヲ生ス。

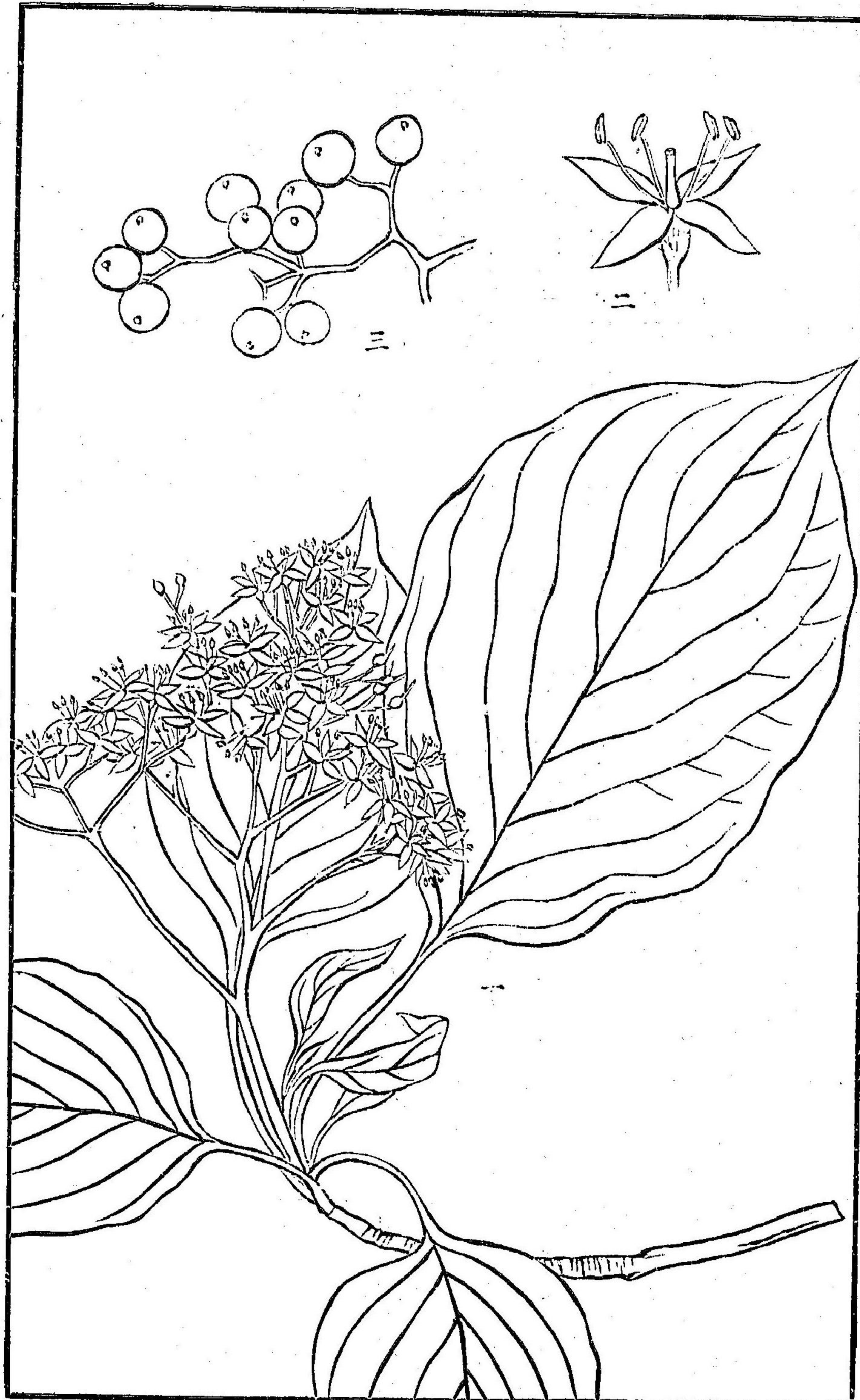
効用

木屐箱類、箸等ノ器具ヲ製ス、嫩芽食フヘシ。

産地

山中陰林沃地ヲ好ミ生ス、千島ノ外皆之ヲ産ス。

潤葉樹種

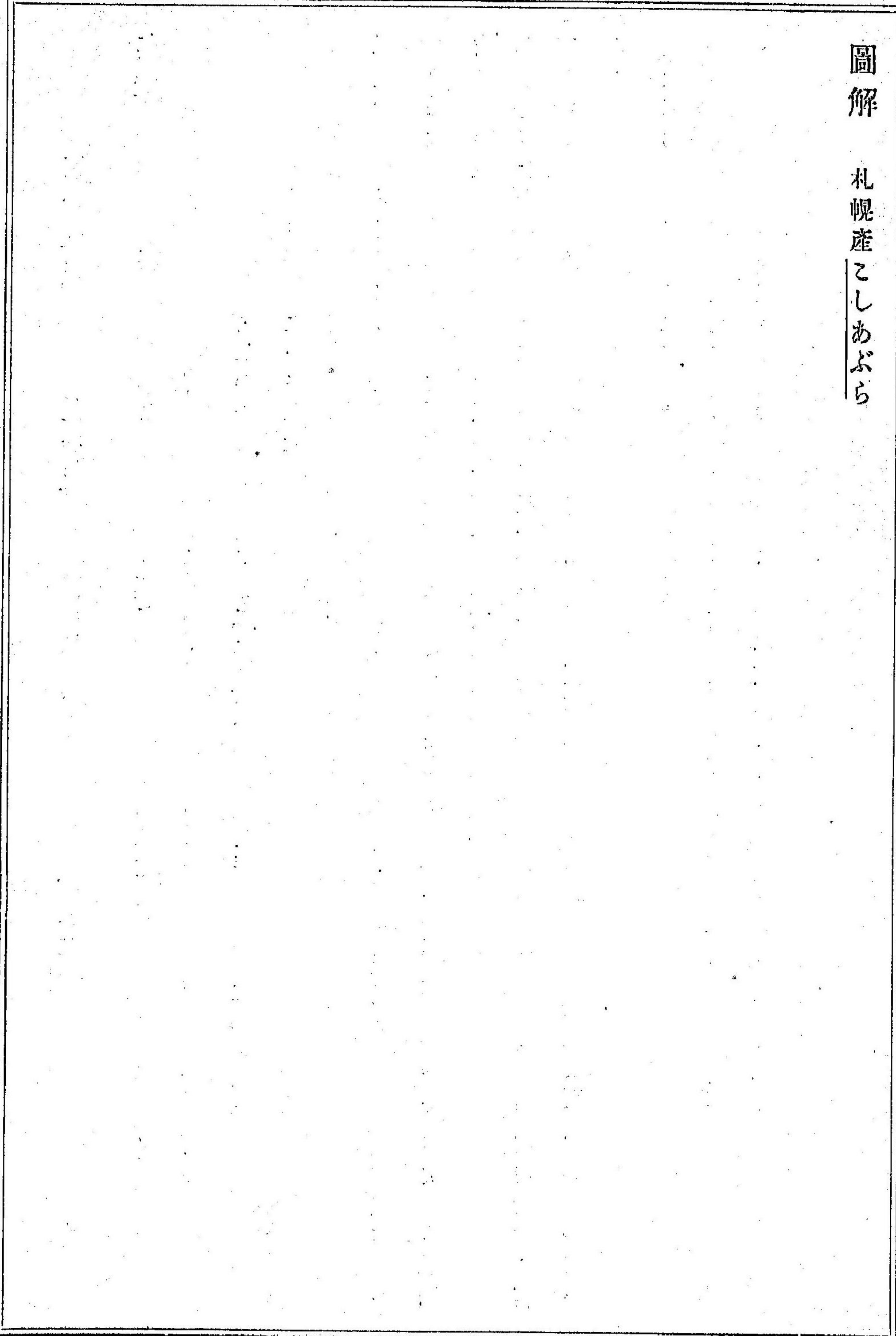


第貳拾八圖 みづき

九

圖解 札幌産こしあぶら

潤葉樹種



六

第貳拾八

山茱萸科 みづき

(第廿八圖)

名稱

和名 みづきのき

くろまみづき

はしかのき

アイヌ名 うとかに

學名 *Cornus macrophylla, Wall.*

形狀

幹高五六丈、圍四五尺、外皮斑灰色ニシテ垂直ナル裂目ヲ有ス、枝極横出枝條車輪狀ヲナス、青色若クハ紅色ニシテ細長ナリ

葉互生、橢圓形長サ二三寸幅一二寸、面鮮綠色滑澤、脈ニ沿ヒテ白柔毛アリ、下面粉白色、短剛毛疎生ス、柄ノ長サ一寸五六分。

六月枝梢繖狀穗花ヲ生シ小白花ヲ開ク、一花ノ大サ二分許リ、萼管鐘狀、外面ニ白毛密生ス、全邊瓣四、披針形萼管ノ周圍ヨリ開出ス、雄蕊四瓣ト互生、花絲々狀、二室着所丁字ヲナシテ内向ス、子房下生ニ胞ヨリ成リ、各一個ノ胚珠ヲ有ス、花柱單一柱頭々狀、花梗ニ毛茸アリ。

果實圓形、ニシテ大サ二分許、熟スレハ紫赤色ナリ、被肉柔皮様堅硬ナリ。

材質 材ハ白色ナルモ空氣ニ觸ルレバ暗色ノ帶白赤色ニ變ス、射出髓ハ細微ニシテ明カナリ、板上廓大鏡ニテ纒カニ之ヲ認メ得ヘシ、導管細微甚タ多數ニシテ肉眼ニテ平滑ナル横斷面ニ孔ヲ見ル、年輪ノ限界ハ暗黒ノ小波狀ノ屈曲線ニテ示サル、質輕軟裂割シ易シ。

効用 農具ノ柄、揚技材トナシ、又薪炭ニ用ユ。

產地 深林多濕ノ地ニ生シ、到ル處ニ産ス。

圖解

(一) 札幌みづき (二) 果實 (三) 花

第貳拾九圖 はくうんぼく



第貳拾九 齊橄果科 はくうんぼく (第廿九圖)

名稱 和名 はびる おほばぢしや おほがめのき おほば

アイヌ名 およべろに

漢名 玉鈴花

學名 *Stryx Obassia, S. et Z.*

形状 幹高四五丈圍三四尺、樹皮淡褐色ニシテ黒斑アリ、平滑堅硬ニシテ裂目ナシ、枝細長、淡褐色。葉廣楕圓形、或ハ圓形、微凸頭、基部圓ク、蠶食狀ノ鋸齒アリ、大ナルモノ七八寸、下面白色ノ毛茸ヲ有ス。枝端梗穂ヲナシ、十數花ヲ着ク、萼五裂、五瓣白色、多雄蕊、長ク、瓣上ニ出ツ、萼宿存シテ毛アリ。果實楕圓形ニシテ尖頭、長サ五六分許リ、熟シテ青白色トナリ、外皮裂クテ茶褐色ノ子ヲ出ス、子甚タ堅硬ナリ。

材質 黄白色ナル空氣ニ曝セハ帯赤色トナル、射出髓細微、導管微小ニシテ明視シ難シ。

効用 彫刻、傘ノ轆轤、杵子、獨樂等ヲ作り、種子ハ油脂アリ、以テ油ヲ搾リ、蠟燭ヲ製スヘシ、又白花美ナルヲ以テ園庭ノ粧飾樹トナスヘシ。

產地 深山ニ産スルモノ能ク喬大ヲナス、日高國ニ巨木多シ。

圖解 (一) 膽振國有珠産はくうんぼく (二) 花

第參拾圖 はしどい



第參拾 木犀科 はしどい (第三十圖)

名稱 和 名 どすなら

みづき

やちかば

ぎんつくばね

えてのみ

アイヌ名 ぶんがら

學 名 *Syringa amurensis*, Repp. var. *japonica*, Max.

形状 高二三丈、圍二三尺、樹皮灰白色、横理アリ、枝淡褐灰色ヲナス。

葉樹生、卵圓若クハ廣卵形、柄ノ長サ五六分、尖頭、基部鈍ニシテ、全邊長サ三寸幅二寸許リ、裏面白毛密布ス。

七月梢末花梗ヲ出シ、小花横簇ス、香氣アリ、萼鐘狀、四裂、花瓣卵形、四裂、白色、雄蕊二個、瓣ノ基部ニ着生シ、長ク瓣上ニ出ツ、葯黄色、雌蕊單出、柱頭二裂、子房圓形ヲナス。

材質 白色ニシテ、緻密之ヲ飽削スレハ滑澤ナリ。

効用 小細工用、薪炭材トナス、生木燃ヘ易シ、故ニ露宿ノ薪料ニ適ス、材堅硬ニシテ、腐朽シ難キヲ以テ、アイヌ之ヲ其建築中ノ要部ニ用ユ。

產地 平地ノ湿地及ヒ山脚ニ多ク、石狩、膽振、日高ニ多ク、南部ニ少シ。

圖解 釧路國標茶産はしどい

第參拾壹圖 やちだも



第參拾壹

木犀科

やちだも

(第三十一圖)

名稱

和名

しょうじき

おほばとねりこ

たも

アイヌ名

びんに

學名 *Fraxinus mandshurica*, Rupr.

形狀

幹高七八丈餘ニ達シ、圍丈餘ニ達ス、樹皮灰白色ヲ帶ヒ深キ裂目アリ、枝帶黒灰白色ニテ、枝徑粗大ニシテ揚起ス。

葉對生、奇數羽狀葉柄ノ長サ一尺二三寸、着所肥大シ、一柄小九葉ヲ着生ス、小葉無柄、長橢圓形、尖頭長サ五寸幅二寸許リ、面綠色、背淡青色、表面滑澤、下面褐色ノ毛アリ、葉基ニ毛茸アリ。

早春穗狀花ヲ開キ、黄色ノ小花横簇ス、全株具備花弁ニ單性花ヲ有ス。

多數ノ翅果總狀ヲナシテ垂下ス、長サ一寸三四分、開裂セス、内ニ細長ノ種子一二箇ヲ收ム。

材質 白質微黄、心林稍暗色ヲ呈ス、射出髓細微、導管大ナルモノ三四列アリ、材剛勁ニシテ性粘力

アリ、耐久性彈力大ナリ。

効用 家材器具、河艇、舟具、天秤、農具、把柄、戸車、盆、梳、銃、炮臺等ニ用ヒ、又鐵道枕木ニ賞用ス。

產地 平地濕地ニ適シ、到ル處ニ多シ、本道ノ開拓進ムニ從ヒ漸次ニ此樹ノ良材ヲ減ス。

圖解

(一) 札幌産やちだも (二) 全上ノ葉縮小圖

第參拾貳圖 あとだも



第參拾貳 木犀科 あとだも (第三十二圖)

名稱 和名 おほだも あとだこ おほしだ  
 アイヌ名 シほこ

學名 *Fraxinus longicaulis, S. et Z.*

形狀 幹高三四丈圍三尺樹皮帶綠灰白色ニシテ滑澤ナリ枝暗綠色ヲ呈ス。

葉對生奇數羽狀葉柄長サ四寸小葉二三寸對頂小葉ハ橢圓形鋸齒ヲ有ス長サ四寸幅二寸小葉柄長五分下部ニ在ルモノ形狀相同シク大サ漸ク小ニシテ小葉柄長サ一分上面深綠色下面帶白色。

六月枝梢ニ花アリ黃白色總梗小柄共ニ三三分岐シ圓錐形總狀花ヲナス萼四裂瓣四片披針形雄藥ニ花絲々狀蒴二室內向ス子房ハ上生ニシテ花柱單一柱頭又枝狀ヲナス。

實ハ裂開セサル翅果ニシテ長サハ九分幅一二分頂ニ微凹内ニ披針形長サ四分許リノ子ヲ收ム。材質 やちだもニ似タリ白色ニシテ微黃ヲ帶ヒ射出髓細微ナルモ明カニシテ導管やちだもヨリモ小ナリ正理堅硬ニシテ粘力アリ。

効用 木槌等ノ器具及ヒ薪炭ニ用ヒアイヌ女子黥ヲナスニ此木ノ炭ヲ用フ樹皮ヲ水ニ浸セハ藍色ノ汁出ツ製墨ニ此汁ヲ用ユレハ黑色極メテ光澤アリト云フ。

產地 微濕ノ山地ヲ好ミ生ス諸國ニ産ス。

圖解 (一) 膽振國有珠産あとだも(二) 花



第參拾參圖 小れ

潤葉樹種



第參拾參 榆科 小れ (第三十三圖)

名稱 和名 はるにれ ねれ ねり やにれ やきり あかだも

アイヌ名 ちやゆに

漢名 榆

學名 *Ulmus campestris, Sm.*

形状 幹高十餘丈ニ達シ、圍丈餘ニ及フモノアリ、樹皮暗灰褐黒ニシテ扁平ナル裂目ヲ有ス、枝小木ニ在リテハ揚起シ大木ハ稍下垂ス。

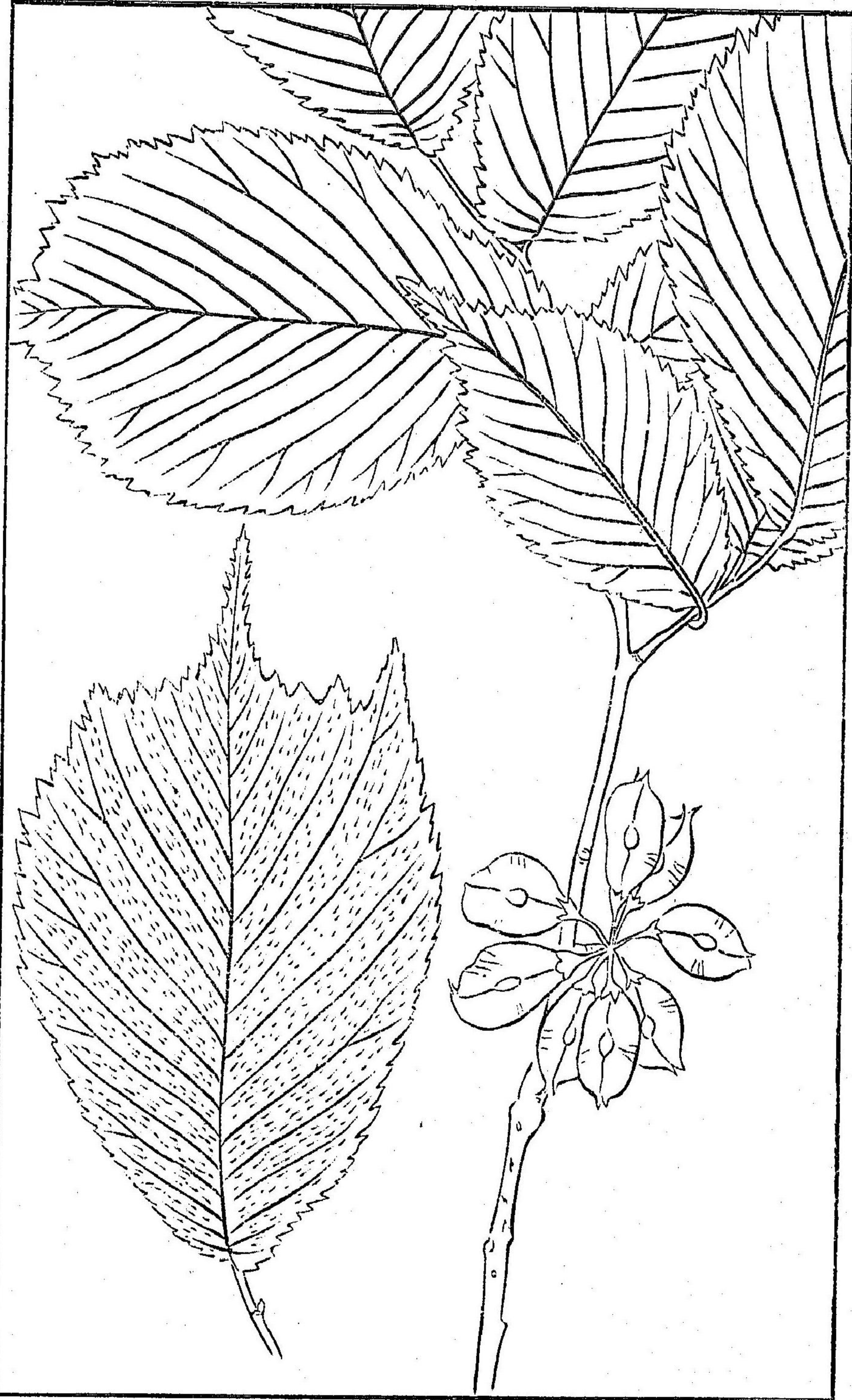
葉ハ互生、橢圓形若シハ倒卵形、尖頭基部不等、重鋸齒ヲ有ス、枝梢ノモノ最モ大ニシテ長サ三寸五分、幅二寸五分ニ達ス、上面深綠色、下面淡青色、兩面粗厚白色ノ短剛毛アリ、葉柄甚ク短ク、長サ二三分、新枝ノ葉柄ニ茶褐色ノ柔毛密生ス、托葉鐘形ニシテ薄シ。

五月葉ニ先テ花ヲ開ク、兩性花單性花共在ス、小花叢、暗紫色ヲ呈ス、花被稍鐘狀、緣邊四乃至八ニ分裂ス、雄藥ハ花被底ニ着生シ、裂片ハ對生ス、多クハ四箇アリ、葯二室、稍斜形、內向縱裂ス、雌藥二柱、合生セル子房ヨリ成ル、花柱二裂シ、其內面柱頭ヲナス。

一花一翅果ヲ結フ、扁圓ニシテ膜質ノ翅ヲ有ス、大サ三四分。

材質 邊材廣クシテ帶灰褐色、心材帶褐灰色、正理緻密ニシテ堅硬粘カアリ、有孔層ハ普通二個ノ幅廣キ導管ト二三ノ細小ナル導管トニ依リテ廣布シ、波狀線太クシテ多數集合シテ不明ナリ、射出髓ハ帶紅色ナルモ明カナラス。

第參拾四圖 をひやう



潤葉樹種

潤葉樹種

効用 車輪、橇、盆、獨樂器、具用及ヒ薪炭用ニ供シ、歐州ニテハ建築及ヒ船艦用ニ供ス、内皮ノ纖維ヲ用ユヘント雖モをひやらニ及ハス。

此樹ニ生スル榆莢ハ食用トシテ、上品ナリ。

產地 多濕ノ平地ハ河岸ニ巨樹多シ、本道中央部諸國ニ多キモ南部ニ少シ。

圖解 (一)北見國利尻産にれ (二)花部

第參拾四

楡科

きひやう

(第三十四圖)

名稱

和名

うばぬれ

うはぬれ

ぬめりしな

やまばり

にれ

をひやうだも

やはづにれ

あつし

やじめ

ねばりじな

アイヌ名 あつに

學名 *Ulmus montana*, Sm. var. *laciniata*, Tzoub.

形狀

幹高七八丈圍六七尺、樹皮淡褐色ニシテ、厚ク扁平ナル裂目ヲナシテ剝脱ス。

葉互生、倒卵形、尖頭、三乃至七尖、基部不等、重鋸齒、上面深綠色、下面淡綠色、兩面短剛毛アリ、厚剛糙澁ナリ、葉ノ長サ五六寸幅三四寸、柄二三分。

五月葉ニ先テ枝上ニ五六花ヲ簇生ス、はるにれヨリ稍大ナリ、淡褐色ノ細毛密生ス、五雄藥葯二室、丁字形ニ着生ス、二雌藥アリ、柱頭岐狀ヲナシ紫色。

實ハはるにれニ同シク稍大ニシテ其數少ク、膜質ノ翅ヲ有ス。

材質

肌理緻密堅韌ニシテ裂割シ易ク、邊材ハ帶黃白色、心材ハ淡褐色ナリ、有孔層ハ二三ノ導管

廣クシテ明カニ限界ヲナス、波狀線ハ細短ニシテ、射出髓ハ帶紅色ナリ。

効用

器具、薪炭用ニ供シ、内皮ノ纖維ハ、アイヌ之ヲあつト名ク所謂あつし織ノ原料タリ、釧路ノ

あつし織、最モ名アリ、強韌ニシテ雨露ニ堪ユ、アイヌ人ノ衣料タリ。

產地

深山ニ多ク所在之ヲ産ス。

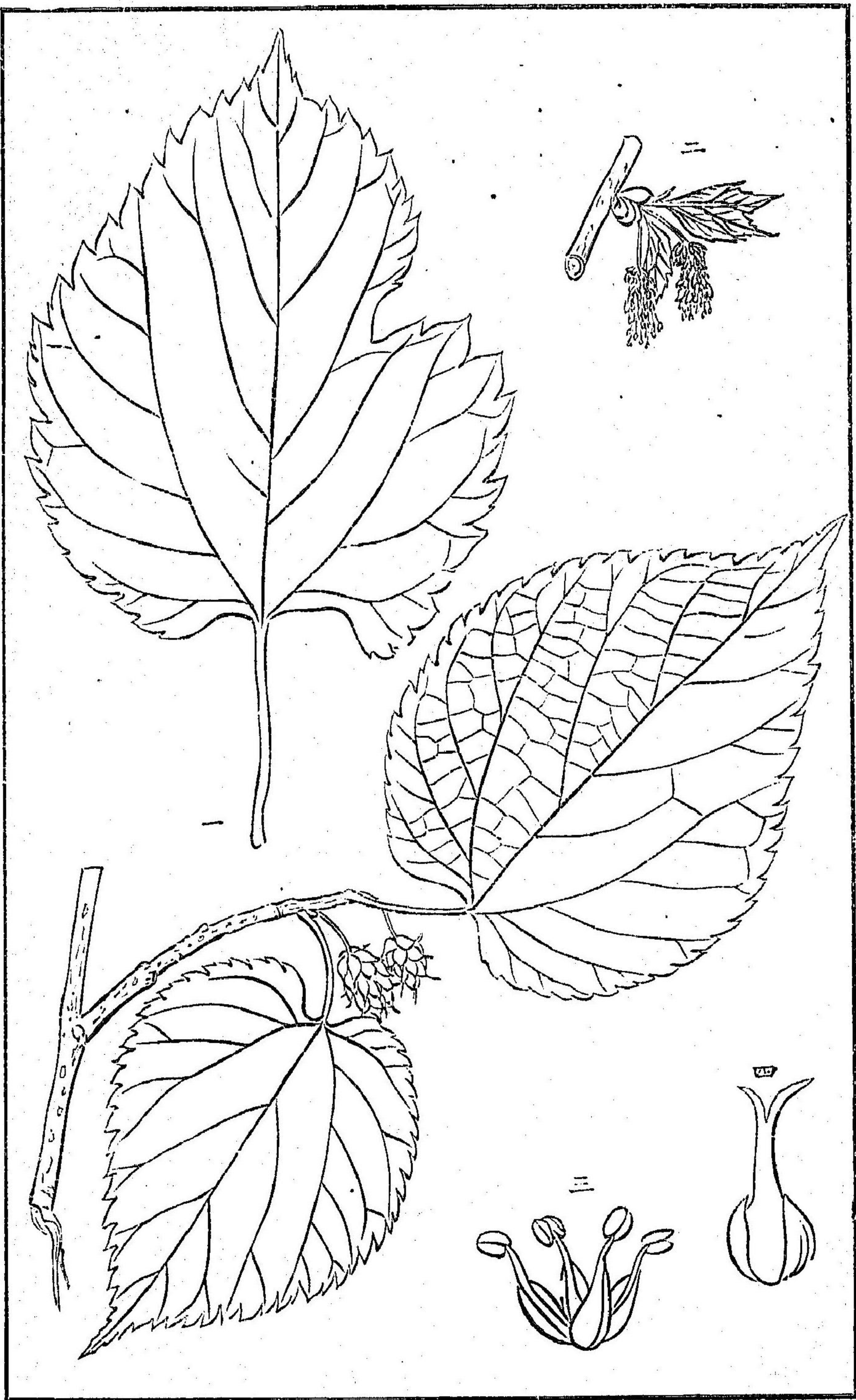
圖解

札幌産をひやう

第參拾五圖 やまくば

潤葉樹種

二六



第參拾五 桑科 やまくば (第三十五圖)

名稱

和名

まぐは

こほうぐは

くは

アイヌ名

てしまに

つれぶに

とべむん

漢名 桑

學名 *Morus alba*, L. var. *stylosa*, Burum.

形狀 高三四丈、圍四五尺ニ達ス、樹皮淡褐色ニシテ堅梗、長キ裂目ヲ有ス、枝四張柔軟青黒褐色ヲ呈ス。

葉互生心臟形ニシテ廣卵形、缺裂三五ノモノト之ヲ缺クモノトアリ、粗鋸齒、大ナルモノ長サ八寸幅七寸、上面鮮綠色、下面淺綠色、粗毛アリ、粗糙、托葉筒形ニシテ早脱ス。

六月葉腋ニ花梗ヲ出シ總狀花ヲ生ス、細小ニシテ淡黄色ナリ、一家若クハ多家花、雄花花被四、深裂細長ニシテ覆瓦狀ヲナス、雄藥四花被ノ裂片ハ對生シ其基部ニ着生ス、花絲花被ヨリモ長ク、葯二室外向ス、小梗ノ長サ花被ヨリモ短シ、雌花無柄花被四、深裂、覆瓦狀ヲナシテ外方ニ回旋ス、粗毛アリ。

果實ハ集合核ニシテ、花後増大多汁ノ花被ヲ以テ包マル、種殼硬脆果熟シテ紫黑色、味甘峻。

材質 邊材ハ狭クシテ淡黄色ヲナシ、心材ハ淡黄、若クハ黄褐色ニシテ光澤アリ、有孔層ノ導管ノ大サ種々アリ、波狀線ハ細短或ハ厚長ナルコトアリ、射出髓ハ一様ニ細カナレトモ往々太キモノヲ變ユルコトアリ、堅強ニシテ裂割シ易ク、木理頗ル美ニシテ之ヲ鉋削スレハ滑澤アリ。

効用 床柱、箱類、粧飾用材、茶盆、堤琴、三絃等ノ樂器、馬鞍、雪車等ニ作り、アイヌハ之ヲ雪履ニ賞用シ、

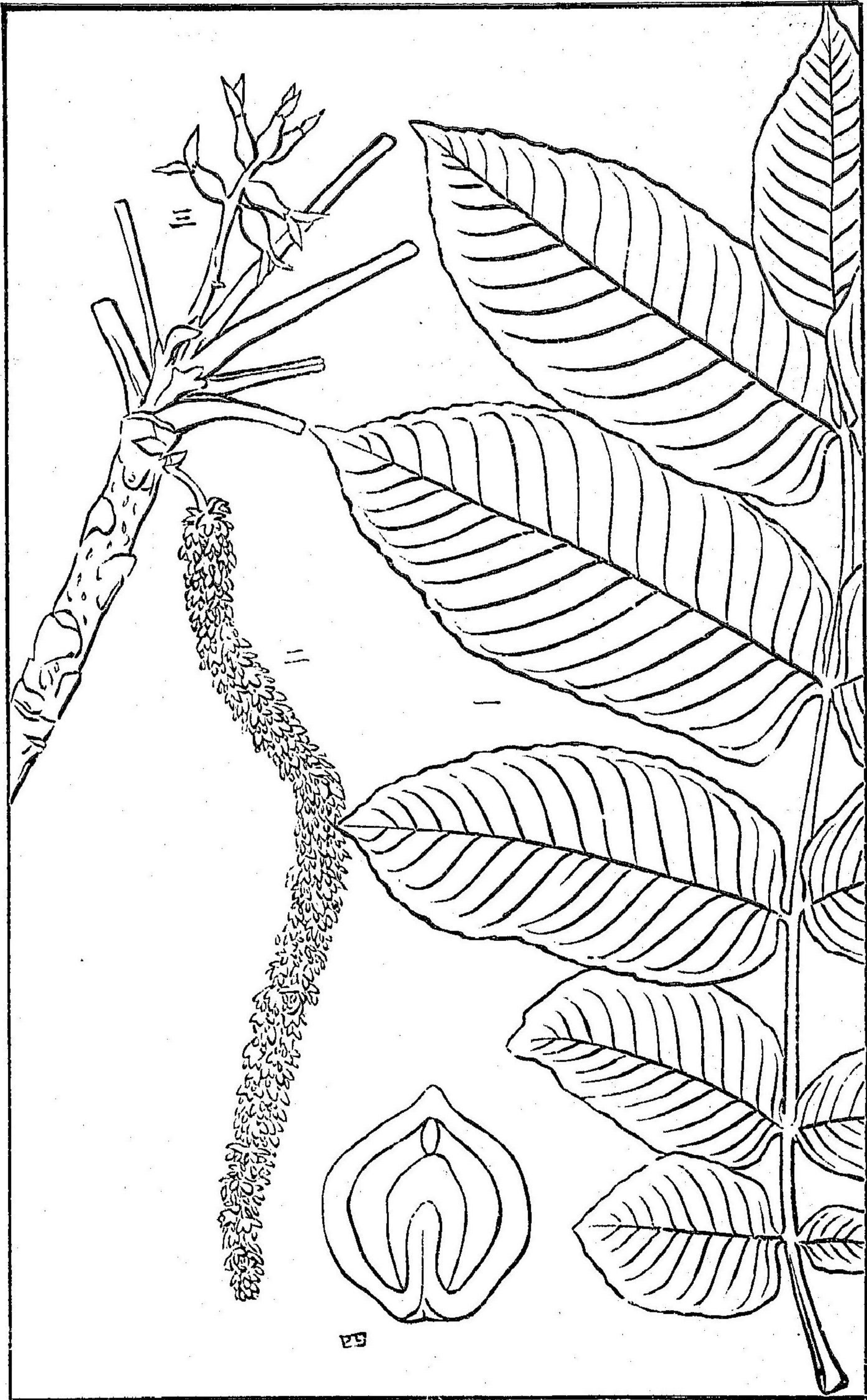
又月ニ作ル。

纖維ハ紙料ニ供スヘク、實ハ食用トシ、酒ヲ釀シ、又藥用ニ供ス。

產地 河岸溪間肥沃ノ地ニ喬大ヲナス、千島ノ外、全道ニ之ヲ産ス。

圖解 (一)後志少國奥尻島産ヤマクハ (二)花 (三)雄花 (四)雌花

第參拾六圖 を小ぐるみ



第參拾六 胡桃科 ぎにぐるみ (第三十六圖)

名稱 和名 くるみ をにぐるみ

アイヌ名 ねしこ にぬむに にぬむ果實

漢名 山胡桃

學名 *Juglans Sieboldiana, Max.*

形状 幹高五六丈、圍六七尺、樹皮帶灰黑褐色、厚密ニシテ深キ裂目ヲ有ス、枝條肥大ニシテ灰白色ナリ。

葉ハ互生、奇數羽狀葉柄長サ一尺餘六七乃至十對ノ小葉ヲ着ク、葉柄ニ褐色ノ柔毛密生シ、枝ノ着生部膨大ス、小葉殆ト無柄長橢圓形、葉上面深綠色ニシテ稍平滑、下面帶白色茶褐色ノ柔毛密生ス。六月葉莢花ヲ葉腋ニ垂ル、太クシテ綠色、長サ五六寸、雄花ハ腋生、雌花ハ頂生、或ハ腋生、雌雄全株ニシテ雄藥多數、六裂セル厚キ一苞ヲ有シ、基脚ニ着生ス、花絲甚ク短シ、雌花ハ子房ノ發着不全、多少藥管ニ着生ス、藥管ノ頂端尖裂ス、花柱甚ク短ク、柱頭又岐狀ヲナス。

材質 邊材帶灰白色ニシテ、心材帶暗褐色ヲナス、導管ハ屈曲シテ線狀ニ排列ス、質堅實ニシテ、容易ニ裂割ス、粘靱ニシテ反張セサルノ性アリ。

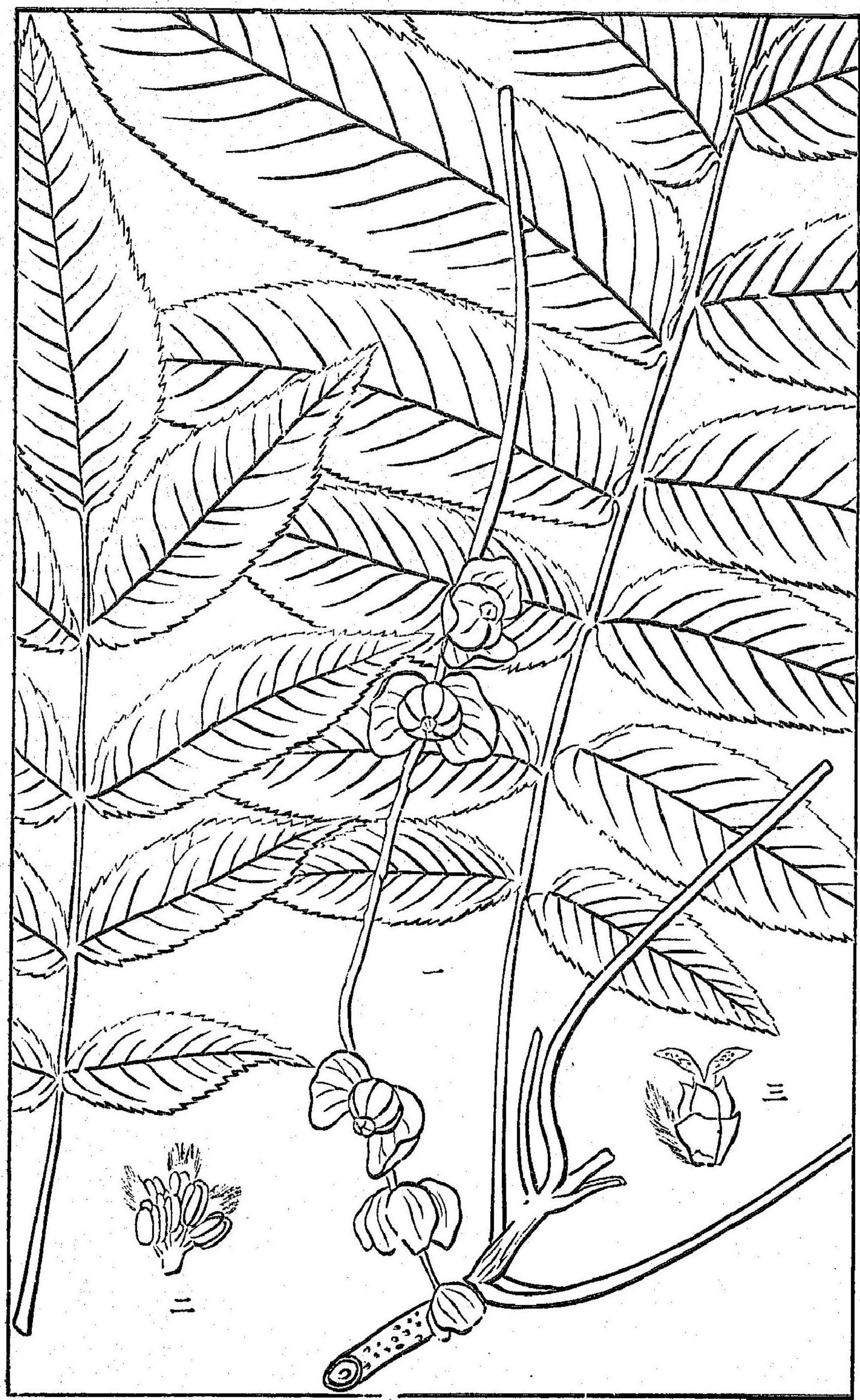
効用 鋸具、鏡台、木屐、文房具、箱類等ニ用ヒ、樹皮ハ染料ニ供シ、皮葉ハ之ヲ驅蟲藥ニ使用シ、仁ハ食用トシ又油ヲ製ス。

果皮ハ揮發油ヲ含ミ、且ツ單寧、拘椽酸等ヲ存スルヲ以テ、之ヲ藥用ニ供スト云フ。

產地 河畔、溪谷、陰濕ノ山間ニ多シ、木道隨所ニ之ヲ産ス、殊ニ石狩ニ多シ。

圖解 札幌産をにぐるみ(一)葉(二)雄花(三)雌花(四)種子縱斷面

第參拾七圖 さとくるみ



第參拾七 胡桃科 さとくるみ (第三十七圖)

名稱 和名 やしやすのきはだつふぢぐるみじゆうかうぼく  
 やまざり

漢名 壽香

學名 *Pterocarya rhoifolia*, S. et Z.

形状 幹高四五尺丈、圍五六尺、外皮暗褐色、厚密ニシテ深キ裂目ヲ有ス、枝褐色ニシテ灰色ヲ帶ヒ白斑アリ。

葉互生、奇羽狀葉柄長サ一尺一柄五乃至九對ノ小葉ヲ生ス、頂端ノモノ長橢圓形、長サ四寸幅一寸、下端左右稍小軟厚ニシテ細皺多シ、細鋸齒アリ。

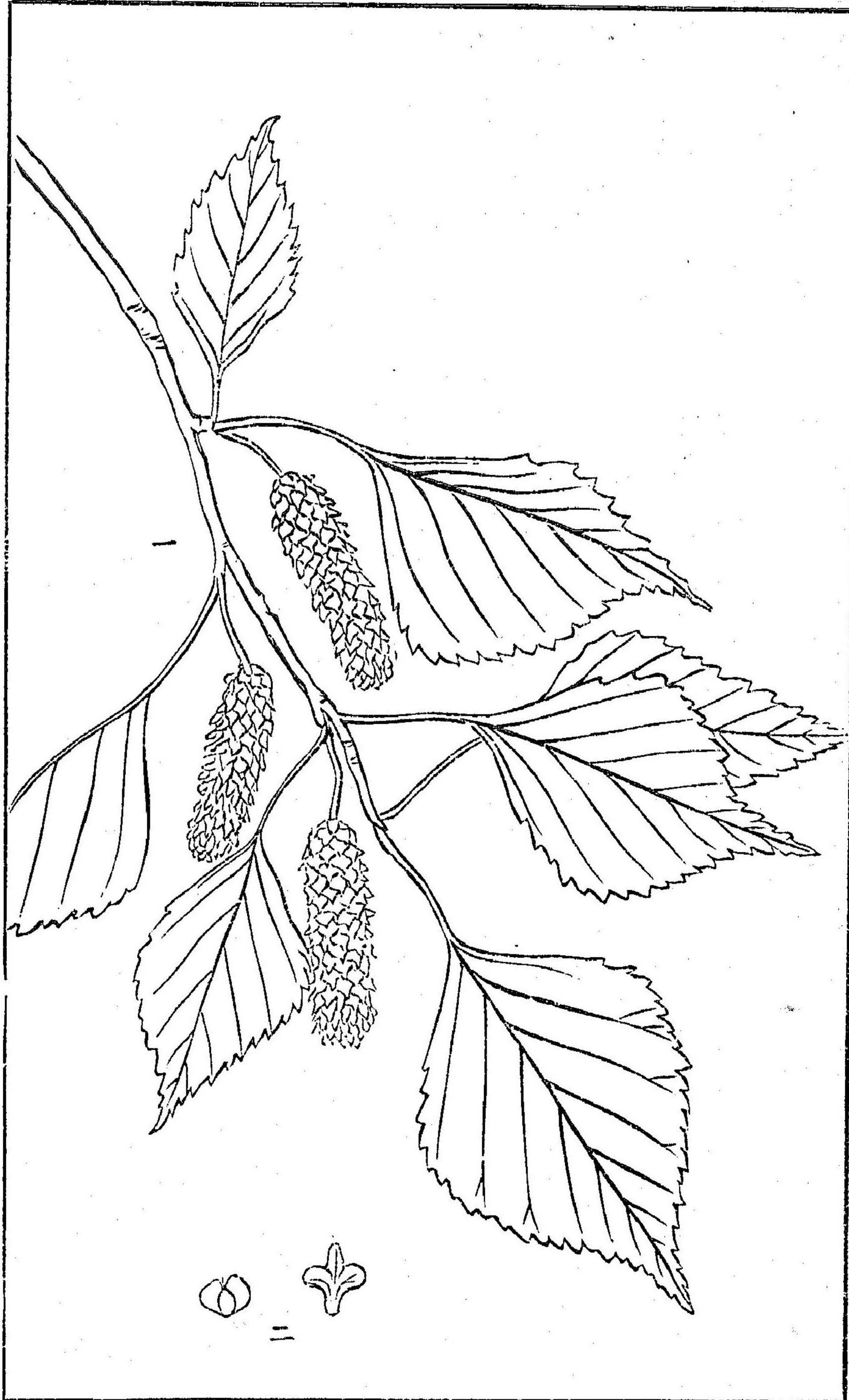
花雌雄同株、雄花ハ葉莢狀、長サ二三寸、雌花梗ノ長サ尺餘共ニ下垂ス、雄花多雄藥苞ノ内面ニ着生ス、花絲甚タ短ク、葯二室細毛アリ、雌花ニ苞アリ、基脚合生シ、子房其中間ニ着生ス、花柱稍長ク、柱頭兩岐ニ分ル。

一梗數多ノ果實ヲ結ブ、經三分許、三個ノ翅ヲ有ス。

材質 材ハ黄白色ニシテ光澤ヲ有ス、導管屈曲セル線上ニ排列シ、其形一樣ニ大ナリ、質軟力ニシテ細密輕鬆ナリ。

効用 木履、燐寸軸木用トシテ賞用セラレ、箱類ニモ作り、又皮ハ箕ヲ作ル、此葉毒蟲ヲ受ケタル片揉ミテ外敷スレハ効アリト云フ。

第 參 拾 八 圖 しらかんば



潤葉樹種

一五

潤葉樹種

產地 渡島國河岸溪間ニ之ヲ産ス。  
 圖解 (一) 渡島國知内産さばぐるみ (二) 雄花 (三) 雌花

一四



第參拾八 樺木科 しらかんば (第三十八圖)

名稱 和名 かば ほんごうちざくら くらぶくら しろぶくら

おほみねはづち しらほりのき ひかば おたのき

がんび

アイヌ名 さたつと かばつとたつと べとたつと

漢名 樺木

學名 *Betula alba*, L. <sup>1754</sup> ~~1753~~ *vulgaris*, DC.

形状 幹高八九丈、圍七八尺、樹皮横理斑點アリ、外面雪白色、内皮淡褐色、脂氣ヲ含ム、無數ノ層ヨリ成ルヲ以テ紙ノ如ク剥落ス、枝細ク黒褐色ニシテ白點アリ甚タ柔軟ニシテ微垂ス。

葉互生、心臟形若クハ三角形ニシテ、銳頭、基部截形或ハ微心形ヲナス、重鋸齒、長サ三寸幅二寸、上面綠色ニシテ滑澤、下面青白色ニシテ粗澁ナリ、兩面ニ毛ナク、微細ノ脂線滿布ス、葉柄長サ一寸、枝上蠕蟲狀ヲナセル細枝上ニ二三葉ヲ生ス。

冬季葉腋ニ紫黃花ヲ垂ル、帶黃青褐色、早春葉ニ先テ花ヲ開ク、雌雄花アリ、雄花ハ鱗ヲ綴リ、内ニ二乃至三花アリ、毎花二乃至四ノ膜狀小鱗片ヲ有ス、二雄藥鱗中ノ脚部ニ着生ス、花絲又狀ヲナシ、其上端ニ葯ヲ生ス、葯二胞縱裂ス、雌花ノ鱗片内三雌藥アリ、子房無柄、花柱ナク、柱頭二分裂、伸長シテ絲狀ヲナス。

果實葉黃狀ヲナシテ垂下ス、長サ一寸五分、鱗片長サ二三分、三深裂シ、正中ノモノ小ニシテ尖ル、子赤

褐色ニシテ扁平、長橢圓、深褐色ノ潤キ翹アリ、薄クシテ大ナリ。

材質 材帶黃白色ニシテ心材ナシ、堅硬ニシテ粘力アリ、導管ハ全年輪ニ平布ス、肌理細密ナリ。

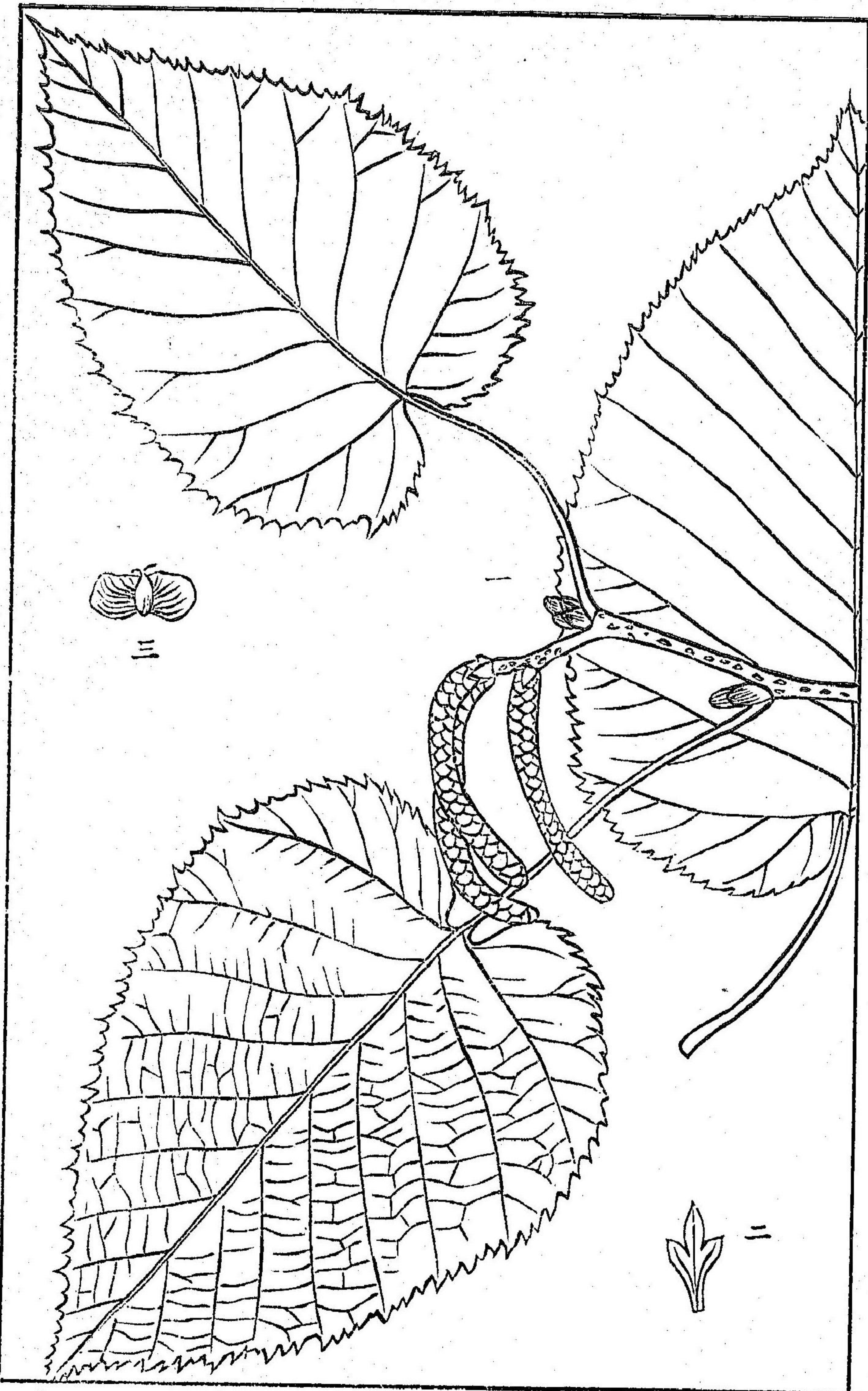
効用 箱類、櫛戸車、獨樂、螺釘板ノ柄、煙草入ニ作り、皮ハ短冊トナシ、合箱ヲ縫ヒ又諸物ヲ包裹シテ

竹籜ニ代用ス、薪炭材ニ供シ、樹皮ハ附木ノ代用トシ、又松明ニ用ヒ、雨中尚ホ能ク燃ユ、洋書ニ曰ク、此材家屋營繕ノ用ニ適セサルモ其質柔軟ナルヲ以テ車匠、室具匠及ヒ旋盤匠ニハ最モ要用ノ原料ニシテ薪材トシテハ山毛糰ト同一ノ價值ヲ有シ、炭ハ鍛房ノ需要アリ、柔軟ナル小枝ハ帚ニ作ル、此皮ハ北國ニテハ諸器具、靴、索箱、唾壺ヲ作り又屋背ヲ被ヒテ濕氣ヲ防キ、北米ニ於テハ帳幕、籃其他ノ器具及ヒ經便ナル獨木舟ヲ作り、樹皮ハ拔爾撒謨質ヲ含ムヲ以テ乾餾シテ其油ヲ得、ロシア革製造用ニ供ス、此皮又澱粉ヲ含ムヲ以テ春キ碎キテ之ヲ得、樹液ハ嫩葉ヲ發スル以前糖分ヲ含ムヲ以テ之ヲ採リテ有効ナル瘰癧血病防禦トナシ、又之ヲ收メテ一種ノ酸ヲ作ル處アリト。

產地 瘠薄ノ地ニ多ク、能ク寒冷ニ堪ユ、火山土及ヒ新厩ノ厚地ニ能ク生ス、性陽燥ノ地ヲ好ム、木道到ル處ニ之ヲ産シ、隨所ニ其純林ヲ見ル。

圖解 (一)根室産しらかんば (二)果鱗及ヒ種子

第參拾九圖 さいはだかんば



第參拾九 樺木科 さいはだかんば (第三十九圖)

名稱

和名 まかば うだいかんば

アイヌ名 またつと かりんばつと

學名 *Betula Maximowicziana, Regel*

形状 幹高八九丈、圍七八尺ニ及フ、外皮帶褐色ニシテ灰色ヲ帶ヒ、厚層ヨリ成ル、枝條稍大ニシテ赤褐色ノ斑點アリ。

葉廣橢圓形、尖頭、心臟形ノ基脚ヲ有ス、重鋸齒、下面青白色ニシテ脈線著明ナリ。幼樹ノ葉ハ甚大ニシテ、兩面細毛密生ス、葉柄長サ一寸二三分。

花さらかんばニ比スレハ雌雄花共ニ其數少ニシテ且ツ長大ナリ。子實さらかんばニ似テ其形圓ク、大ニシテ翅色褐色ヲ帶フ。

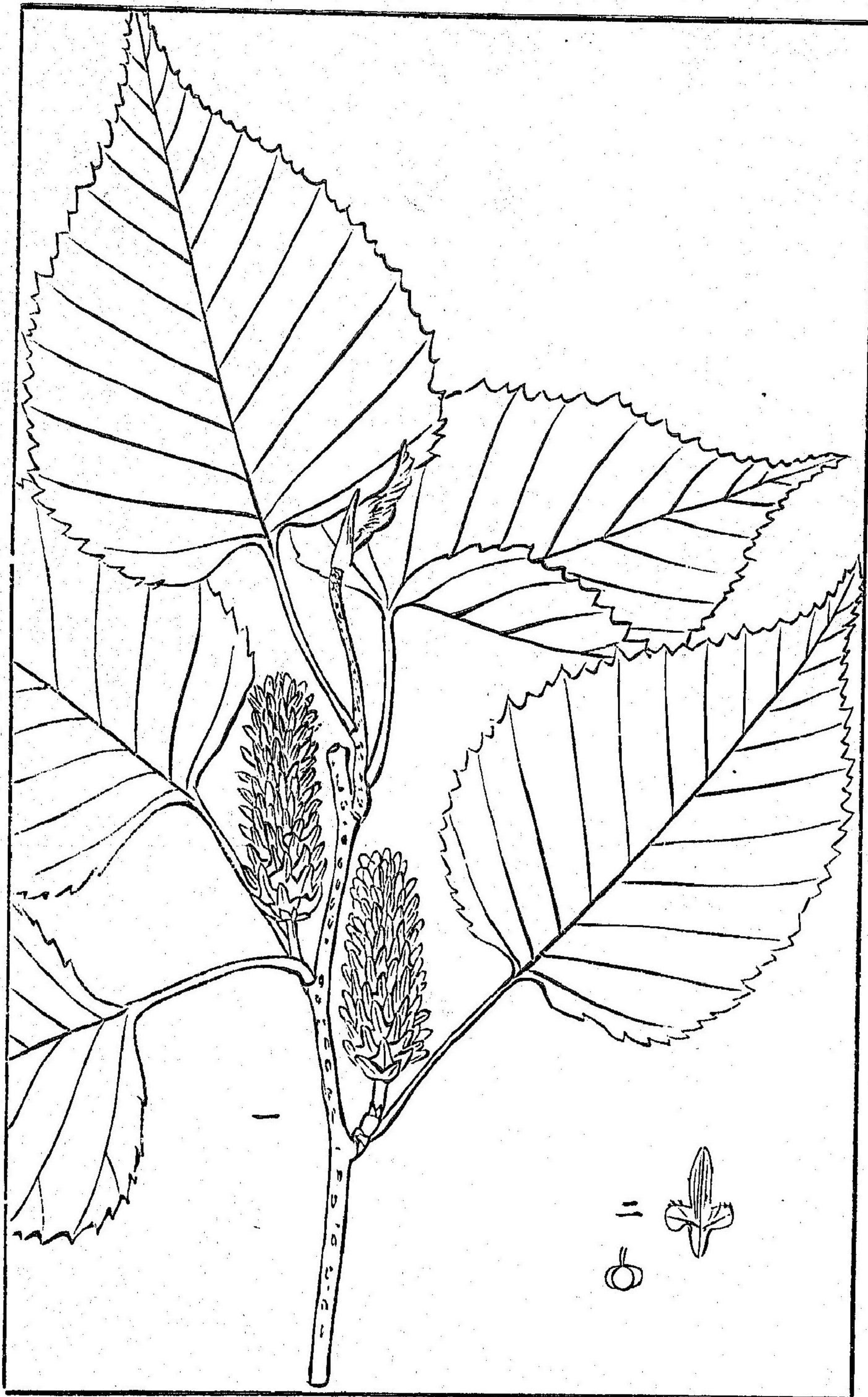
材質 さらかんばニ似テ心材ナシ、材ハ軟クシテ縦裂シ難シ。

効用 さらかんばト同シ、樹皮能ク雨中ニ燃ニ、漁業用松明トナシテ可ナリ、又水器ニ用ユ。

產地 深山陰地ニ多シ。

圖解 (一) 札幌産さいはだかんば (二) 果鱗 (三) 種子

第四拾圖 だけかんば



第四拾

樺木科

だけかんば

(第四十圖)

名稱

和名 だすがんば

アイヌ名 かむいたつと

えぞのだけかんば

學名

*Betula Ermani, Cham.*

めたつと

さらむぺたつと

形狀

高山ニ産スル大ナルモノ幹高二丈圍三四尺ニ達ス、樹皮黒褐色ニシテ灰色ヲ帶ヒ、層々剥落ス、枝條茶褐色ニシテ横張ス。

葉互生、稍三角形、尖頭、基部截形、長サ二寸幅一寸、上面綠色、下面淡青色、重鋸齒アリ、葉脈ニ微細ノ毛アリ、兩面腺滿布ス、葉柄長サ一寸許リ。

花、雌らんばヨリモ少シク大、實ノ長サ一寸二分甚タ太ク、子實倒卵形、膜甚タ狭クシテ厚シ、鱗片長サ三分、三分裂、裂片ノ中央ノモノ兩側ノモノヨリモ長シ。

材質

雌らんばト同シ。

効用

雌らんばト同シ。

產地

高山ニ生ス、千島ニ在リテハ平地多ク之ヲ産ス、

圖解

(一) 札幌モイワ山産だけかんば (二) 果鱗及ヒ種子

第四拾壹圖 はんのき



第四拾壹 樺木科 はんのき (第四十一圖)

名稱 和名 やちば はりのき はるのき やしや

アイヌ名 にたとけね さるけね

漢名 赤揚

學名 *Alnus japonica, Seitz.*

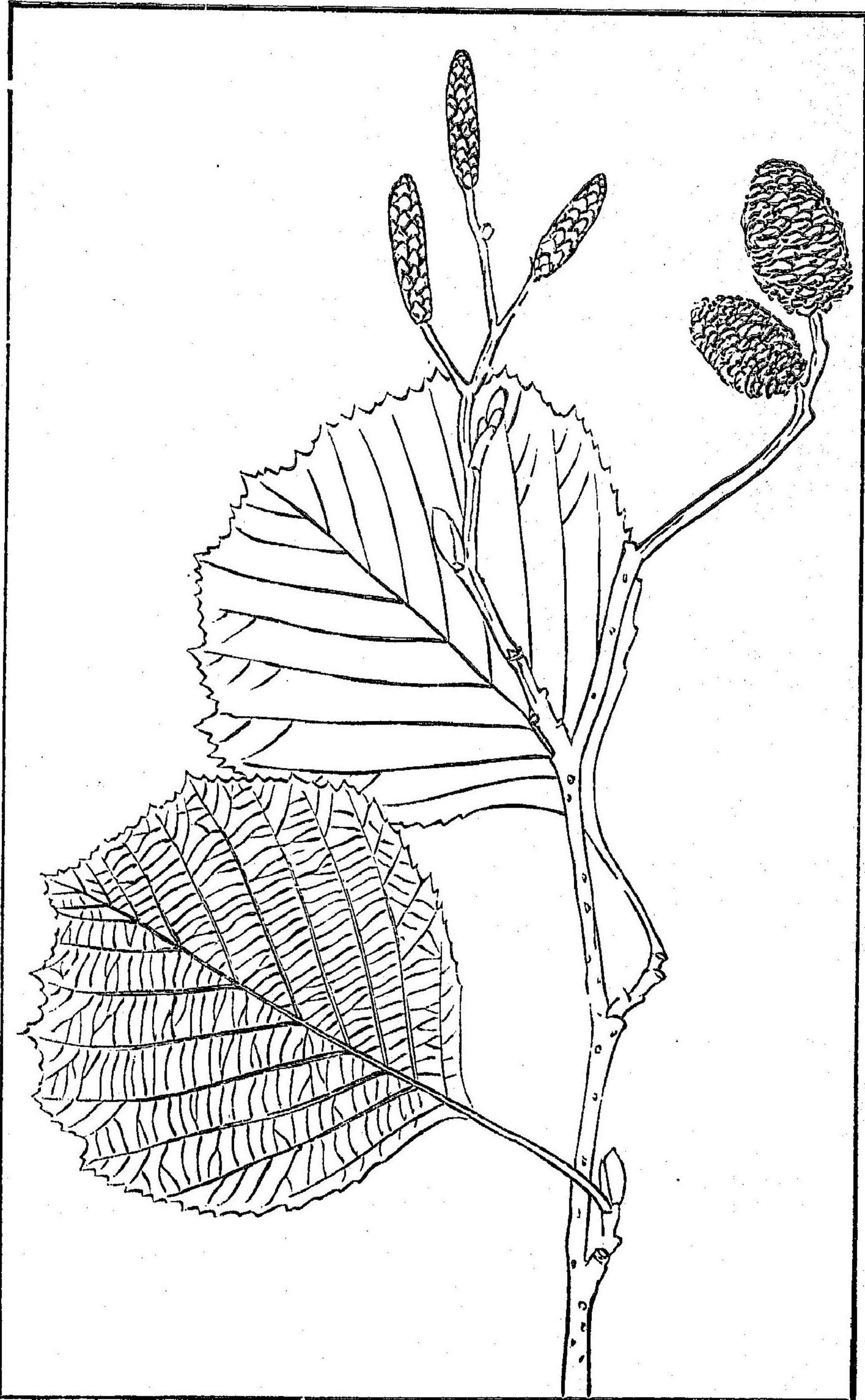
形状 幹高五六丈、圍六七尺、樹皮淡黑色ニシテ長キ裂目ヲ有ス、枝條長大ニシテ揚起ス。葉互生、橢圓形、尖頭淺鋸齒アリ、長サ三寸幅一寸五六分、面稍平滑、下面褐色、短柔毛疎生ス、柄ノ長サ一寸。

花雌雄同株、雄花圓筒狀、葉莖花ニシテ下垂シ、鱗片内二三花アリ、一鱗片ハ一大尖ト五小尖アリ、稍扇形ヲナス、一花亦四小鱗片ヲ有シ、中ニ四雄蕊アリ、花絲ノ長サ葯ノ二倍アリ、葯二室並置シテ縱裂ス、雌花亦短小ナル、葉花ヲナス、鱗ハ初メ肉様ナルモ後木質ニ變シテ宿存ス、扇形ニシテ先端稍圓形ヲナセル四個ノ裂片ニ分ル、一雌蕊子房ハ卵形ニシテ花柱ナク、柱頭二分ニ裂ス。實ハ橢圓形ニシテ小鱗密疊ス、長サ六七分許リ、熟シテ黒褐色ナル、子扁平ナリ。

材質 新材ハ白色ニシテ微赤色ヲ帶ヒ、乾クハ帶褐赤色ニシテ固有ノ心材ヲ缺ク、射出髓多クシテ著キ、限界ヲ有セス、導管ハ甚タ細微ナリ、材質葉軟ニシテ割レ易ク、肌理密ニシテ美ナリ。

効用 器具、船具、椅子、木履、櫛、太鼓ノ胴、兒童ノ玩具等ニ使用シ、薪炭材ニ供シ、其小木ハ火藥用炭ニ用ヒ、又鍛冶炭トナス、皮及ヒ實ハ染料ニ供ス、又農家之ヲ畦畔ニ植栽シ、土崩ヲ打止シ、又枝葉ヲ煎除

第四拾貳圖 やまこんのき



潤葉樹種

潤葉樹種

シテ秋穫ノ際稻干ニ使用スル所アリ。  
産地 濕氣ヲ好ミ、河岸水邊ニ能ク生育ス、本道千島ノ外ハ到ル所ニ之ヲ産ス。  
圖解 函館産はんのき

第四拾貳

樺木科

やまはんのき

(第四十二圖)

名稱

和

名

はんのき

つちしばり

やまはりのき

やしやぶし

アイヌ名

けね

學名

*Alnus incana, Willd*

形狀

軟毛アリ。

幹高五六丈、圍四五尺ニ達ス、樹皮黒褐色、初メハ平滑ニシテ後裂目ヲ有ス、枝灰褐色ニシテ

葉圓形基部微心形ヲナス、經三四寸、周緣ノ凸凹淺リ、鋸齒細カナリ、下面微毛アリ、葉柄ノ長サ一寸五

六分、新枝及ヒ葉柄ニ毛アリ。

花はんのきト似タリ、果短梗ヲ具フ、長サ六七分、子片赤褐色ニシテ稍大ナリ。

材質 材色はんのきノ如ク、廣キ射出髓ハ前者ヨリモ少シク小ニシテ、年輪ノ限界明カナリ。

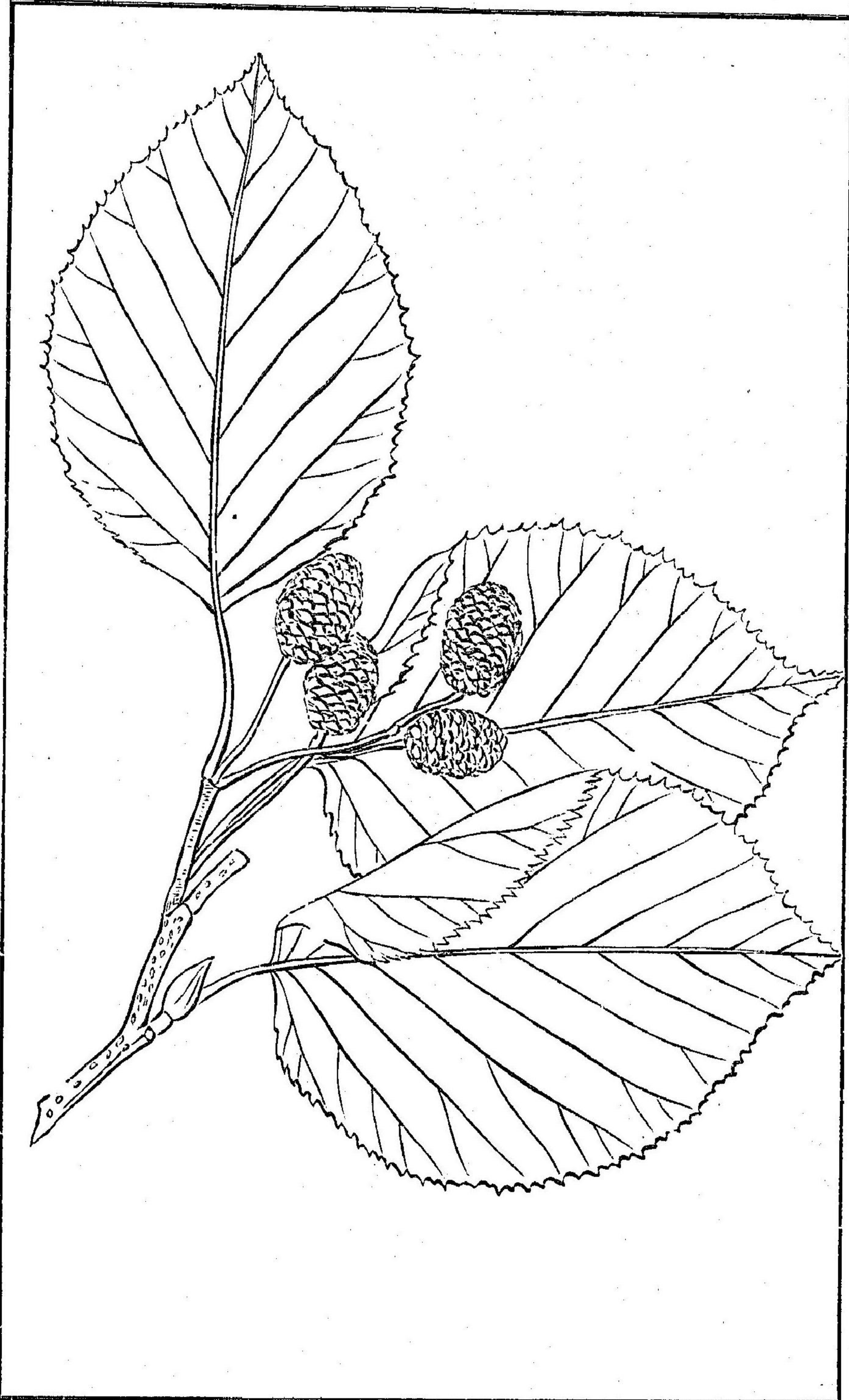
効用 挽物細工、箱類茶托等ヲ製スルニ用ヒ、又茶箱トナン薪用ニモ供ス、皮實ハ染料トシ、小木ハ

火藥炭用トナスニはんのきニ優ル、北米ニ於テハ煉瓦ヲ最終ニ燒ク際ニ此材ヲ用ユト云フ。

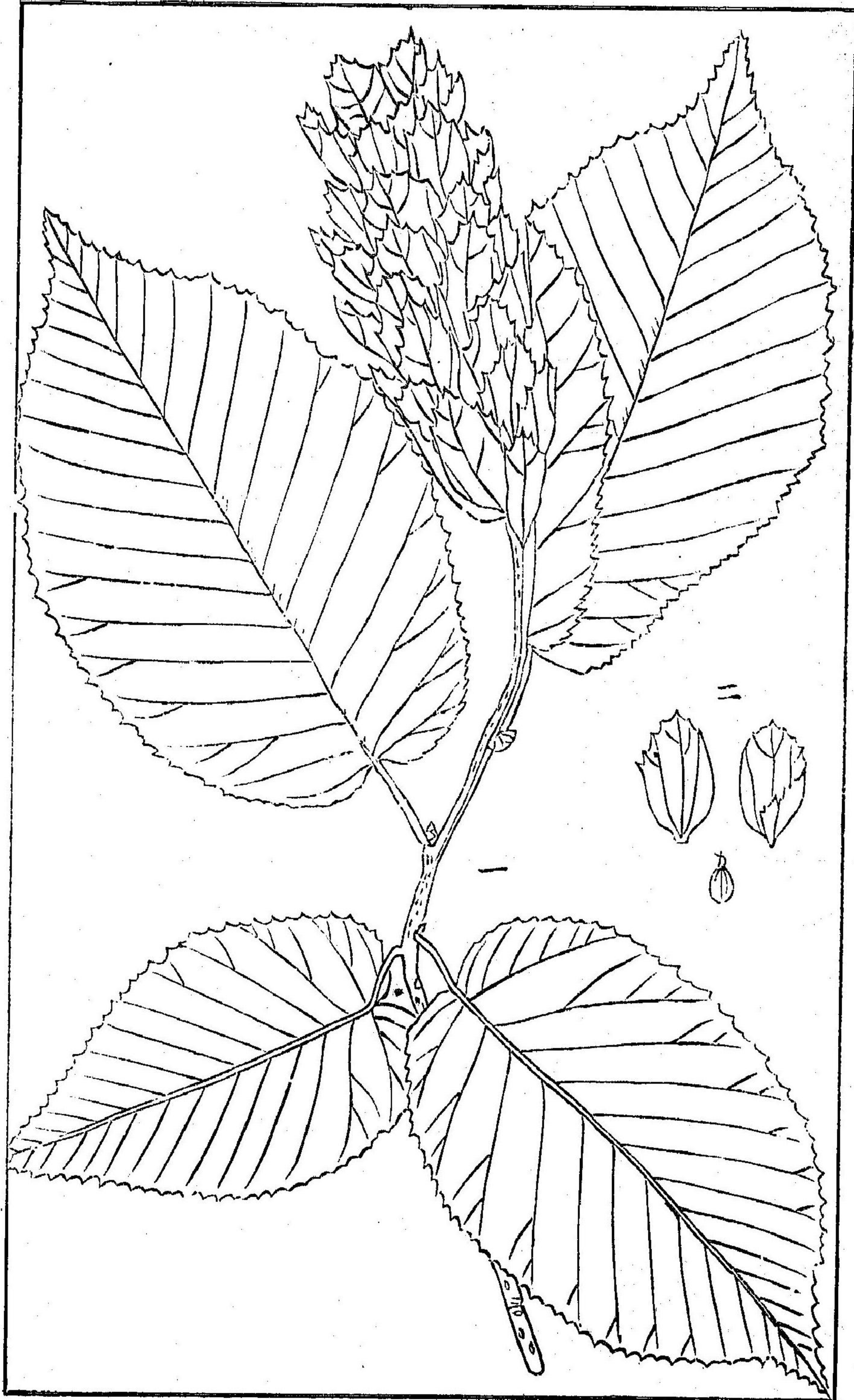
產地 河畔濕地及ヒ山中濕潤地ニ生ス、諸國ニ産ス。

圖解 日高國浦河産やまはんのき

第四拾參圖 又やまはんのき



第四拾四圖 さばはしのき



潤葉樹種

二三

潤葉樹種

二三

第四拾參 樺木科 みやまはんのき (第四十三圖)

名稱 和名 だけば やしやぶし だきははんのき だけま

アイヌ名 ほろけうけね かむいけね ふした

學名 *Alnus viridis*, DC. var. *sibirica*, Regel

形状 幹高四丈ニ達スルモノアルモ高山ニ産スルモノ概テ二丈餘圍三四尺ニ過キヌ樹皮灰色

ニシテ平滑ナリ、枝灰褐色ニシテ太ク斑點アリ。

葉ハ廣卵形尖頭基部微心形重鋸齒、長サ二三寸幅二寸許、滑澤ニシテ粘液ヲ出シ光輝アリ。

花はんのきニ似テ肥大長サ四寸許粘液ニ富ム、果ノ長サ六七分許リ。

材質 材色はんのきト全シク、廣キ射出髓ハ多數ナルモ細微ナリ、秋材部ハ春材部ヨリモ密ニシ

テ廣ク、年輪ノ界限著シク彎曲セリ。

効用 主ニ薪炭材ニ用ユ。

產地 火山石地ヲ好ミ、高山及ヒ千島諸島ニ多ク、又河岸ノ礫地ニ往々之ヲ産ス。

圖解 日高國猿留産みやまはんのき

第四拾四 樺木科 さばしば (第四十四圖)

名稱 和名 くちごろ さばしば まばして かなして くちごろ

アイヌ名 ばせに

學名 *Carpinus cordata, Bl.*

形狀 幹高四五丈、圍三四尺、樹皮深褐色、厚硬ニシテ裂目アリ、枝條伸張、褐色ヲ帶ヒ、白斑點多ク、嫩枝ニ軟毛アリ。

葉互生、橢圓形、尖頭基部心臟形、重鋸齒葉脈顯著ニシテ毛アリ、長サ三四寸幅一寸五分乃至二寸餘、五月葉ニ先チ葉莖花ヲ綴ル、雄花圓筒形、穗狀ヲナシ、花被ナク一苞ヲ有ス、周邊ニ白色ノ長柔毛アリ、雄藥多數、苞ノ基脚ニ着生ス、花絲兩岐シ各岐頂ニ葯アリ、葯ノ先端白色ノ毛アリ、雌花ハ短總狀花ニシテ、子房發育不完全、花後增大スル小苞ニテ包マル、花柱甚タ短ク、柱頭二裂、長ク線形ヲナス。

實ハ堅果ニシテ、大サ一分、一子ニ一苞アリ、苞ハ大小二片、二分裂シ、大ナルモノハ長サ一寸、上部ニ鋸齒縁アリ、下部ノ内面白色ノ粗毛密生シ、基部ニ種子ヲ着ク、小ナルモノハ稍卵形、長サ二三分反曲シテ種子ヲ覆フ、頂端三四ノ齒アリ、内面ノ基部ニ粗毛ヲ生ス。

材質 材色白ク淡褐色ヲ帶ヒ、木理正シカラズ、堅硬ニシテ粘力アリ、射出髓細ク肉眼ニテ辛フシテ之ヲ見ルヲ得ヘシ、導管微小ニシテ散在シ、廓大鏡ニテ之ヲ認メ得ヘシ。

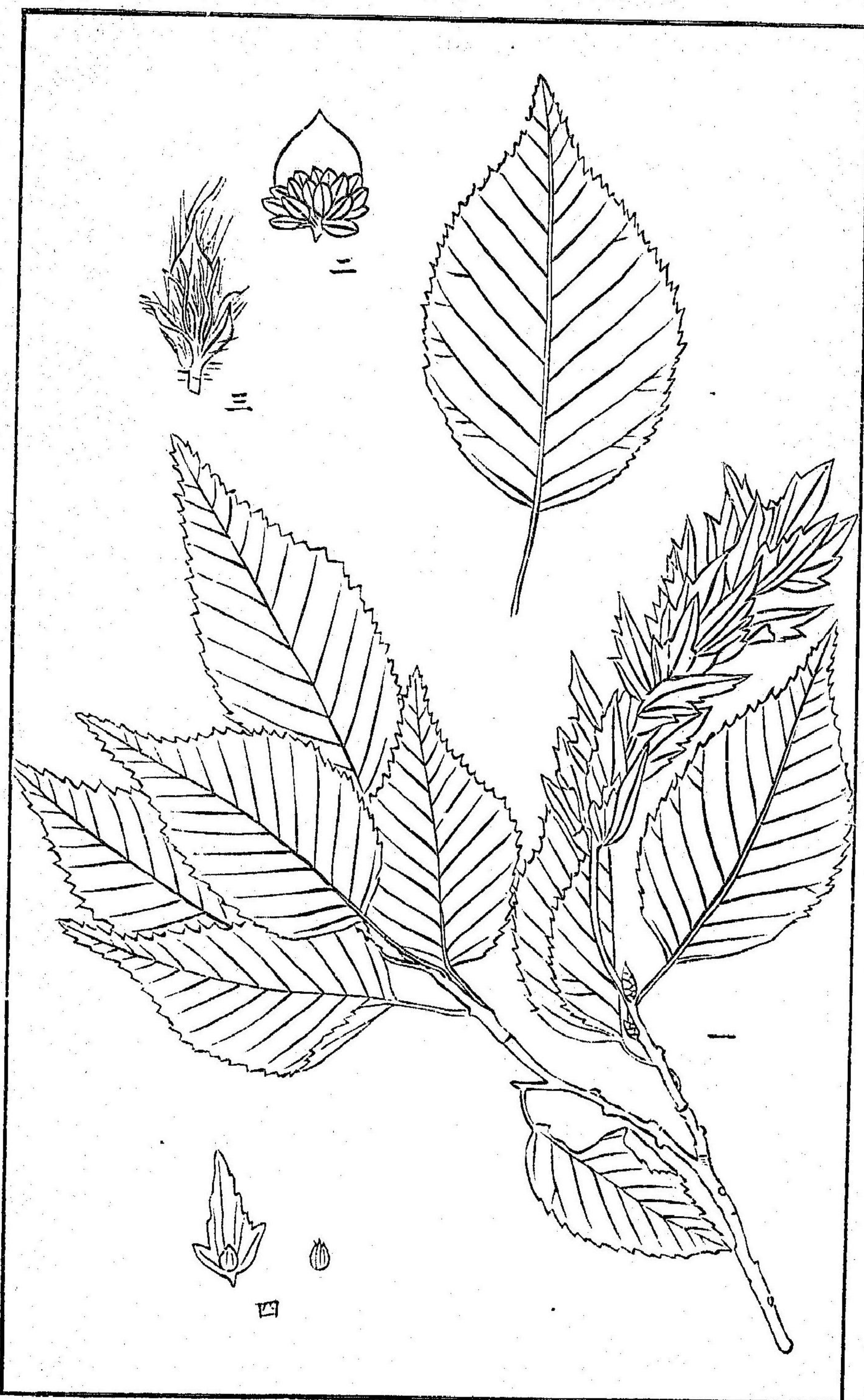
効用 鋸作器具用トシ、又薪炭材トナス。

產地 好ンテ山腹ノ陰地ニ生ス、所在ニ産ス、膽振千歲山中ニ純林アリ。

圖解 (一)石狩國フラマ産さばしば (二)苞鱗及ヒ種子



第四拾五圖 あかしで



第四拾五 樺木科 あかしで (第四十五圖)

名稱	和名	そろ	そや	そろのき	ひめぞら	ふぬして	そろして
	アイヌ名	しらぞめ	その	そね	こそね	こしつ	
	學名	Carpinus lasiohorm, Bl.					

形状 幹高四五丈圍三四尺、外皮稍平滑ニシテ灰白色、枝黒褐色ニシテ灰色ヲ帶ヒ、細枝ニ白點アリ。

葉互生圓形若クハ橢圓形重鋸齒、葉脈明白ニシテ上面綠色、下面淡青色ヲナス、葉脈ニ軟毛アリ、尖頭基部圓形長サ二寸許リ幅一寸葉柄ノ長サ五六分。

花紫莢花雄花多雄藥廣卵形ノ苞ニ包マル、雌花穗狀ニシテ短ク、毎花二苞並生ス、一苞内ニ二雌藥アリ、柱頭二裂ニシテ多毛。

實ハさはしてニ似テ小ナリ、其苞葉狹銳ニシテ鋸齒アリ長サ五分幅二分、二十餘相摺マリ、長サ二寸幅六七分、其基部二子對生ス、種子廣卵形、蒼灰色、大サ一分許リ。

材質 材ハ帶淡黃白色ニシテ、心材ナシ、射出髓不明ニシテ、年輪ノ境界ハ點々ヨリ成レル透明ナル線ニ依リテ知ルヲ得ヘク、導管ハ甚タ細微ニシテ、廓大鏡ヲ用ユルニアラサレハ明視シ難シ、材強クシテ裂割シ難シ。

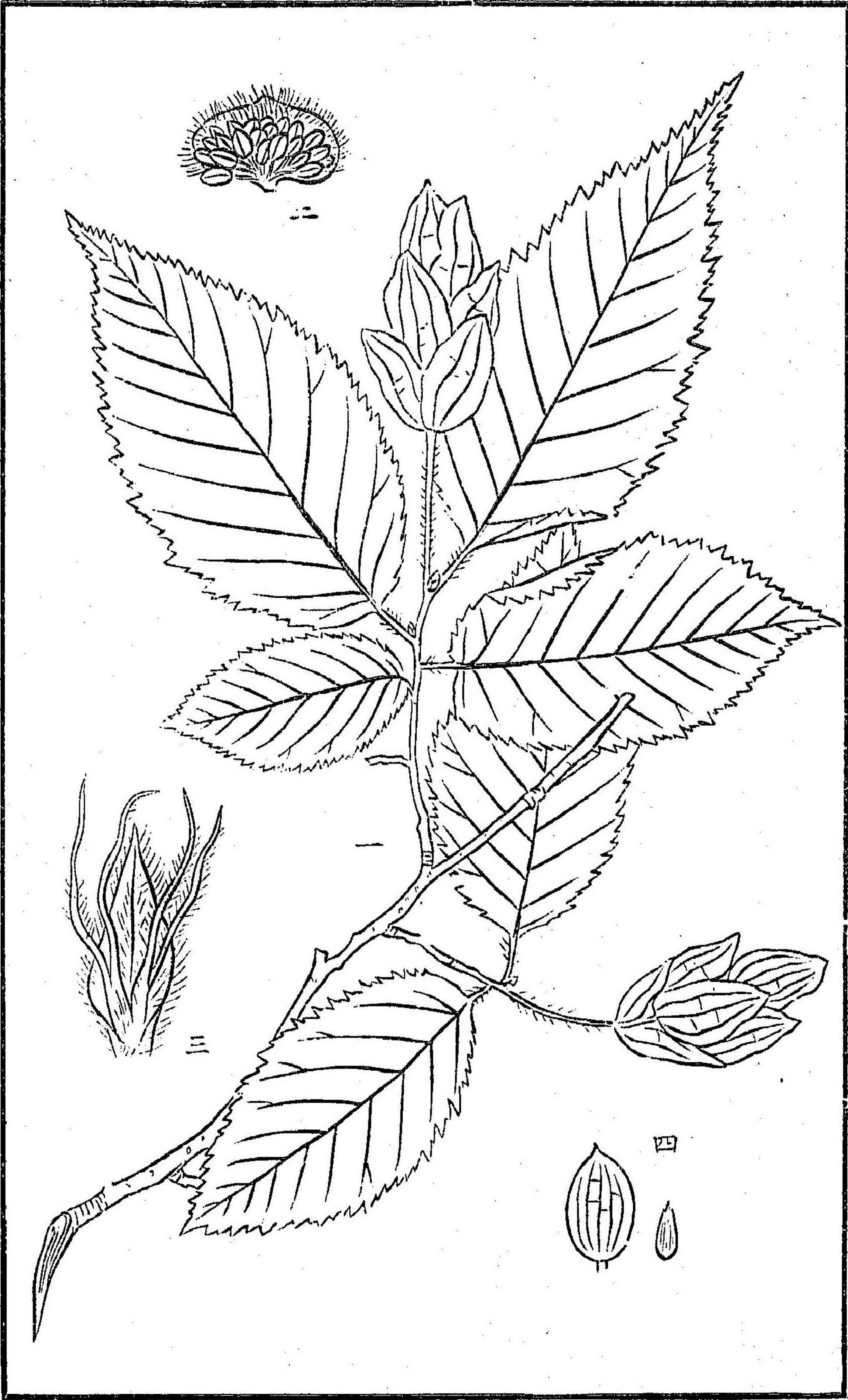
効用 農具ノ柄、柱、杖、傘ノ柄ニ用ヒ、又薪炭材ニシテ香葦ヲ作ル良材料ナリ。

潤葉樹種

產地 渡島國、膽振國、日高國ニ限リ産ス。  
圖解 (一) 日高國平取産あかして (二) 雄花 (三) 雌花 (四) 苞鱗及ヒ種子

一四

第四拾六圖 あさだ



潤葉樹種

一五

第四拾六 樺木科 あさだ (第四十六圖)

名稱 和名 あさだ

アイヌ名 せいかわら

學名 *Ostrya japonica*, Sarg.

形狀 幹高五六丈、圍五六尺、樹皮暗黃褐色ニシテ、淺ク長キ裂目ヲ有ス、枝ハ青褐色ニシテ平滑、暗褐ノ斑點ヲ有ス。

葉互生、橢圓若クハ卵形、尖頭、重鋸齒、長サ二寸乃至四寸、幅一寸乃至二寸、上面深綠色、下面淡綠色、細毛疎生シ、葉脈及ヒ葉柄多毛、葉ノ長サ二三分。

花葉黃花、雄花ハ圓筒狀花被ナク、一苞赤褐ニシテ厚シ、苞ノ上端ニ白毛アリ、雄藥多數、苞ノ脚部ニ着生ス、花絲甚タ短ク、雌花短ク、一雌藥ハ一小苞ヲ有ス、此物花後増大ス、花柱短ク、柱頭二分、裂伸長シテ線形ヲナス。

實ハ堅果ニシテ熟シテ苞ノ長サ一寸幅五六分トナリ、基部ニ小裂片アリ、内方ニ折屈シテ囊狀ヲナシ、其内ニ一子ヲ有ス、種子尖頭、橢圓形、平扁、長サ二分半、幅一分、赤灰色ニシテ滑澤ナリ。

材質 邊材ハ廣ク、其色淡灰ニシテ光澤ヲ有シ、心材ハ深褐色ナリ、導管ハ射出髓ノ方向ニ排列シ、横斷面上廓大鏡ヲ以テ明カニ其孔ヲ認メ得ヘシ、材ハ堅硬ニテ粘力アリ、裂割シ難シ。

効用 雪車、魚叉、竿、船具等ヲ作り、又薪炭材トシテ可ナリ、米國ニテハ此屬ノ木材ハ木槌及ヒ車輪ニ用ユト云フ。

產地 山地ニ多ク、諸國之ヲ産シ、渡島、石狩ニ良材多シ。

圖解 (一)石狩國ヲラヌ産あさだ (二)雄花 (三)雌花 (四)苞鱗及ヒ種子

第四拾七圖 おほかしは

森 植 物 圖 說



第四拾七 殼斗科 おほかしは (第四十七圖)

名稱

和名

かしは

ならがしは

おほははそ

おほぼうそ

アイヌ名

こむに

ぼつたり

かしはき

おむにつんに

まこむに

漢名

榲

學名 *Quercus dentata*, Will.

形狀

幹高五六丈圍七八尺外皮灰褐色ニシテ厚硬深キ裂目ヲ有ス。

葉潤キ卵圓形基部稍心臟形ヲナス長サ六七寸幅四五寸周邊大波狀若クハ缺到アリ波動狀鱗狀ヲナス上面深綠色下面淺綠色短剛毛疎生ス大サ一ナラス大ナルモノ一尺アリ葉頭部ノ鋸齒往々ニシテ重鋸ヲナスモノアリ葉柄甚ク短ク長サ二三寸淡褐ノ毛茸密生ス嫩葉亦同上ノ柔毛アリ周邊及ヒ裏面殊ニ多毛ナリ此葉長ク枝上ニ存シ翌春嫩芽膨脹スルニ及ンテ脱落ス。

嫩葉ト共ニ開花ス雄花葉莢狀黃綠色多數ノ小花ヲ着ク花梗ノ着所ニ一苞アリ其色淡褐尖端厚ク基部截形着所胞大シ半錢形ノ盤狀ヲナス内面平滑背而柔毛アリ多雄藥色絲短ク葯二室上端ニ白色ノ毛アリ花梗小梗共ニ細毛密生ス雌花無柄殼斗狀ノ總被内ニ在リテ外部ハ先端棘狀ヲ爲セル鱗中ヲ以テ包マル子房發育不全頂端ニ柱頭開出ス。

子實ノ頭部稍圓ク殼斗ハ淺クシテ平椀狀ヲナシ底部ノ外面平圓ニシテ尖ラス外面ノ鱗毛長サ四五分許ニシテ著シク外反ス。

森 植 物 圖 說

潤葉樹種

一五〇

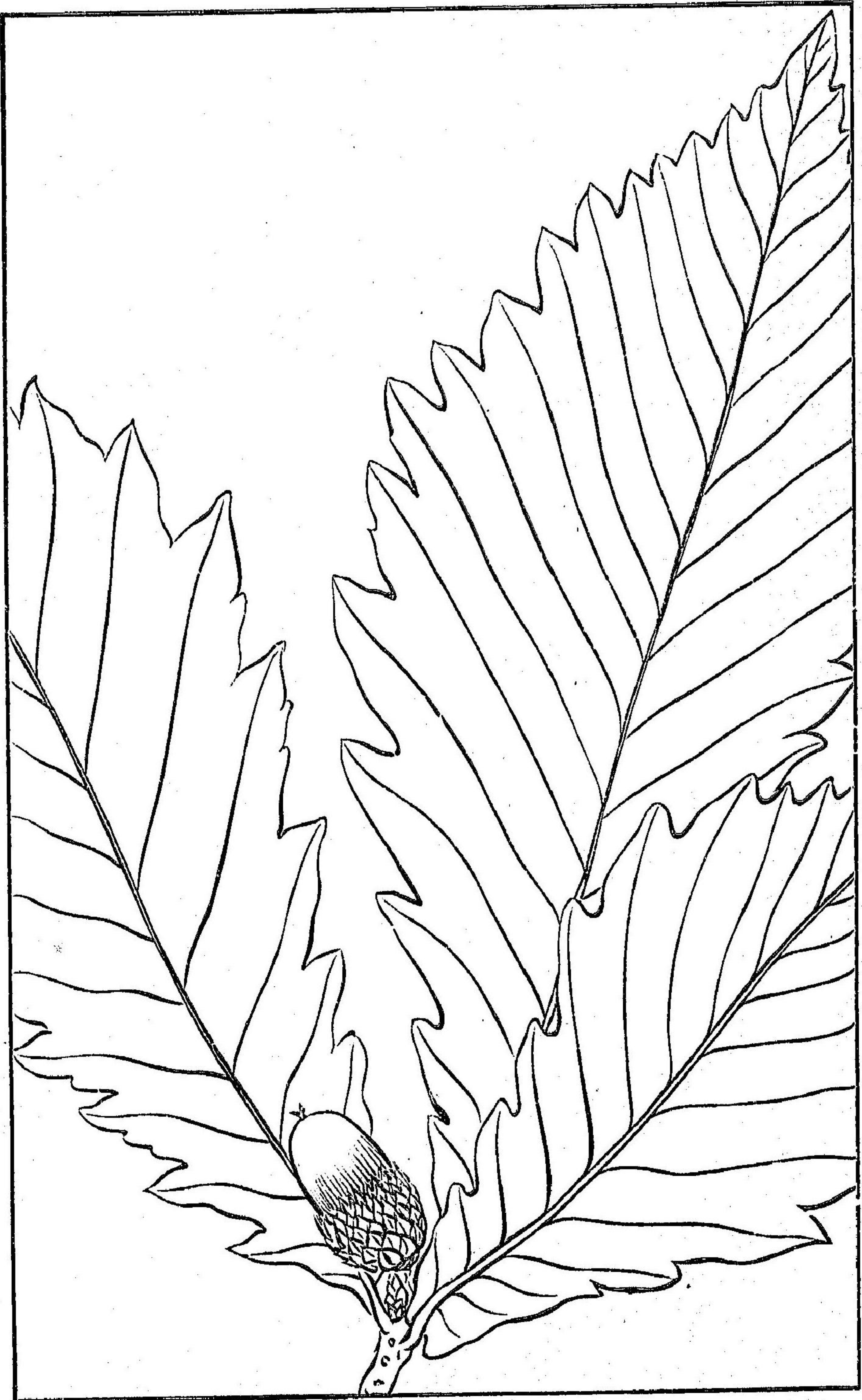
材質 邊材廣クシテ灰白色、心材ハ帶褐暗灰色ナリ、有孔層ハ普通二個導管ハ廣ク、有孔層ニ於ケル導管ハ前者ヨリモ細小ニシテ密集ス、材堅硬ニシテ重ク水氣ニ堪ユ。

効用 主ニ薪炭ニ用ヒ、床板、定木、鐵道枕木ニ用ユ、樹皮ハ漁網ヲ染ムル必要品ニシテ、又糝用ニ供ス、葉ハ舊俗端午ニ餅ヲ包ム、實ハ豚ニ飼ヒ、晒製ニシテ澱粉ヲ製ス、歐洲ニテハ此材ヲ製艦用ニ供スト云フ。

產地 海邊砂土ニ産スルモノハ矮小ニシテ、平野沃地ニ在ルモノ能ク喬大ヲナス、本道千島ノ外ハ到ル處ニ之ヲ産ス。

圖解 日高國幌泉産おほかしは

第四拾八圖 おほかし



潤葉樹種

一五一

第四拾八 殼斗科 ねほねら (第四十八圖)

名稱 和名 まなら しろなら ならまき うしなら のしなら

みづなら

アイヌ名 ちかぶへろに

學名 *Quercus crispula*, Bl.

形狀 幹高六七丈圍五六尺、外皮灰褐色、粗大ニシテ深ク扁平ナル裂目ヲ有ス、枝條稍細ク密ニシテ灰白色ナリ。

葉ハ潤頭楕圓形、尖頭ニシテ、單鋸齒粗大ナリ、長サ五寸乃至九寸、葉柄短ク長サ一分乃至五分、葉小ナル者ハ鋸齒銳ク、大ナル者ハ鈍頭ナク、葉薄クシテ光澤アリ、葉面ニ毛ナシ。

雄花基部ニ一苞アリ、花無柄、先端有毛ノ四小苞アリテ之ヲ包ム、多雄藥、花絲短ク、雌花有柄、殼斗狀ノ總被内ニアリ、外部先端棘狀ヲナセル細鱗片ヲ以テ包マル。

實大ニシテかしはニ比スレハ稍長ク、殼斗淺ク皿狀ヲナシ、子實ノ下端ヲ覆ヒ、殼斗ノ縁邊甚タ厚シ、材質 邊材甚タ廣ク、心材ハ帶淡黃褐色ナリ、有孔層ハ一般ニ二箇ノ導管廣ク若クハ一二ノ之ニ

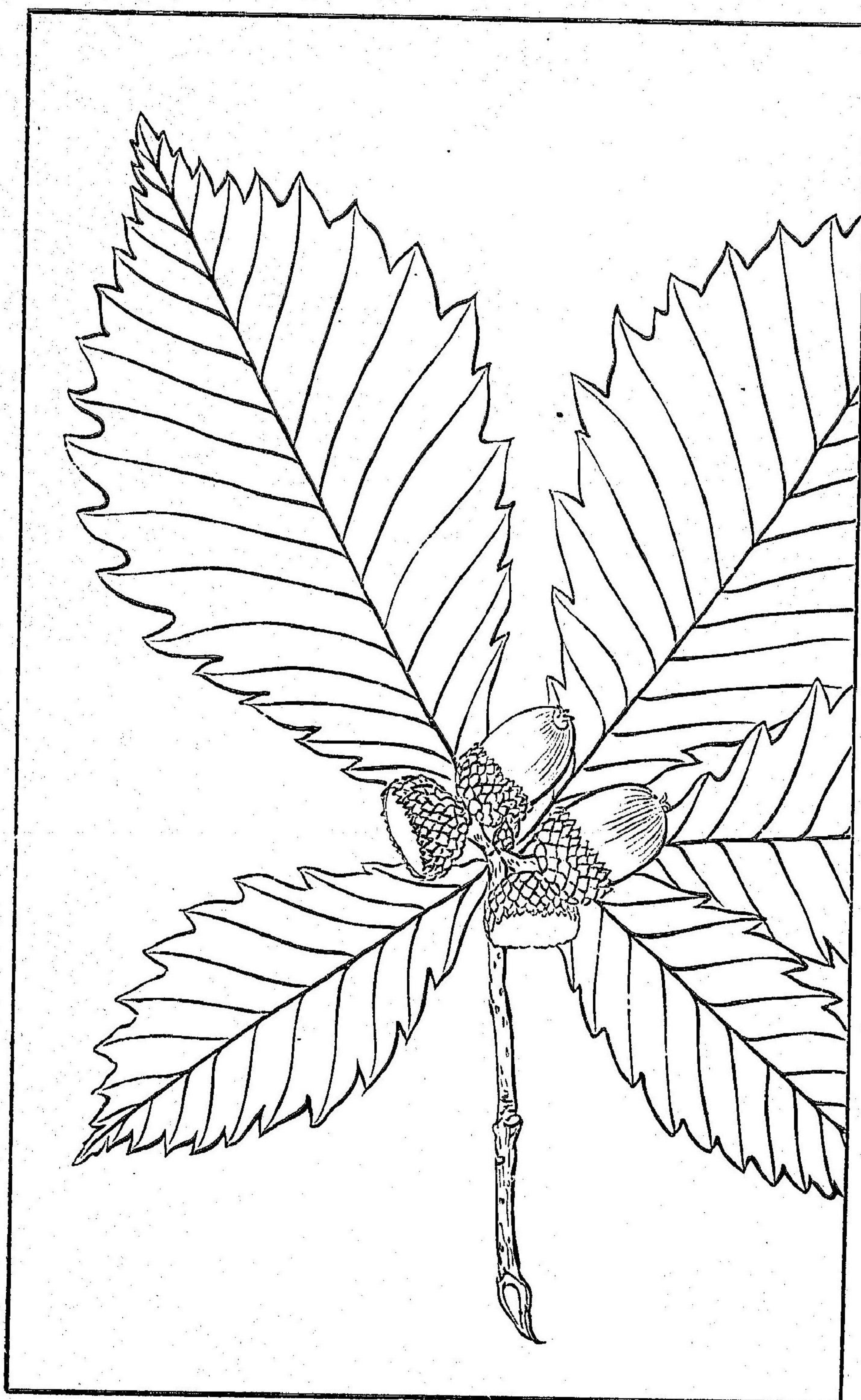
隨伴セル導管アリ、肌理密ニシテ最モ堅硬、彈力強ク光澤アリ。

効用 船艦材、酒樽材、臼、椅子等ノ器具、鐵道枕木等ニ用ヒ、又薪炭良材ニシテ、香藪ヲ造ル原料ニ可ナリ、皮ハ煎シテ染料トナシ、枝葉ノ灰ハ染工ノ用ユル所ナリ、實ハ晒製シテ食用トスヘシ、此木ノ老

木ハ焰ナク燃テ爆セス故ニ之ヲ上等暖爐ニ用ヒ、熔鑄爐ニハ壯木ノ灰ヲ用ヒテ益アリト稱ス。  
產地 溪畔平林ニ産スルモノ喬大ナリ、諸國ニ産ス。  
圖解 石狩國札幌郡千歲産おほなら

第四拾九圖 みづなら

説 圖 物 植 林 森



第四拾九 殼斗科 みづなら (第四十九圖)

名稱 和名 やまほそ おほなら はいそ

学名 *Quercus grosserrata*, Bl.

形状 おほならニ似タリ其葉廣楕圓形尖頭長サ四五寸周邊ニ銳頭粗鋸齒アリ殼斗深ク椀状ヲ

ナシ縁邊甚々薄シ。

材質 なほならニ似タリ。

効用 建築材工業用薪炭香草材料ニ用ユ。

產地 おほならニ全シク全道ノ低地ニ多クおほならヨリモ北地ニ分布ス。

圖解 渡島國茅部産みづなら

説 圖 物 植 林 森

第五拾圖 こなら

潤葉樹種

一五



第五拾 殼斗科 こなら (第五十圖)

名稱	和名	いしなら	くろなら	ほぞ	そだの	こならまき
	漢名	のほそ	まほそ	すのき	こまき	はさこ

學名 *Quercus glandulifera*, M.

**形状** 幹高五六丈、圍六七尺、樹皮始メハ灰白色平滑ニシテ光澤アルモ、後ニ淺キ裂目ヲ有ス。葉長橢圓若クハ卵圓形、尖頭圓基、齒頭內向セル粗鋸齒アリ、葉柄短ク四分乃至一寸、上面深綠色、滑澤、下面粉白色、絹絲狀ノ柔毛密布ス。

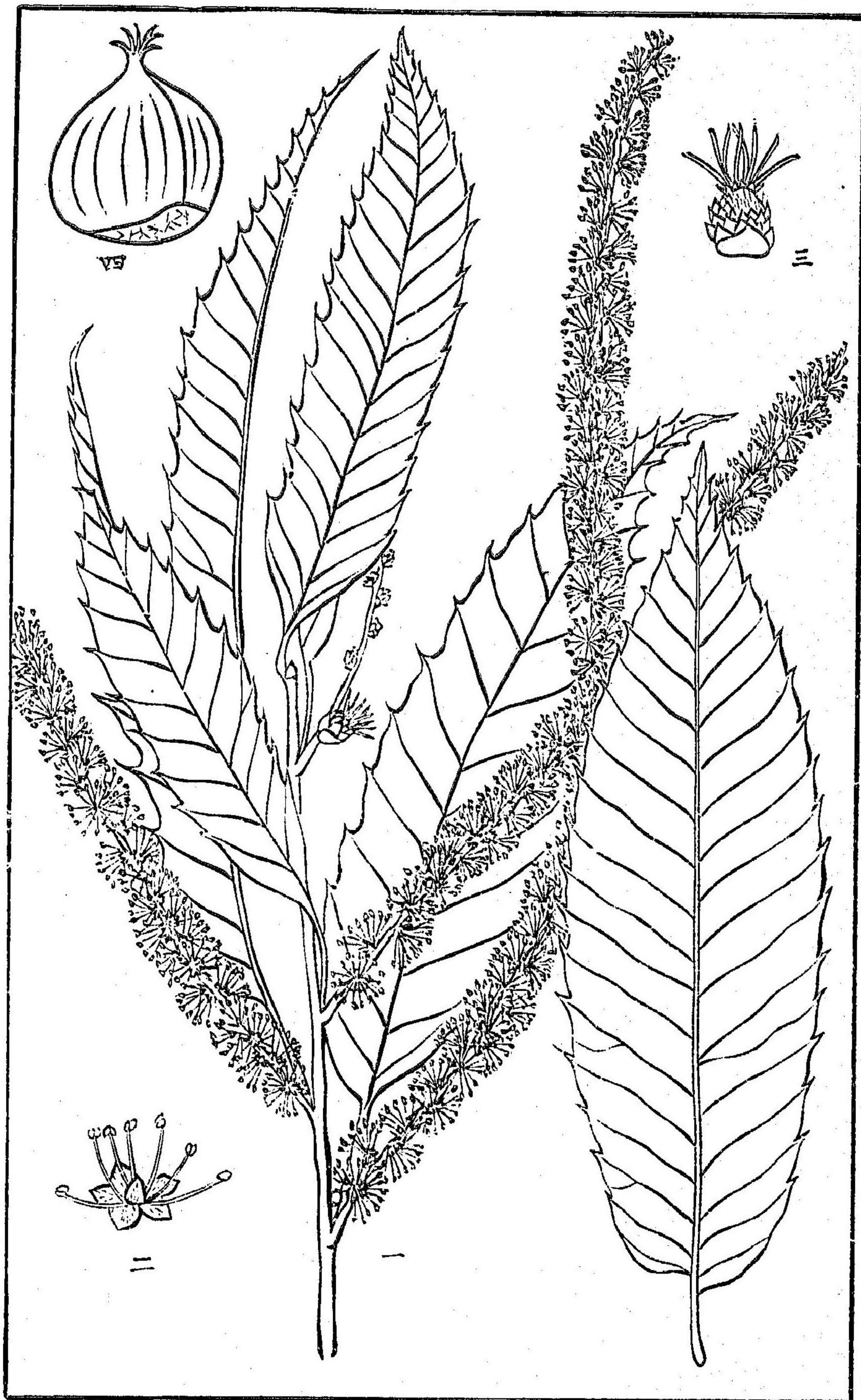
花おほならニ似テ實ハおほなら、みづならヨリモ小ニシテ橢圓形ヲナシ、端稍突出シ、殼斗碗狀鱗片細小ナリ。

**材質** 邊材灰白色、心材ハ淡灰褐色、有孔層ハ普通唯一ノ導管ハ廣ク、一若クハ多數ノ上導管隨伴ス、射出髓ノ方向ニアル甚々細小ナル導管ハ麻大鏡ヲ用ユルニアラサレハ孔ノ存在ヲ認メ難シ、射出髓ハ廣クシテ多數ナリ、材ハ甚々堅硬、容易ニ割裂シ能ク彎曲ス、水濕ニ堪ユ。

**効用** 薪炭ノ良材ニシテ雪車、箱、椅子等ニ作り枝上ニ生スル蟲窠、所謂さるのももハ單寧ヲ製シ又染料ニ供ス、其材又香草ヲ作ルニ用ニ、其實ハ山民ノ食用トスル所ナリ、其法ハ子實ヲ乾シ白ニテ搗キテ殼ヲ去リ之ヲ溪水ニ浸ス、數日、斯ノ如クニシテ澁味全ク去ルモノニ澱粉類ヲ加ヘテ食用ニ供シ、又醸シテ酒トナスヲ得ヘント云フ。



第五拾壹圖 くり



潤葉樹種

一五

產地  
圖解

潤葉樹種

波島、膽振、石狩、日高諸國ニ産シ、日高ニ於テハ能ク喬大ヲナス。  
波島國宿野邊産コナラ

一五

第五拾壹 殼斗科 くり (第五十一圖)

名稱 和名 くり しばぐり

アイヌ名 やむに

漢名 栗

學名 *Castanea vulgaris, Lam var. japonica, DC.*

**形狀** 幹高四五丈圍五六尺樹皮始メハ暗赤褐色ニシテ平滑ナルモ後ニハ扁平ナル裂目ヲナス。葉互生長橢圓形尖頭基部不等ノ心臟形ヲナス鋸齒ノ尖端銳狀ヲナシ尖銳ナリ側脈平行上面深綠色滑澤下面粉白色葉脈ニ微毛アリ長サ四寸幅一二寸葉柄ノ長サ四五分托葉披針形ニシテ宿存ス。七月葉腋ニ葉莖花ヲ垂レ黃白ノ雄花ヲ着ク花梗長サ四五寸花被五裂橢圓始メ多雄藥花被ノ基部ニ着生ス花絲細弱葯二室雌花ハ短穗ヲナシ子房發育不全其周圍ニ總苞アリテ之ヲ包ム形鐘狀ナリ實ハ毬狀芒刺多シ秋熟シテ殼裂クテ堅子ヲ出ス其數一乃至三個尖頭深茶褐色ニシテ光澤アリ。

**材質** 邊材狭クシテ暗灰黃色心材ハ淡褐色若クハ稍黑色ヲナス有孔層ハ二三ノ導管ハ廣ク射出方向ニ於ケル線ハ細微ナルモ或ル部分ハ尙ホ小孔トシテ認メ得ヘシ材質堅硬強韌ニシテ裂割シ得ヘシ。

**効用** 其材水濕ニ堪ニ保存期極メテ永キヲ以テ家屋ノ土臺井桁湯殿板流シ板溝板船材樽材鐵道枕木ニ賞用シ屋根板鏡臺船具木箱書棚職職細工椅子櫛類食卓朝子掛等ニ作り其木炭ハ鐵鍛冶ニ用ニ又樹皮ハ單寧ヲ含ムコト多キヲ以テ鞣皮用染料等ニ供ス子實ハ滋養分ヲ含ムコト多ク之

ヲ食用ニ供シ又料理ニ用非テ賞用セラル

**產地** 高燥ノ丘腹ヲ好ム石狩以南ニノミ産シ東ハ日高沙流郡ニ盡ク渡島茅部郡山越郡ニ多シ。

**圖解** (一) 渡島國タニヨシ産くり (二) 雄花 (三) 雌花 (四) 種子

第五拾貳圖 ぶなのき



第五拾貳 山毛櫨科 ぶなのき (第五十二圖)

名稱	和名	そばのき	さそば	ぶんなぐり	まろぶな	そばぐるみ
	漢名	そばぐり	このみ	いぼぶな	やまぶな	
	アイヌ名	びらに				

學名 *Magnus Sylvatica, L. var. asinica, DC.*

形状 幹高七八丈、圍八九尺ニ達ス、樹皮緑灰色ニシテ平滑ナリ、枝條細長ニシテ紫褐色ヲ帶フ。

葉ハ互生、卵圓形若クハ橢圓形ニシテ葉脈明白、縁邊雲頭ノ波狀ヲナシ、尖頭基部漸尖、上面濃綠色、下面淡綠色、葉脈ニ柔毛疎生ス、葉ノ長サ三寸幅一二寸、葉柄ノ長サ四五分許リ、此葉ノ他ノ潤葉樹種ト異ナルハ鋸齒ハ葉脈ト葉脈トノ間ニアルコトナリトス。

雄花ハ葉莖狀ヲナシ、葉腋ニ垂下シ、數花櫛簇ス、淡綠色ニシテ白色ノ長毛密布ス、多雄藥花絲細毛狀、葯二室、橢圓形ナリ、雌花稍頭ニ生シ、二三花相集リ、苞ヲ被フ、三稜ノ子房アリ、柱頭三裂シ、棘狀ノ細苞中ヨリ抽出ス。

實ハ殼斗内ニ在リ、櫛ニ似テ稍長ク、殼ノ外面軟刺アリ、熟シテ四裂ス、一毬中ニ子アリ、子形三稜ニシテ、蕎麥ノ實ニ似テ尖頭ナリ、長サ五六分幅二三分。

材質 材淡赤色ニシテ或ハ褐色ヲ帶フ、心材ヲ缺キ、擬心材ハ往々病理的ノ原因ニ依リテ作爲セラルルコトアリ、射出髓ハ多ク明カナリ、導管ハ秋材部ニ少ク、材質緻密ニシテ堅硬粘力アリ、裂割シ

第五拾參圖 ぶつこやまぎ



潤葉樹種

潤葉樹種

易シ。

効用 暖地ノモノハ材ハ朽チ易ク、濕氣ニ逢ヘハ黒斑ヲ生スルモ、寒地産ハ材質稍可ニシテ造船  
 用食碗器具、家材、杓子、農具柄ヲ作り、薪炭良材ナリ、皮ハ染料ニ供シ、實ハ生食シ、又油ヲ製シ、燃油、若ク  
 ハ食用ニ供ス。

歐洲ニテハ床板、齒車、机、案、玩具類ヲ作り、又ハ鐵道枕木トナスモ、我國産ハ脆クシテ齒車ノ如キ用途  
 ニ適セスト云フ。

産地 膽振國山越郡後志國磯谷郡ノ南方ニ限リテ生ス、渡島ノ茅部郡後志ノ檜山郡奥尻郡等ニ  
 美林アリ。

圖解 (一)膽振國長萬部産ぶなのき (二)雄藥 (三)雌藥 (四)種子

潤葉樹種



第五拾四圖 おほむやなぎ

一七

潤葉樹種

第五拾參 楊柳科 ばつこやなぎ (第五十三圖)

名稱 和名 やまやなぎ おほばやなぎ やまねこやなぎ

アイヌ名 ちぶにすに めらそまに つしにすゝ まうすゝ

學名 Salix Caprea, L.

形狀 幹高四五丈、圍四五尺、樹皮暗黒色ヲ帶ヒ、内皮淡赤色、裂目アリ、枝條褐綠色ニシテ柔軟ナリ、

葉長橢圓形若シハ卵形、尖頭鋸齒淺ク且ツ廣ク、或ハ小波狀ヲナス、上面綠色、下面青白色、細毛密布ス、長サ五六寸幅二三寸、葉柄ノ長サ七八分、柄基ニ腎臟形ノ苞葉對生ス。

早春葉ニ先テ紫莖花ヲ生ス、花芽ノ形卵形、尖頭ニシテ、苞赤褐色、雄花橢圓形、長サ一寸徑六七分、苞莖形、尖頭兩面ニ白色ノ長柔毛密生ス、雄藥ニ其基脚ニ着生ス、雌花長三寸徑五六分、苞ニ毛茸アリ、先端黒色子房橢圓形、脚部ニ柄アリ、共ニ細毛密生ス、花柱二個合生ス、柱頭黃色ニシテ四裂ス。

一梗多數ノ實ヲ結フ長サ二分、尖頭ニ裂シテ子ヲ出ス、子ハ細小ニシテ長圓、綠色、綿毛ヲ有ス。

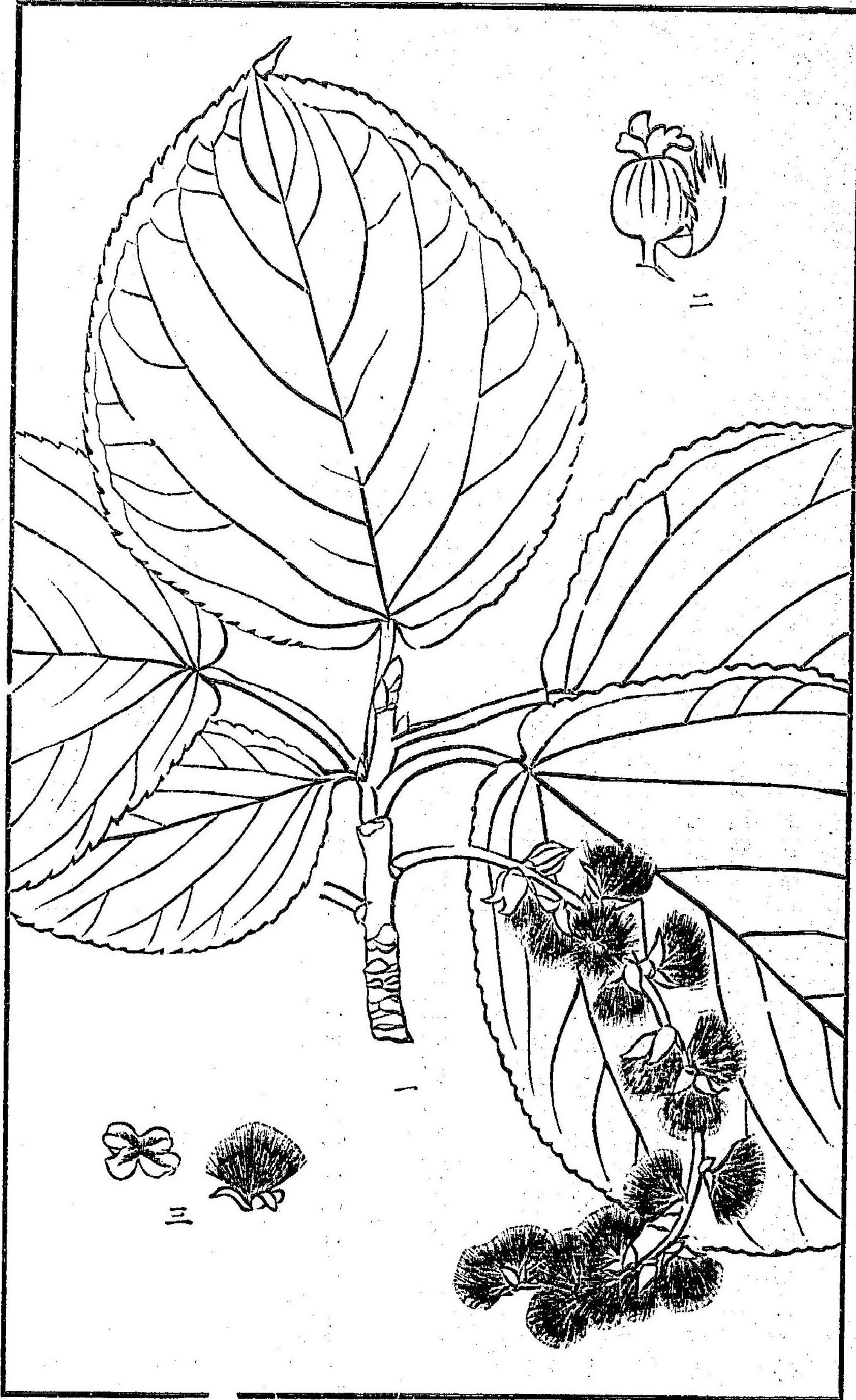
材質 淡褐色ニシテ心材稍紅褐色ニシテ光澤アリ、輕軟、木理緻密ナリ。

効用 箱類、板、小細工用ニ供シ、其皮ノ纖維ヲ各種ノ用ニ供ス。

產地 多濕ノ山中ニ好ミ生ス、諸國皆之ヲ産ス。

圖解 (一) 札幌及ヒ釧路産ばつこやなぎ (二) 雄花 (三) 雌花 (四) 雄花 (五) 蒴果

一六



第五拾五圖 どのりのき

第五拾四 楊柳科 ねほばやなぎ (第五十四圖)

名稱 和名 まるばやなぎ おほばやなぎ

アイヌ名 ちぶにすゝ せうすゝ

學名 Salix Urbaniana, von Seemen.

形状 幹高五六丈圍六七尺、樹皮帶褐色ニシテ深キ裂目アリ。

葉長橢圓卵形、漸尖頭、長サ五六寸幅二寸、邊緣ニ淺鋸齒アリ、其先端微凸、上面綠色平滑、下面淡紫黑色ニシテ帶白色、葉柄ノ長サ一寸、脚部膨大シ、兩側ニ各斜形ノ托葉ヲ有ス。

花芽三角形、漸尖頭、苞赤褐色、雄花圓筒形、鈍頭、長サ二三寸、花苞稍倒卵形、雄蕊五、基脚ニ着生ス、花絲長短一ナラス、雌花長サ三四寸、花後増大シテ長サ五六寸ニ達ス、花苞倒卵形、縁ニ細毛疎生ス、子房狹卵形、花柱二個相分レ其頂端ニ裂ス。

蒴果卵形短柄アリ、頂ニ花柱宿存シテ微突起アリ、蒴片二裂ス。

材質 邊材ハ白色、心材稍紅褐色ニシテ光澤アリ、稍密ニシテ柔軟ナリ。

効用 截板箱類、鱗寸軸木ニ作ルヘク、枝條ハ之ヲ挿シテ堤防用ニ供ス。

產地 河畔ノ湿地ニ産シ、中部ニ多シ。

圖解 札幌産ちほばやなぎ(一)雌花稍成熟シタルモノ(二)雄花(三)雄蕊(四)托葉

第五拾五 楊柳科 どののき (第五十五圖)

名稱 和名 てる ほとけぎ きわた わたのき

アイヌ名 やいに くるんに

漢名 白楊

學名 *Populus Suavolense, Fisch.*

形状 幹高十丈、圍丈餘ニ達ス、樹皮暗黒灰色、始メハ平滑ナルモ後裂目ヲ有ス、枝條淺青色ニシテ肥大ナリ。

葉芽細長ニシテ數苞ヲ有ス、葉ハ廣卵若クハ廣橢圓形、長サ三四寸幅二三寸、尖頭、基部鈍圓、粗雲頭狀ノ鋸齒ヲ有ス、上面綠色、平滑、下面淡褐色、柄ノ長サ一寸五六分、白毛アリ。

雌雄異株、五月葉ニ先テ葉莢花ヲ開ク、雄花長サ二寸五六分、紅色ヲ帶ヒ、多雄藥、橢圓形、花托上ニ簇生ス、花絲甚タ短ク殆ト葯ト同シ、葯ニ室、脚部著生ス、雌花長サ一寸五六分、成熟シテ七八寸ニ達ス、脚部ニ盃狀ノ薄盤ヲ有ス、子房ノ形稍卵形、花柱二個合生、頂端各三四ノ小片ニ分裂セル柱頭ヲ有ス。

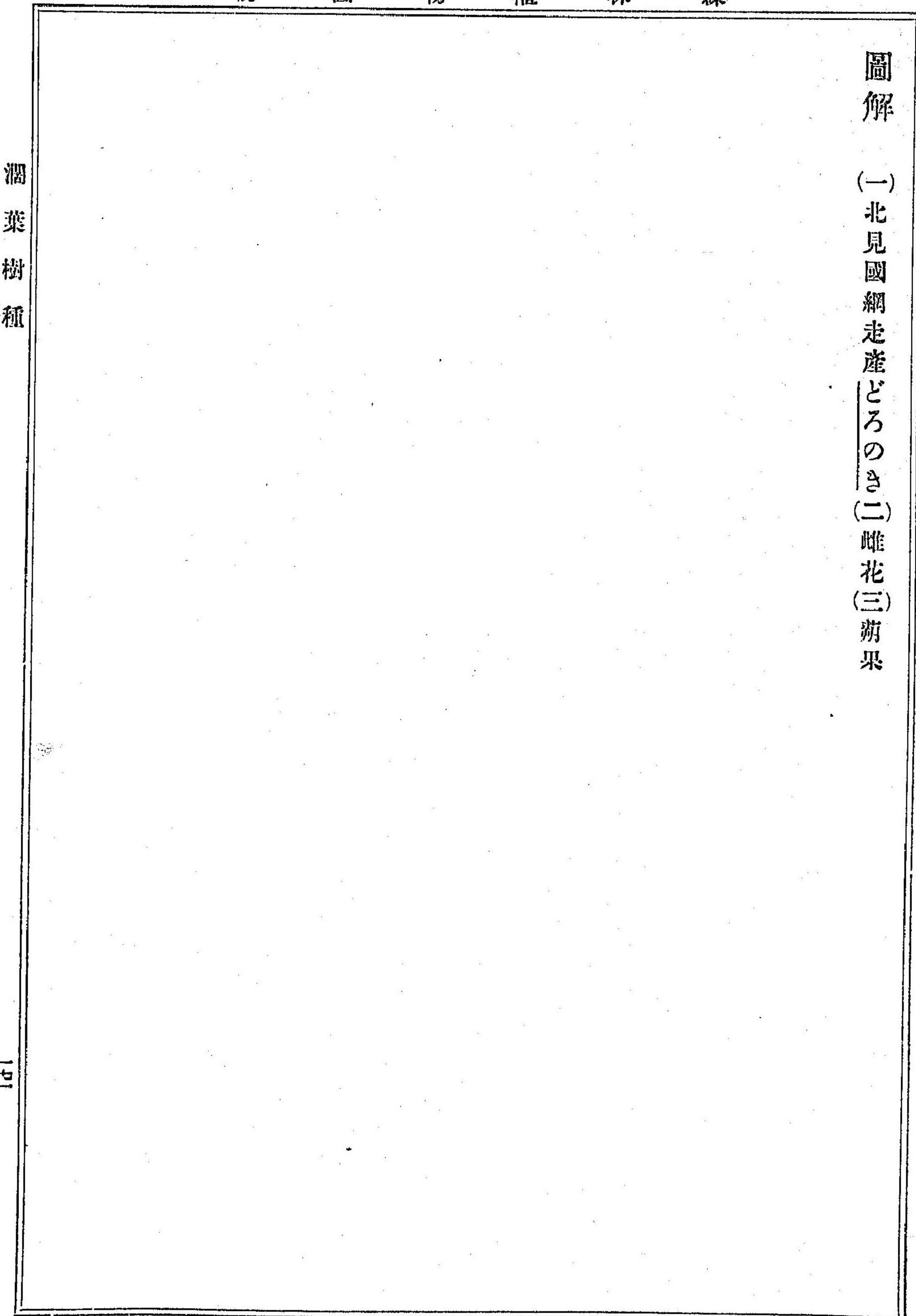
果實疎ニ花軸ニ著生ス、熟シテ四裂シ、白色ノ絨毛アル種子ヲ出ス、種毛ハ種子ノ梗部ヨリ叢生ス。

材質 材ハ美ナル白色ニシテ光輝アリ、心材ヲ缺ク、木理粗ニシテ柔軟ナリ。

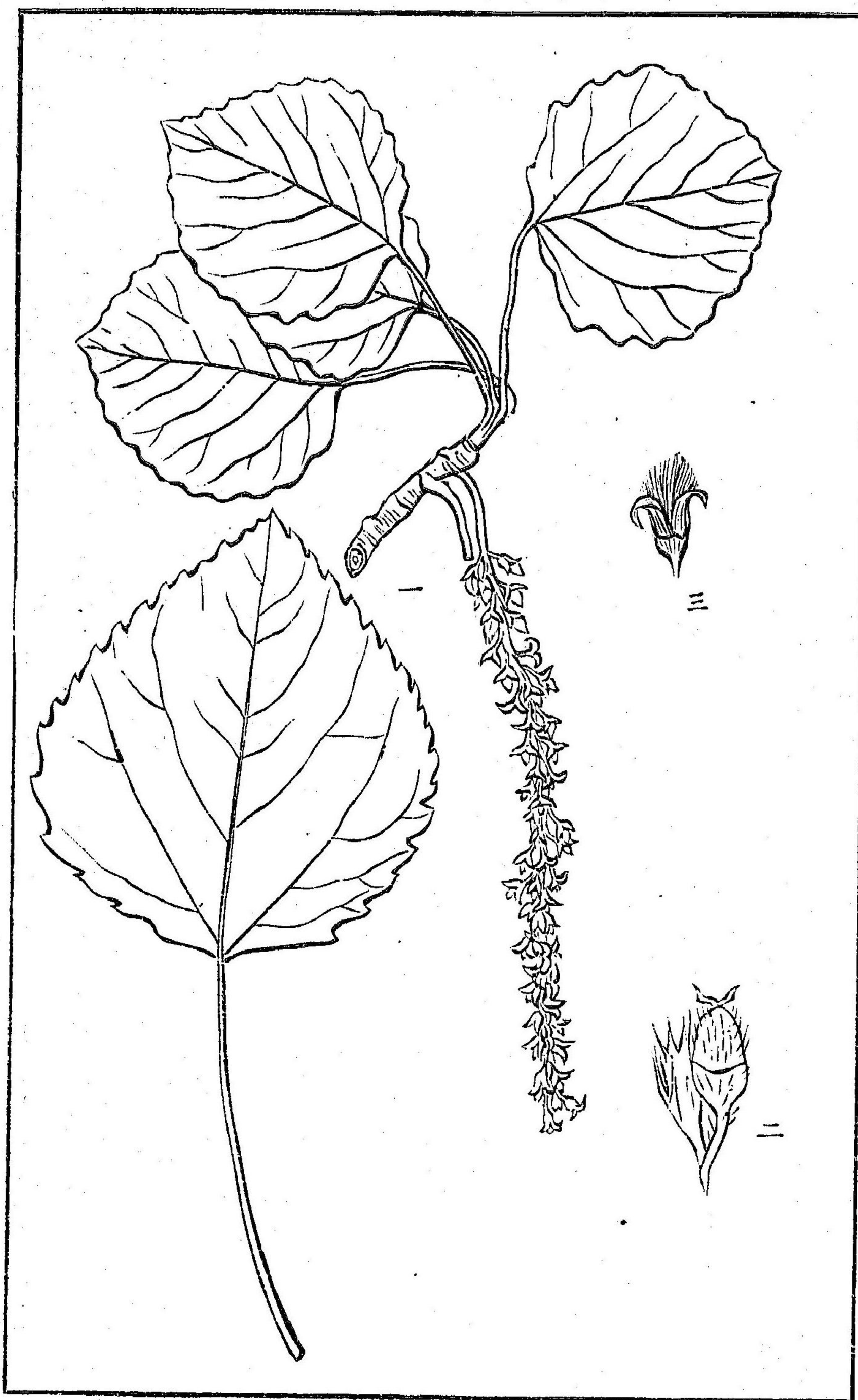
効用 小船ノ底材、丸木船、牙枝、箱類ニ作り、又燐寸軸木トシテ賞用ス、歐洲ニ於テハ建築用材ノ外行李杓子、木盤、各種ノ轆轤細工等ニ用ユト云フ、近來又タ製紙ノ原料ニ用ユ。

產地 山間ノ平地ニシテ稍濕潤ナル地ヲ好ミ、又火山灰地ニモ生ス、膽振、石狩、渡島ニ多シ。

圖解 (一)北見國網走産どののき (二)雌花 (三)蒴果



第五拾六圖 やまふらし



第五拾六 楊柳科 やまふらし (第五十六圖)

名稱

和

名

はこやなぎ

よめふり

はこやそ

まるばやなぎ

をかやなぎ

いぬざり

いぬやなぎ

つらふり

ゆやなぎ

いせやなぎ

はこぎ

へらふり

ほとけぎ

やまあらし

あめふり

アイヌ名

ぬぶくるんに

やしの

くるんに

學 名

*Populus tremula, L. var. villosa, Wesm.*

形状

目ヲ有ス。

幹高四五丈、圍四五尺、樹皮灰青色、或ハ灰黑色ニシテ、始メハ平滑ナルモ後ニハ扁平ナル裂

葉ハ心臟形、三角形菱形、尖頭、基部截形若シクハ心臟形ヲナシ、粗鋸齒アリ、長サ二三寸、上面綠色、下面

白綠色ヲ帶ヒ、白毛密布シ、老時之ヲ失フコトアリ、葉柄幅狭クシテ長ク、縦ニ扁平ナリ、長サ一二寸、

五月葉ニ先テ菜黄花ヲ開ク、兩花ノ大サ相同シク、雌花ハ花後増大シテ五六寸ニ達ス、雄花漏斗狀ノ

一瓣アリ、淡黄色、内ニ拾餘ノ短雄蕊アリ、葯白色、萼ニ沿フテ一苞アリ、掌狀ニシテ其先キ五六裂、黒褐

色、邊ニ白毛アリ。  
蒴果、どろのきヨリ稍小ナリ。

材質

材ハ淡白色ニシテ稍光輝アリ、心材ヲ缺ク、年齢ハ明カナリ、材質輕軟ニシテ容易ニ裂割ス。

効用

どろのきト、同シ、舊時扇箱、牙枝、白箸ヲ作ルニ主ニ此材ヲ用ヒシト云フ、彫刻玩具ニ用ヒ、火



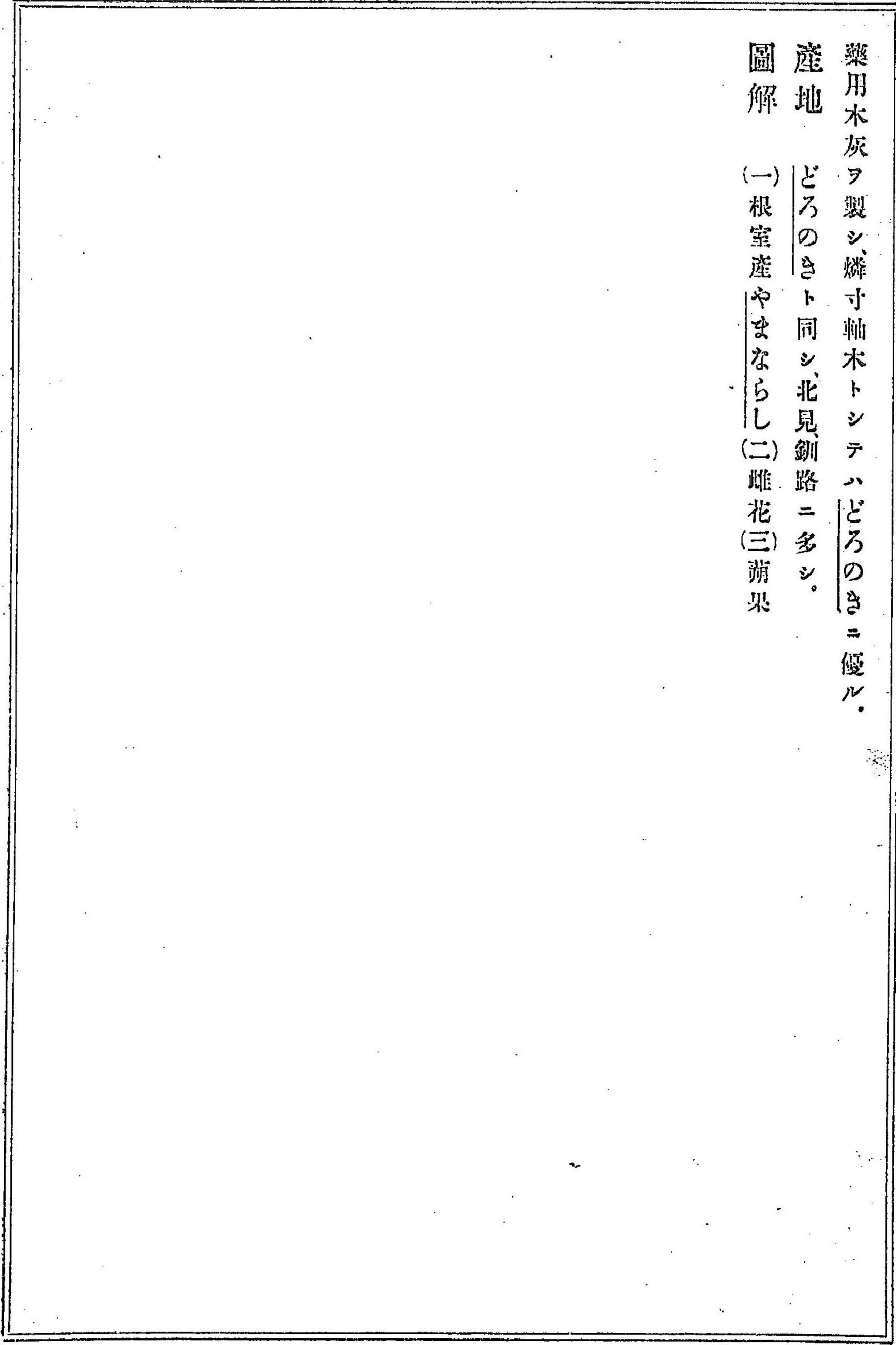
潤葉樹種

一七

藥用木灰ヲ製シ、燐寸軸木トシテハ、どろのきニ優ル。

產地 どろのきト同シ、北見、釧路ニ多シ。

圖解 (一)根室産やまならし (二)雌花 (三)蒴果



針  
葉  
樹  
種

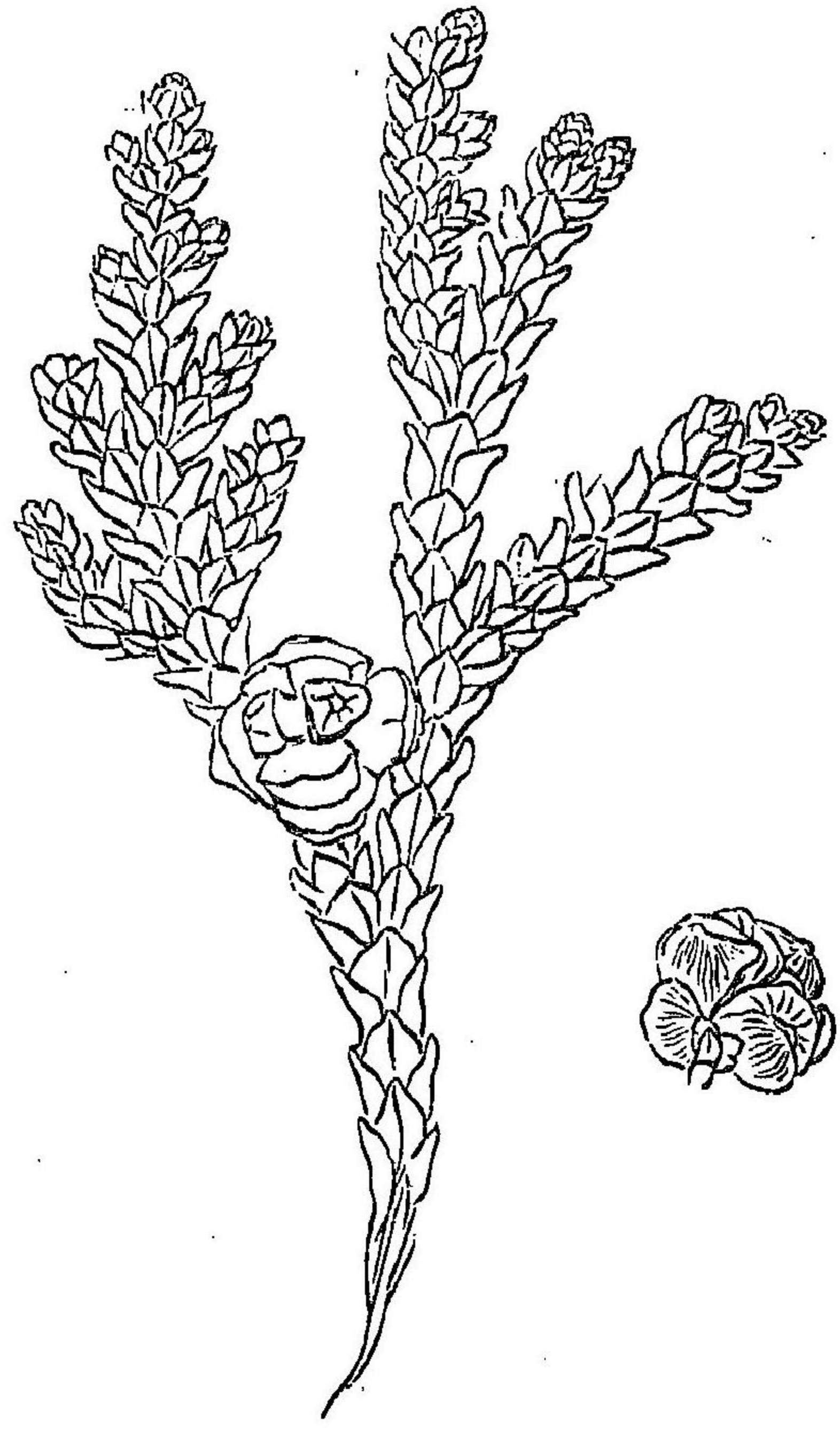
著生先信經田藤 士學農士學理  
**學物動產水本日**

錢六拾稅郵 錢拾參圓貳金價正 冊壹全裝洋判菊

農學博士 新渡戶綱造先生著 論 第四版全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學士 高岡熊雄先生著 政 對列全壹冊 郵稅金壹圓八拾錢	農學博士 佐藤清藏先生著 農學士 佐藤清藏先生著 論 第二版全壹冊 郵稅金壹圓八拾錢	農學士 大脇正輝先生著 最近米穀 第三版全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學士 松村松年先生著 日本昆蟲 第五版全壹冊 郵稅金壹圓七拾錢	農學博士 宮部金吾先生著 日本害蟲 第四版全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 出田新先生著 植物病理 對列全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學博士 中川源三郎先生著 天氣豫報 第二版全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 中川源三郎先生著 農業氣象 第三版全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學士 川上瀧彌先生著 森林植物圖說 大列全壹冊 郵稅金壹圓八拾錢
農學士 河村九洲先生著 農用肥料學 對列全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學士 堀正太郎先生著 農作物生理學 第四版全壹冊 郵稅金壹圓八拾錢	農學士 山田新先生著 農作物病理學 對列全壹冊 郵稅金壹圓八拾錢	農學博士 堀恒太先生著 農作物講習全書 對列全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 藤次郎先生著 釀造用大麥論 對列全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學博士 石橋三郎先生著 牛乳と衛生 對列全壹冊 郵稅金壹圓五拾錢	農學博士 玉利喜遊先生著 果樹栽培書 對列全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 池水文雄先生著 果樹栽培書 對列全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 池水文雄先生著 果樹栽培書 對列全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢	農學博士 池水文雄先生著 果樹栽培書 對列全壹冊 郵稅金壹圓四拾錢

房華裳 (町鹽馬傳大區橋本日市京東) 元行發  
 (番三十五百三千二花浪話電)

第五拾七圖 あすなろ



針葉樹種